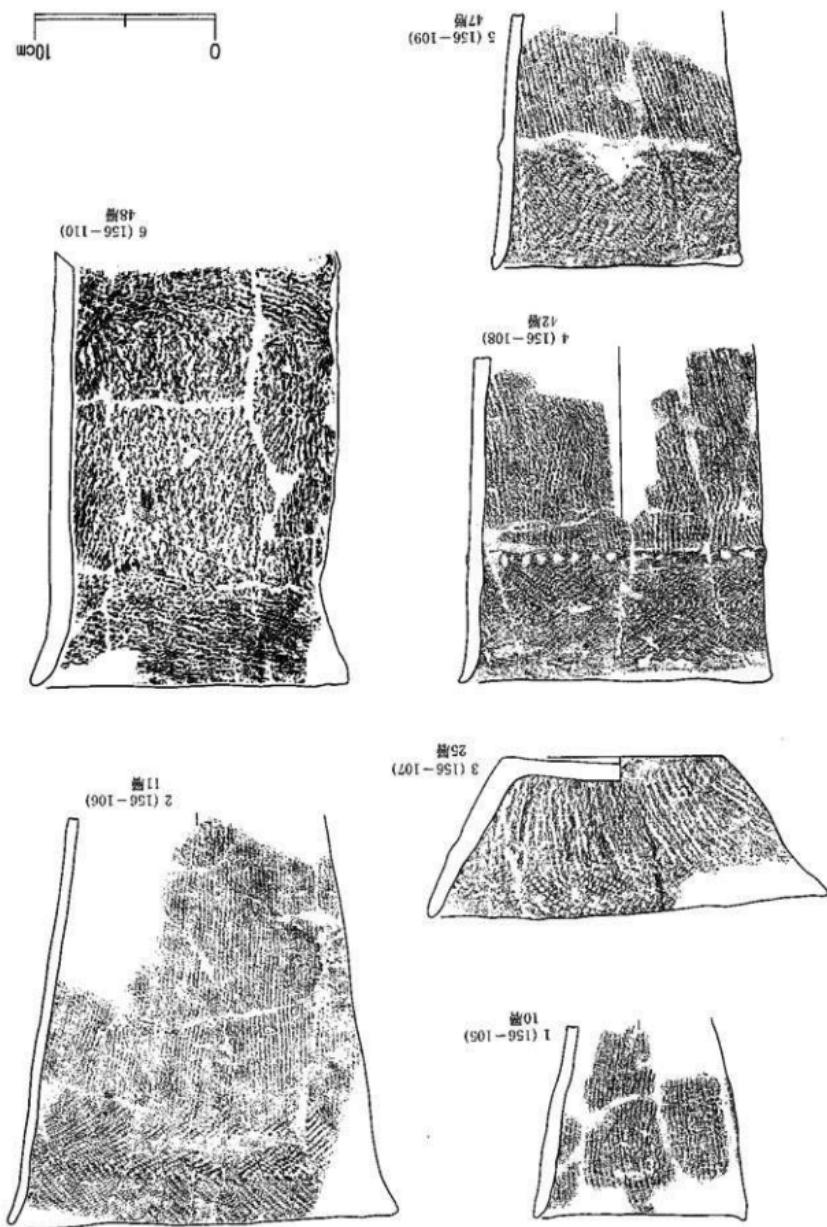
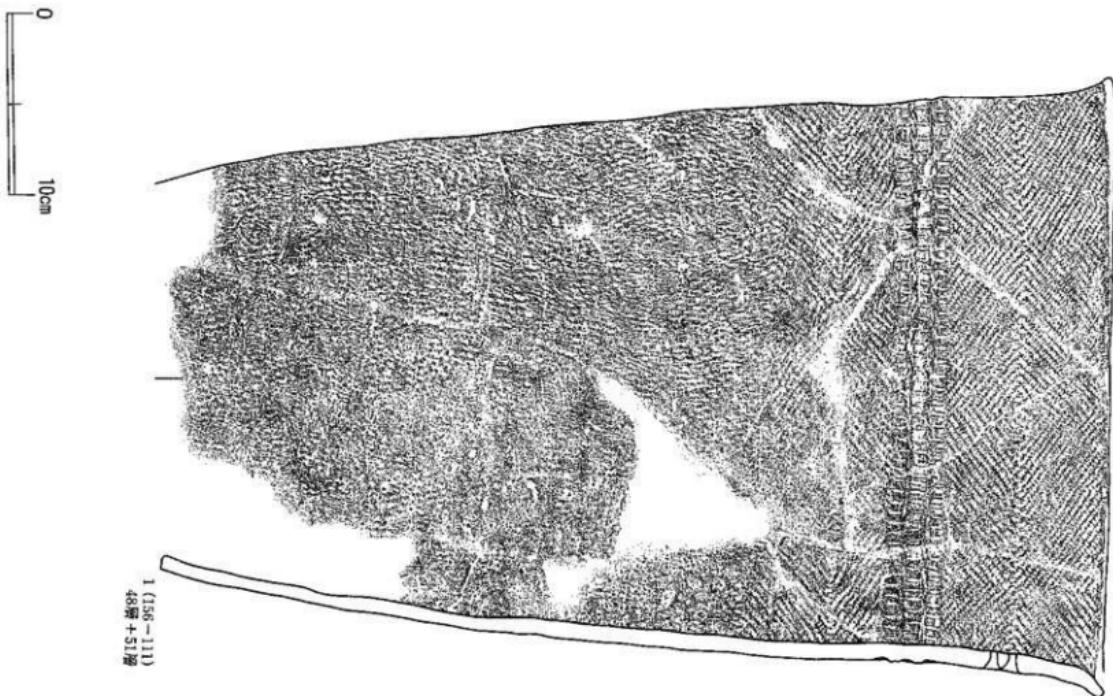


第509圖 ST156号土壤心樣上中間位置取土器 (1)

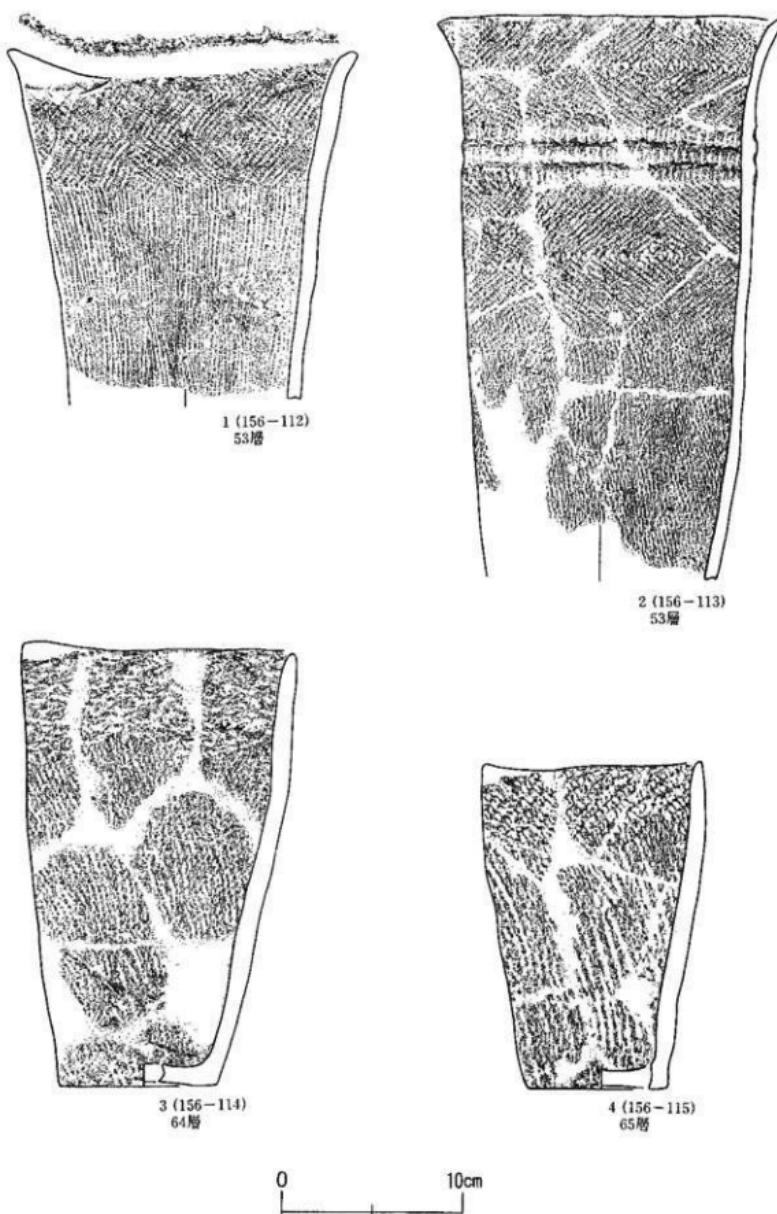


第4圖 ST156号土壤心樣

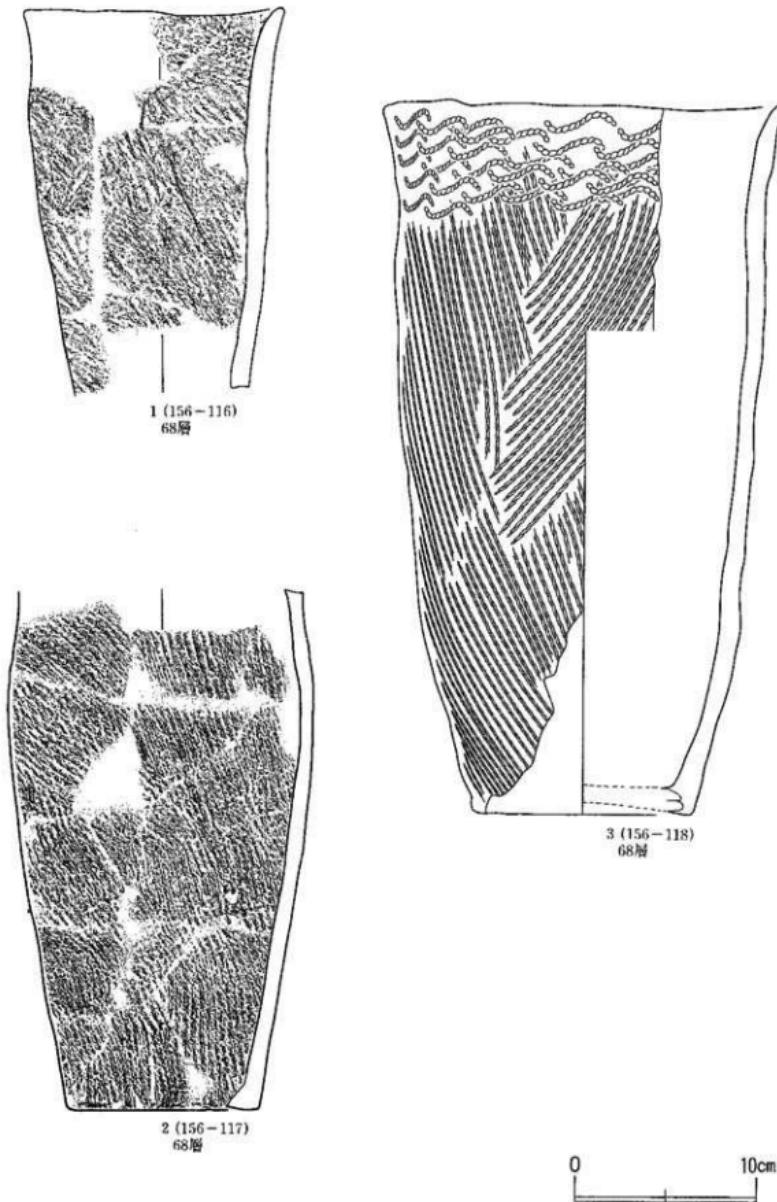


1 (156-111)  
46層 + 51層

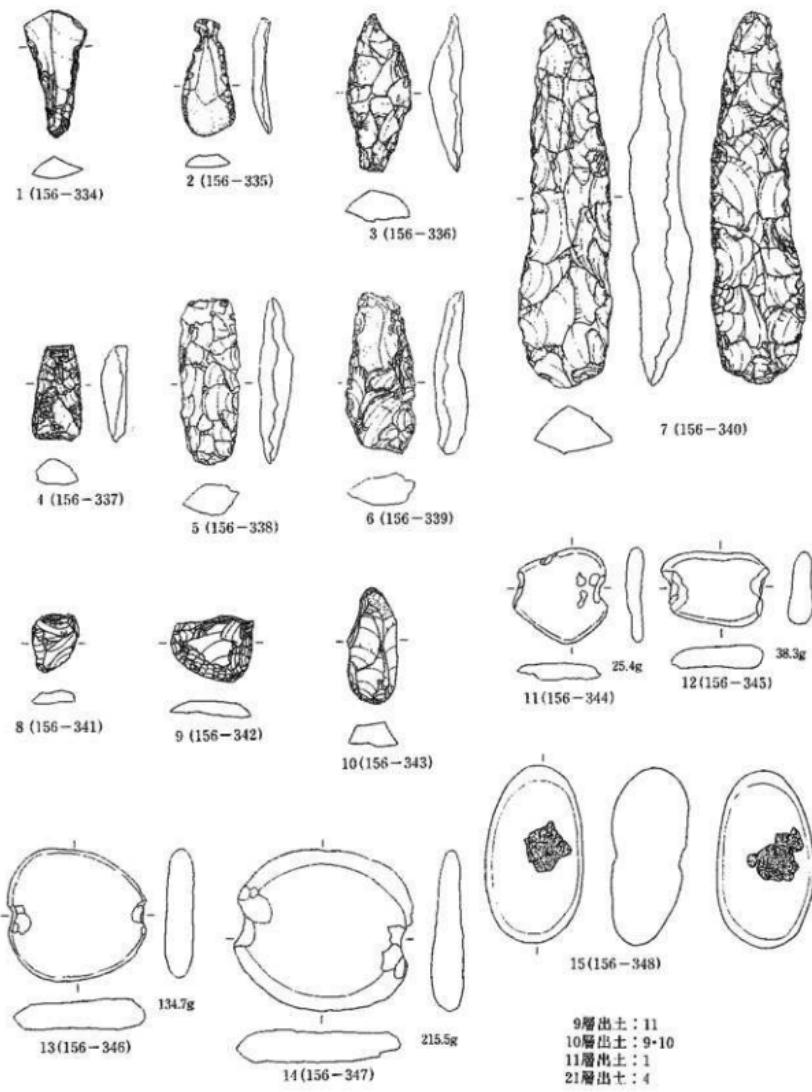
第510図 ST156谷土層ベルト中層位毎採取土器（2）



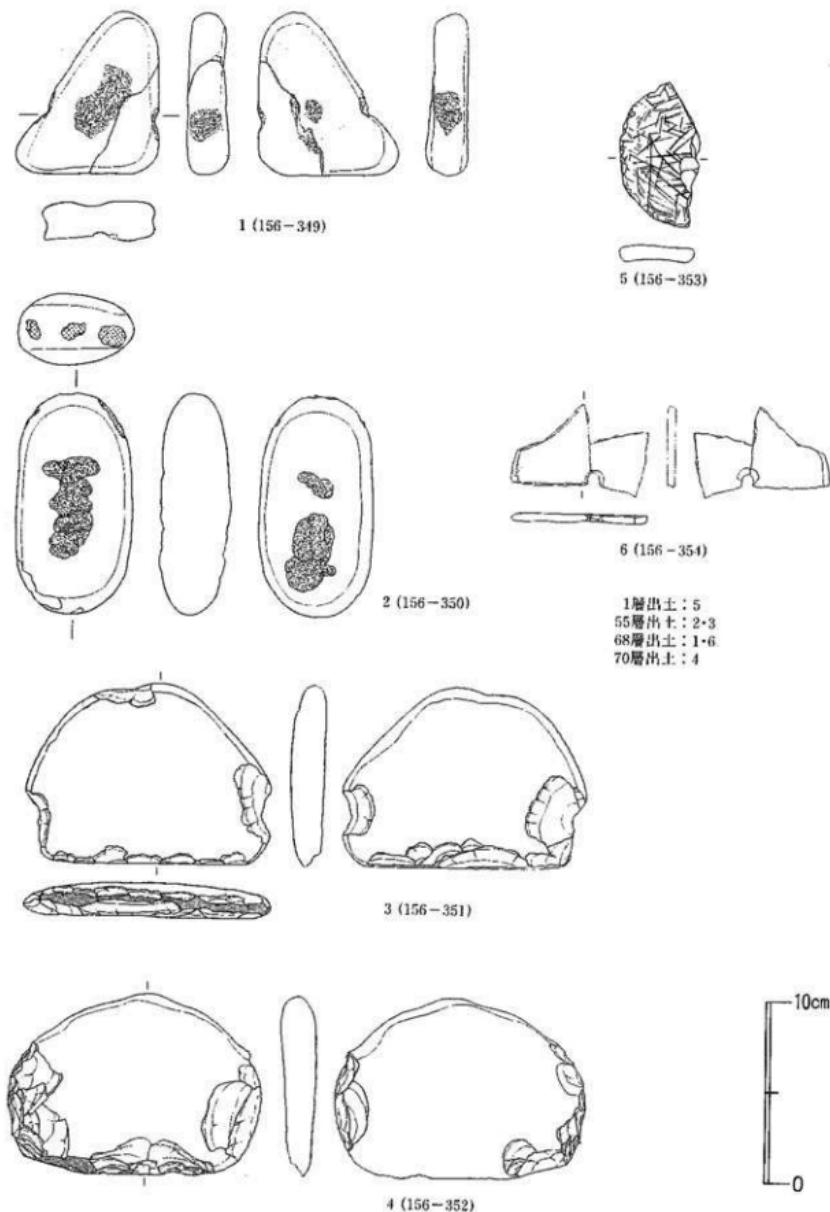
第511図 ST156谷土層ベルト中層位毎採取土器 (3)



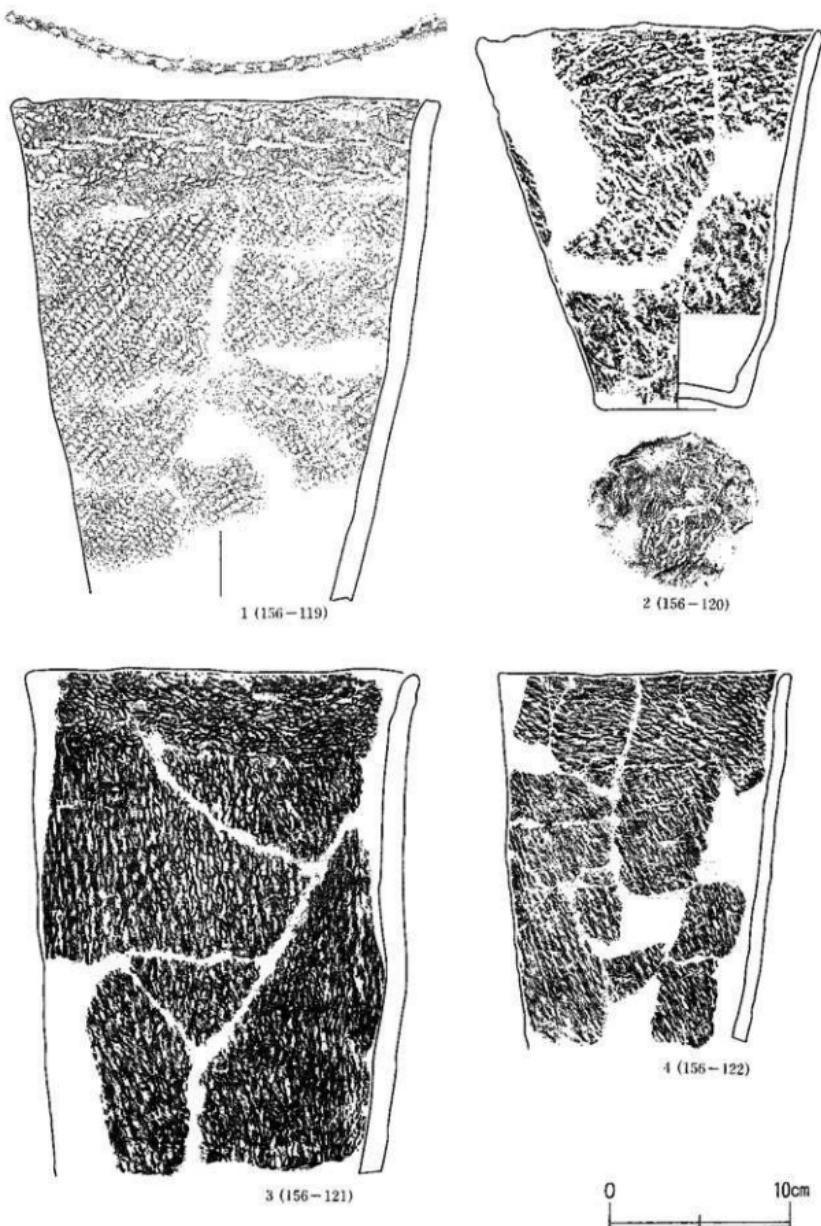
第512図 S T156谷土層ベルト中層位毎採取土器 (4)



第513図 S T156谷ベルト中層位毎出土石器（1）

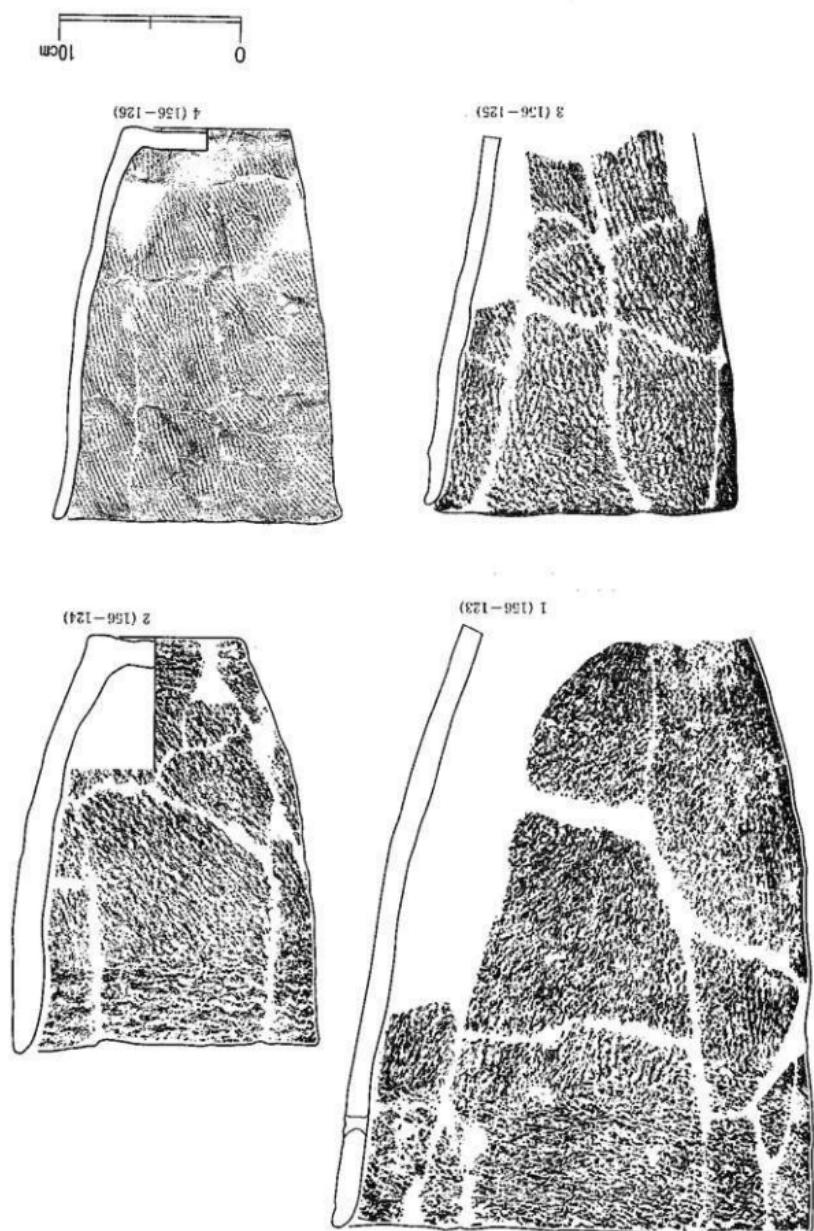


第514図 S T156谷ベルト中層位毎出土石器（2）

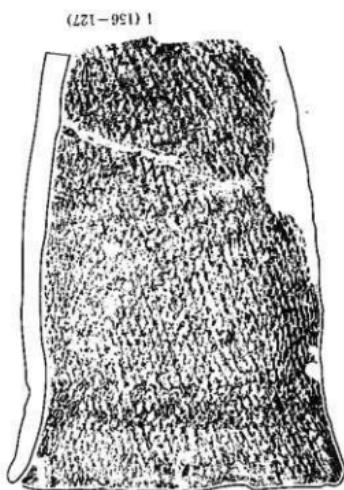
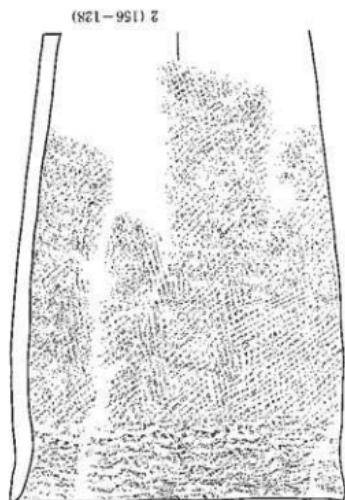
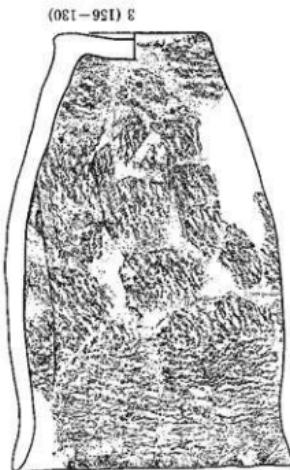


第515図 ST156谷一括採取土器（1）

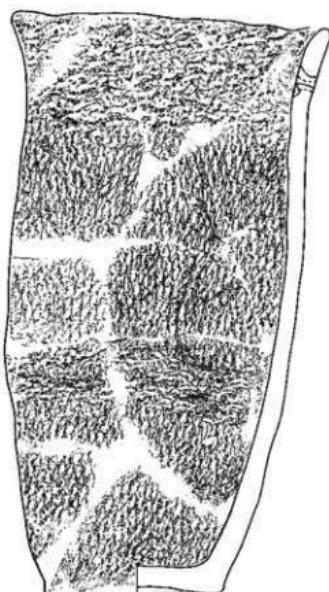
第516圖 ST156号一斯基泰土器 (2)



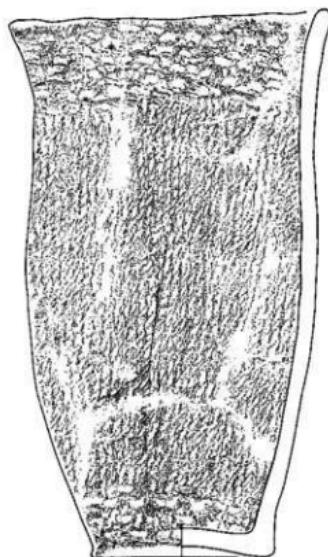
第517圖 ST156合一號探取土器(3)



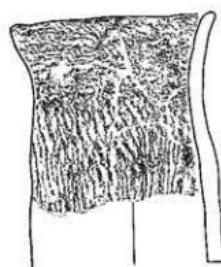
第4圖 ST156合二號探取土器



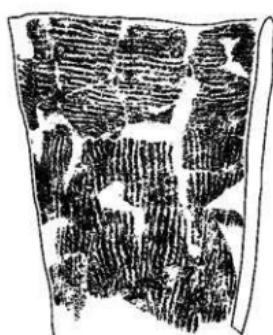
1 (156-131)



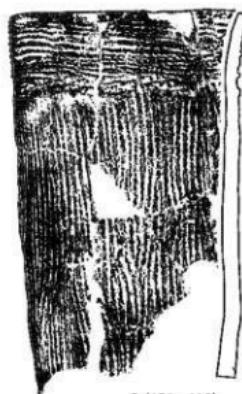
2 (156-132)



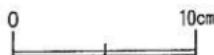
3 (156-133)



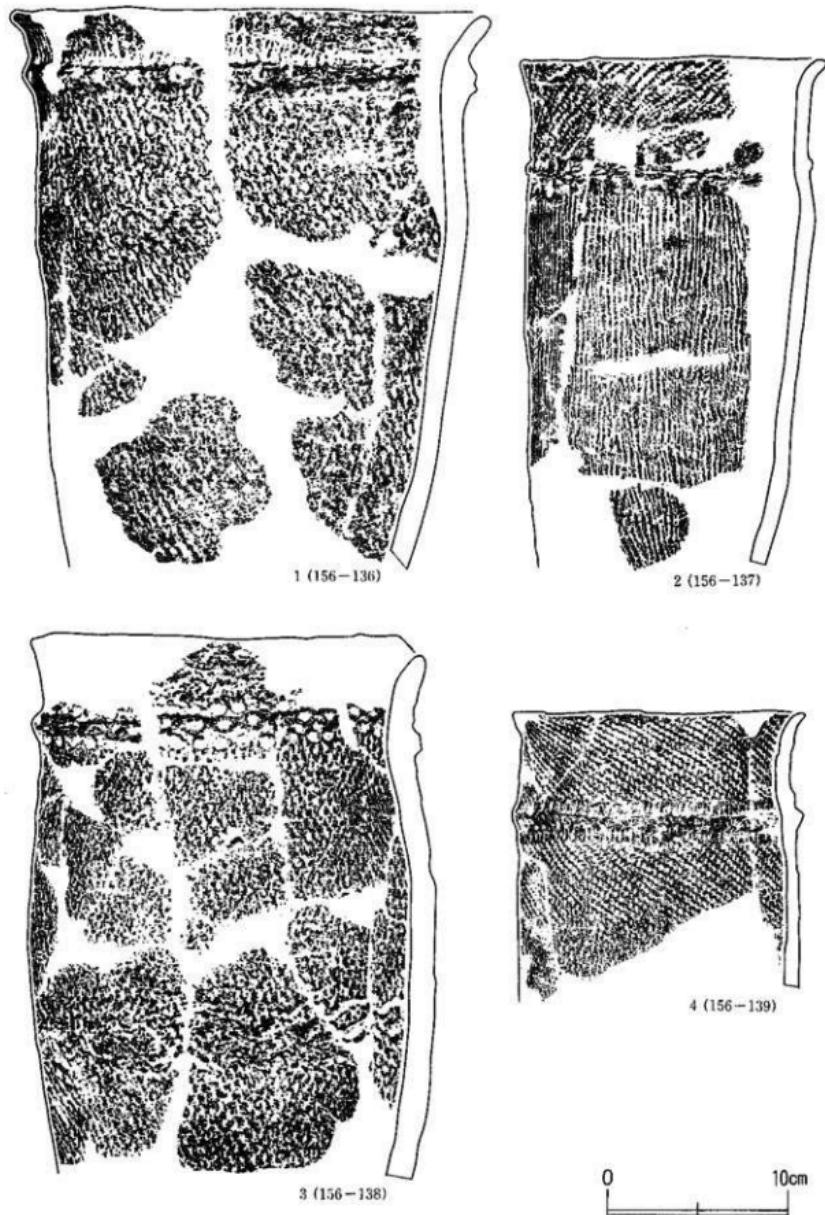
4 (156-134)



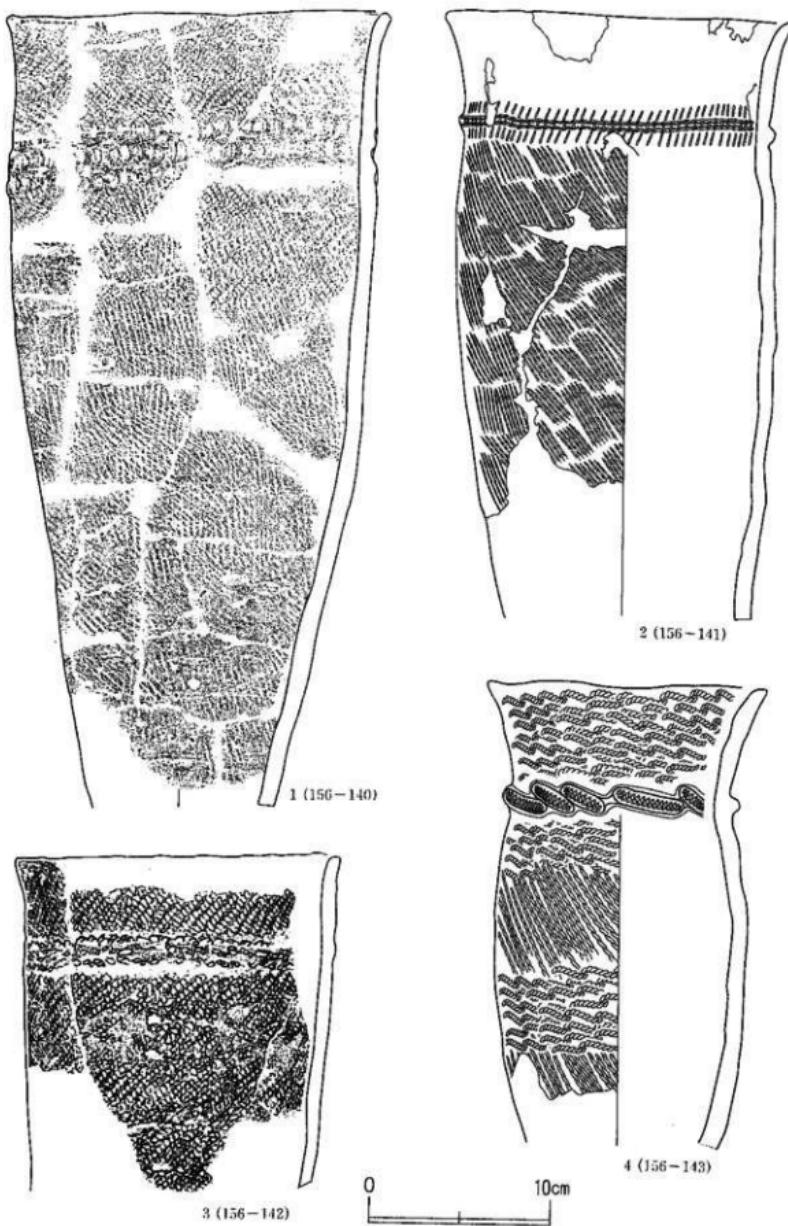
5 (156-135)



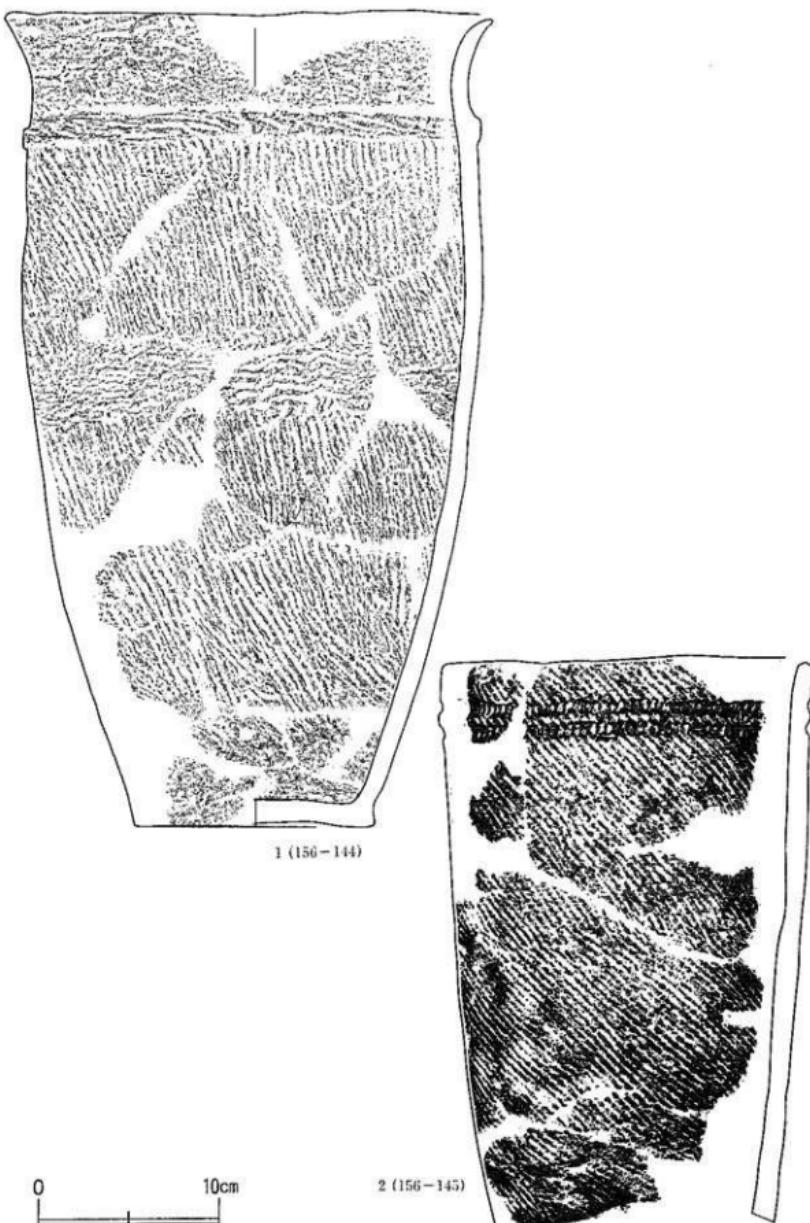
第518図 S T156谷一括採取土器 (4)



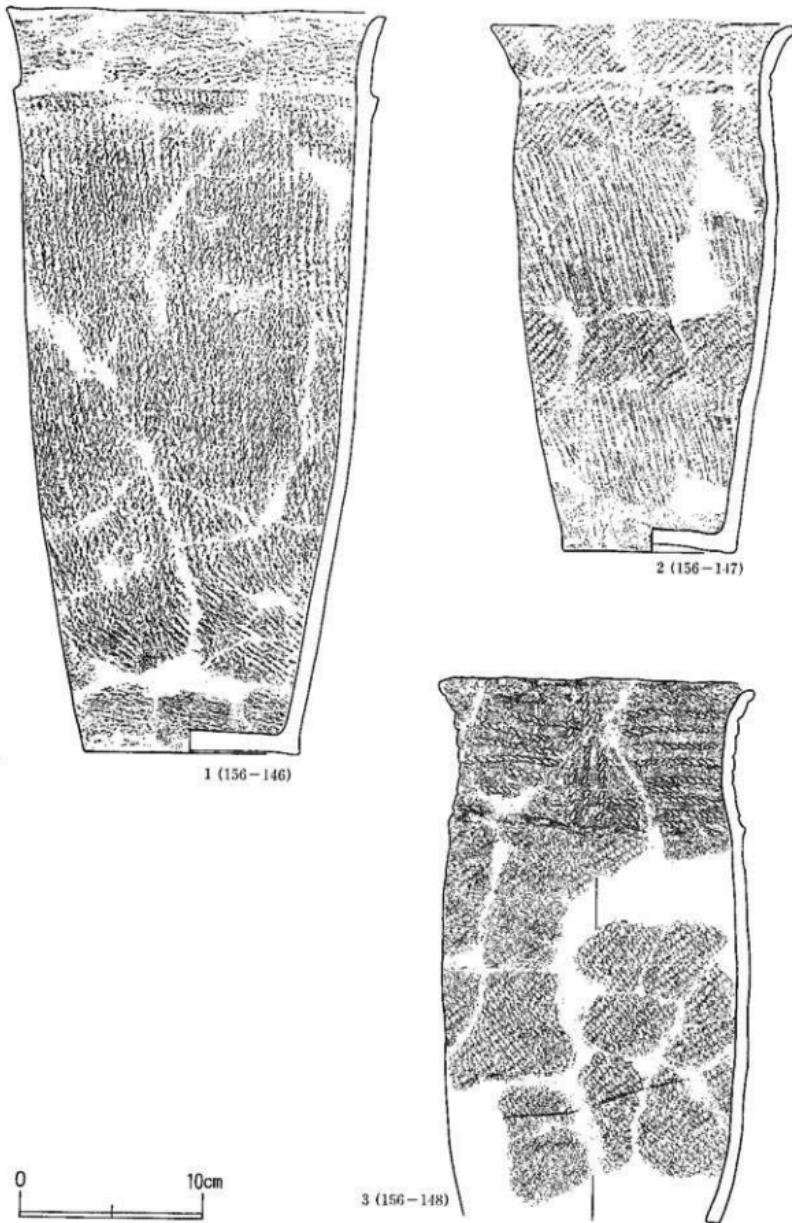
第519図 ST156谷一括採取土器 (5)



第520図 S T156谷一括採取土器 (6)



第521図 ST156谷一括採取土器 (7)



第522図 S T156谷一括採取土器 (8)



156-11 (I層)



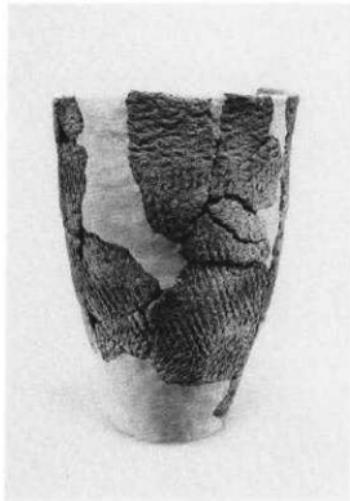
156-132 (層位不明)



156-3 (II層)



写真10 ST156谷捨て場出土土器



156-5 (I層)



156-6 (I層)



156-124 (層位不明)



156-131 (層位不明)

写真11 S T156谷捨て場出土土器

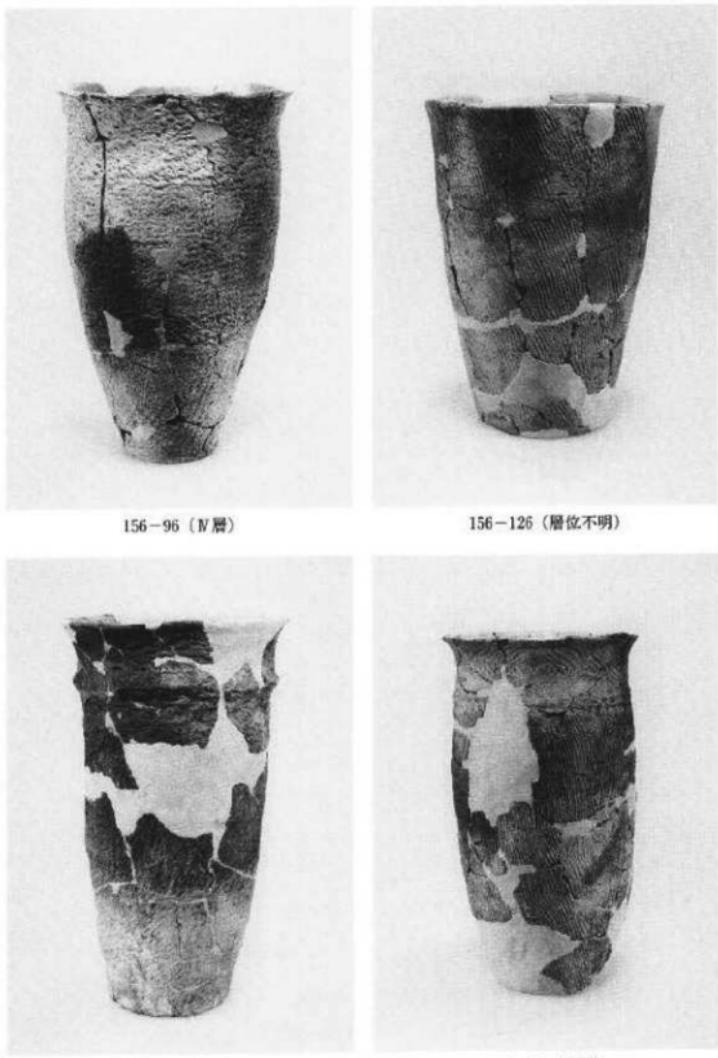
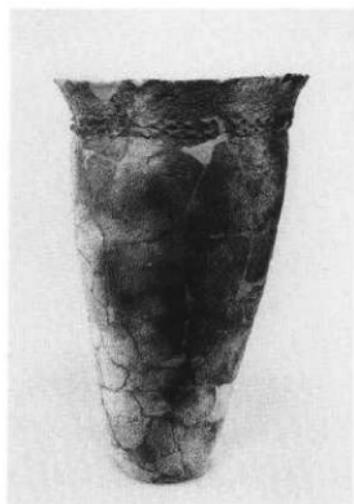


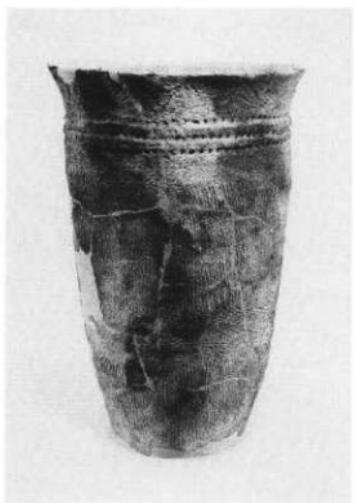
写真12 ST156谷捨て場出土土器



156-101 (N層)



156-30 (I層)

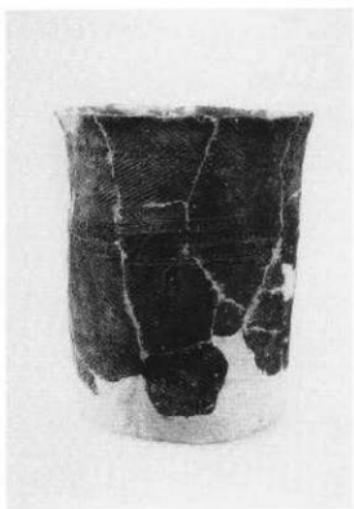


156-102 (N層)



156-141 (層位不明)

写真13 S T156谷捨て場出土土器



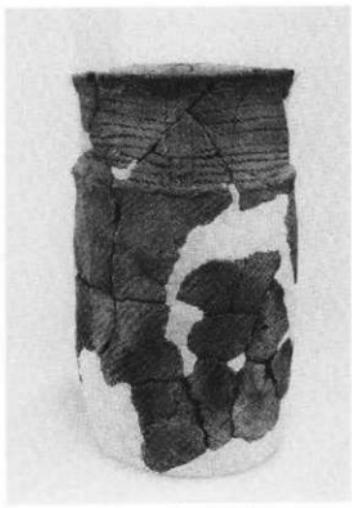
156-40 (I層)



156-21 (I層)

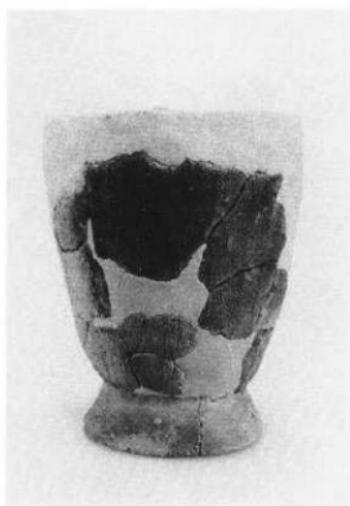


156-93 (N層)

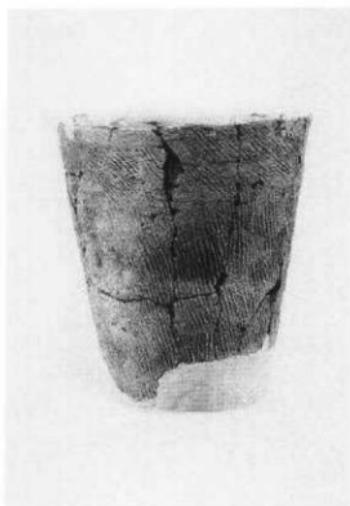


156-148 (層位不明)

写真14 S T156谷捨て場出土土器



156-53 (I層)



156-19 (I層)



639-696 (V層)

写真15 S T156谷捨て場・S T639谷捨て場出土土器

## 第5節 S T396・504谷の捨て場

### (1) 概要と土層堆積状況

ME49、MF46~49、MG45~50、MH45~50、MI45~52、MJ46~51、MK46~51、ML46~51、MM46~51、MN46~51、MO46~52、MP46~51、MQ49~53、MR47~54、MS48~54、MT51~54、NA51~54、NB51~54、NC51~53、ND51~52のグリッドに検出できた。

谷頭から南西方向に17.6mの地点で南東方向に屈折した深い谷である。谷尻部分は調査区域外であるが、谷頭から調査区末端までの長さは78.2m、上幅は最大26m、最小4mである。

断面形状は、谷頭から屈折点までは上部が大きく開くV字形を呈するが、屈折点以下では上部が大きく開くU字形を呈する。屈折点のあたりに湧水が見られた。この湧水点の下方に水場遺構と見られる立杭と木組みを検出した。

谷頭から9.5mと13.4mの間はコンクリート塊などで埋め立てられて農道が通っていたが、土層断面と現状地形の観察では、農道を作る以前は屈折点以下のように谷頭区域も埋没しきらばみとなっていたことが判る。谷頭区域は農道開設と前後するように埋め立てられて畠となつたと理解される。

屈折点以下では、古代の降下火山灰である大湯浮石の厚い堆積が確認できたが、谷頭区域では検出できなかつた。

遺物は、谷頭から屈折点の前後では谷幅が狭いという事情によるものか両側の傾斜する壁の中腹から谷底にかけて分布し、遺物の傾斜方向から投・廃棄の方向を把握できた。屈折点以下では、調査区境界付近の右岸（西側）の一力所だけ中腹から谷底まで遺物が分布しており、上部の平坦面から遺物が投・廃棄されたと考えられたが、その他は谷底に多くの遺物が分布していたことから上部の平坦面あるいは中腹からの投・廃棄とは考えにくく、谷底に降りて来て捨てたものと解釈した。

### (2) 第I層から出土した遺物

#### ① 土器 復元できた土器は6点（396・504-1~6）である。

頸部に低く幅広な隆帯が巡り、逆ベル・ボトム風の器形を呈し、外反する口縁部には単節繩文施文後に綾絡文を付加し、胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-1）。

口唇部を消失し、すん胴な器形で、頸部に爪形文を1条巡らし、口縁部から胴部中半まで羽状繩文、下半には単節繩文、その下位に綾絡文を施文した土器（396・504-2）。

頸部に単軸絡条件圧痕で飾る隆帯が巡り、スマートなバケツ形を呈し、外反する口縁部から胴部上半には多条繩文を施文し以下には撚糸文を施文した土器（396・504-3）。

頸部がすばり羽状繩文を施文した口縁部はほぼ直立し、肩が張り胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-4）。

数条の繩を横位に押捺施文した幅の狭い口縁部をもち、繩軸あるいは網目状撚糸文の原体を押捺した低い隆帯を巡らし、すん胴な器形を呈する土器（396・504-5・6）で胴部に撚糸文（396・504-5）、木目状撚糸文（396・504-6）の2種がある。

② 石器 石器は128点出土した。その内訳は石鏨3点（396・504-384）、石槍4点（396・504-385~388）、石錐5点（396・504-389）、石匙39点（396・504-390~397）、篦状石器17点、削器10点（396・504-398~405）、搔器2点（396・504-406）、剥片・不定形石器72点、磨製石斧6点、石鍤

12点（396・504-407～410）、半円状扁平打製石器30点、くぼみ石12点（396・504-412）、擦石6点（396・504-411・412複合石器）、石皿4点である。

③ 石製品 有溝縫1点、石棒1点、円盤状石製品1点が出土した。このほかに、自然縫に穴を開いた有孔磚2点、石核4点が出土した。

### （3）第Ⅱ層・Ⅱa層・Ⅱb層・Ⅱc層から出土した遺物

#### ① 土器 復元できた土器は44点（396・504-7～51）である。

逆ベル・ボトム風の器形を呈し、上半に回転方向を変えた単節繩文、下半には撚糸文を施文した土器（396・504-7）。

バケツ形を呈し、口縁部に単節繩文、胸部に撚糸文を施文した土器（396・504-8）。円筒形を呈し、全面に多条繩文を施文した土器（396・504-9）。

わずかに外反する口縁部をもつ円筒形を呈し、口辺部と胴部に回転方向を変えた多軸の撚糸文を施文し頸部に間隔を空けて2条の押圧繩文を附加した土器（396・504-10）。

頸部に上下を指頭圧痕で飾った低い隆帯が巡り、わずかに外反する口縁部をもつ円筒形を呈する土器で、口縁部から胴部上半には羽状繩文を施文し以下には撚糸文を施文した土器（396・504-11）。

頸部に指頭圧痕で飾った細く低い隆帯が巡り、わずかに外反する口縁部をもつスマートなバケツ形を呈する土器で、口縁部から胴部上半には綾絡文を施文し以下には撚糸文を施文した土器（396・504-12）。口縁部から胴部上半には羽状繩文を施文し、頸部に指頭圧痕で飾った細く低い隆帯を巡らした土器（396・504-13）。

スマートな逆ベル・ボトム風の器形を呈し、頸部に繩の圧痕で飾った隆帯を巡らし、上半に繩文、下半には撚糸文を施文した土器（396・504-14・15）。

わずかに外反する口縁部をもつ円筒形を呈する土器で、全面に撚糸文を施文した後、頸部に3条の押圧繩文を巡らし、口唇からも3条の押圧繩文を垂下させた土器（396・504-16）。

わずかに外反する口縁部をもつ円筒形を呈し、口縁部と胴部に回転方向を変えた撚糸文を施文し頸部に撚糸文で飾った隆帯を巡らした土器（396・504-17）。

ボリュームのある円筒形を呈し、頸部に複数条の押圧繩文を巡らし、口縁部から胴部上半には羽状繩文、下半には撚糸文を施文した土器（396・504-18・20・22・25）。

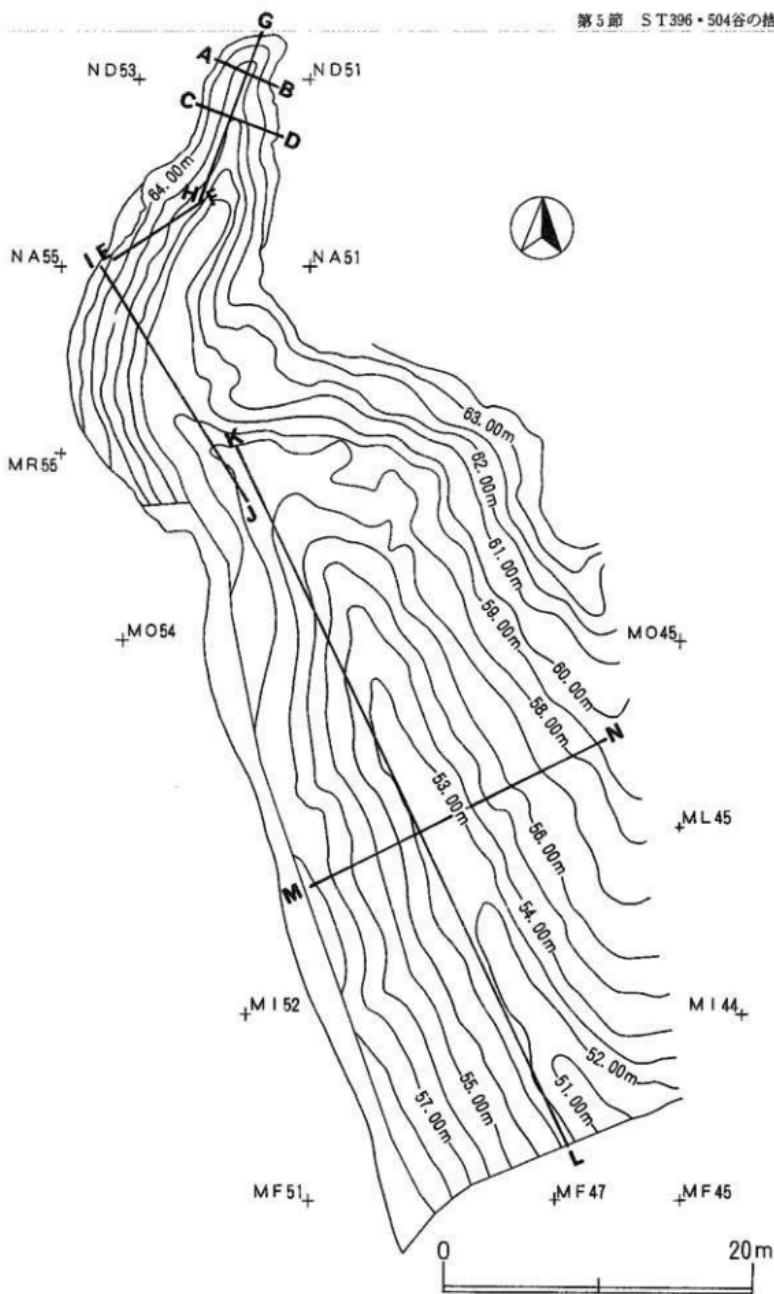
円筒形あるいはボリュームのある円筒形を呈し、頸部に複数条の多軸絡条体側面圧痕文を巡らし、口縁部には羽状繩文、下半には撚糸文を施文した土器（396・504-19・21）。

4単位の波状口縁をもつずん胴な円筒形を呈し、頸部には横位連続刺突文の上下に複数条の押圧繩文を附加した文様帶を巡らし、口縁部から胴部上半には羽状繩文を施文し以下には横位回転の撚糸文を施文した土器（396・504-22・23）。

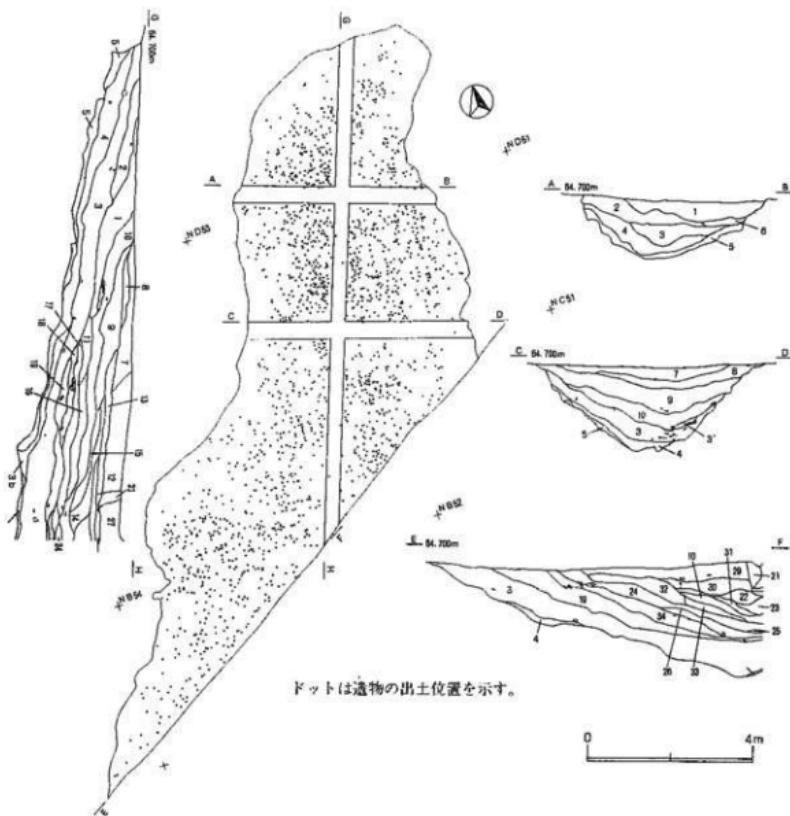
ずん胴な円筒形を呈し、頸部には低くやや幅広な隆帯を巡らし、口縁部には横走する複数条の押圧繩文を巡らした後口唇から垂下する3条の押圧繩文を附加し、胴部には単節繩文を施文した土器（396・504-24）。

バケツ形で、口縁部に横走する複数条の押圧繩文を巡らし、胴部には羽状繩文を施文した土器（396・504-26）。

スマートな円筒形で、上半に羽状繩文を施文後、撚りの異なる繩を2条1組として等間隔で押捺し



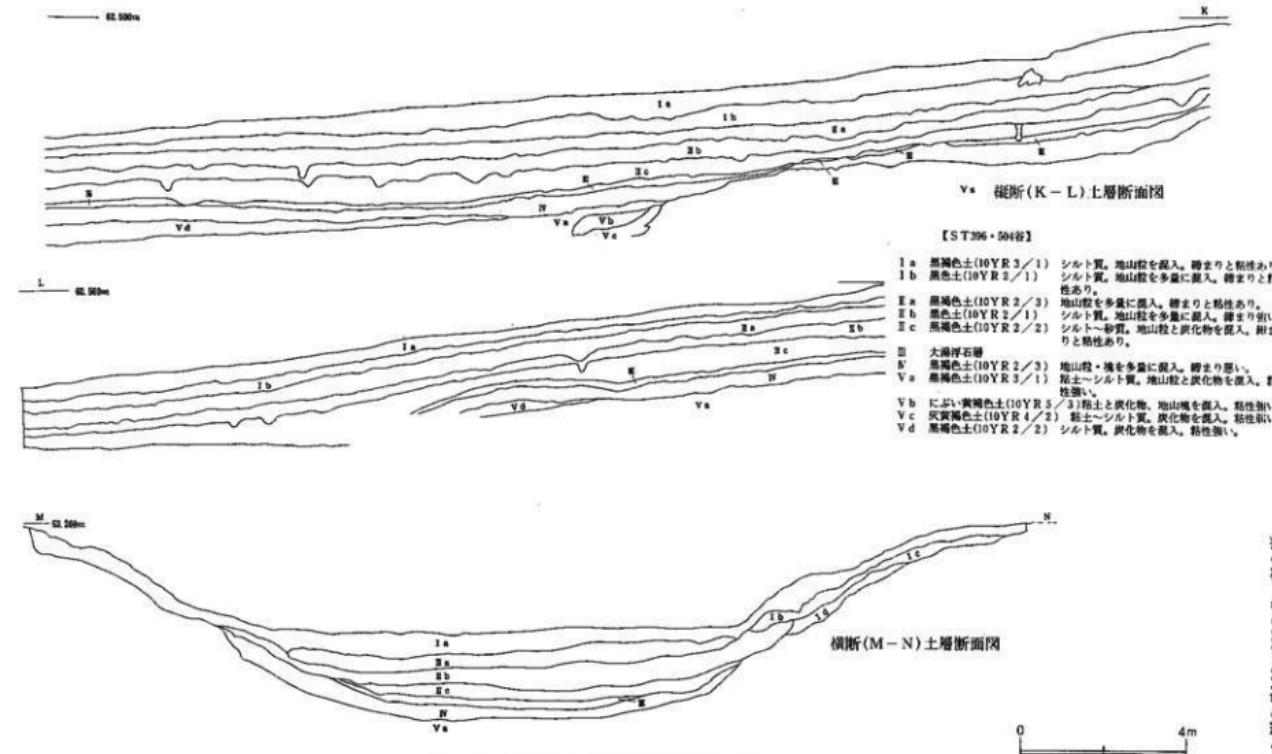
第523図 S T396・504谷全体平面図



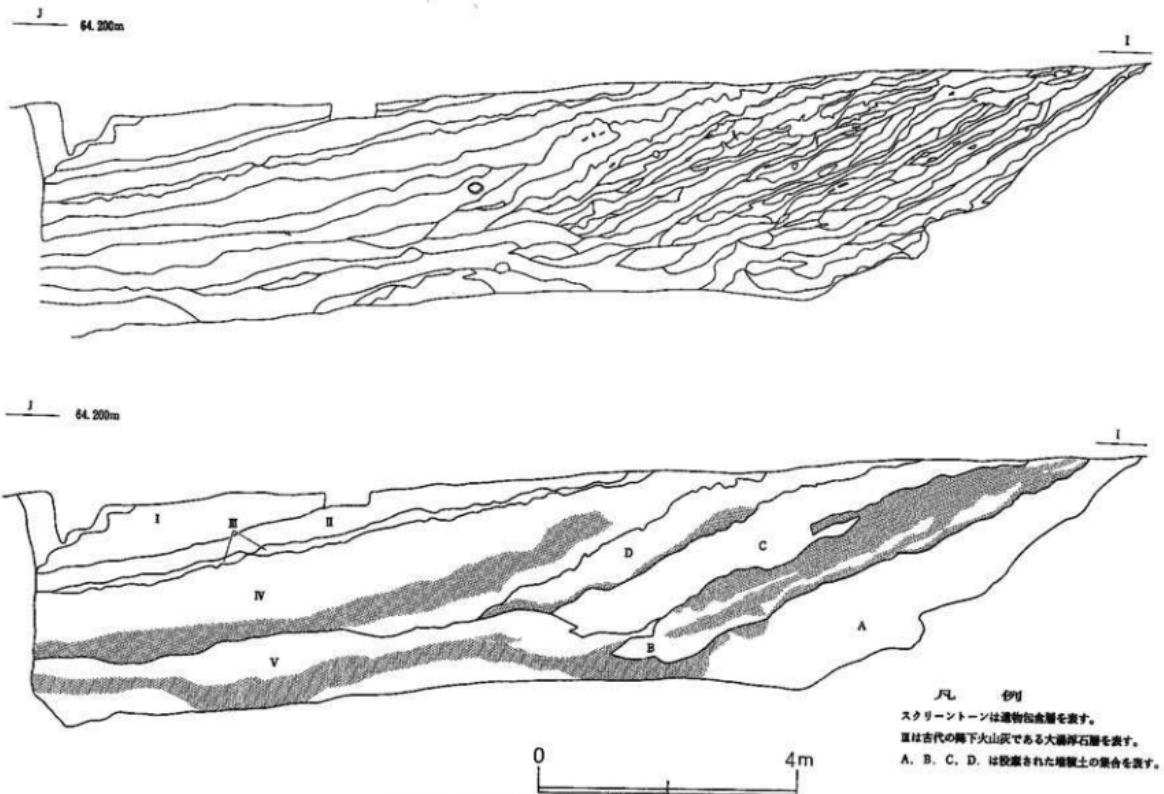
【S T396谷】

- |                        |                                    |
|------------------------|------------------------------------|
| 1 黒褐色土(10YR 3 / 2)     | 地山駆と鉱石駆および炭化物が多量混入。                |
| 2 黒褐色土(10YR 2 / 2)     | 地山駆と炭化物が多量混入。乾らかい。                 |
| 3 黒褐色土(10YR 2 / 2)     | 地山駆と炭化物が多量混入。土器を多量に包含。<br>2より硬らかい。 |
| 3' 黒褐色土(10YR 2 / 1)    | 炭化物少量混入。水分を含みやや粘性あり。               |
| 3b 黒褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆多量混入。                           |
| 4 黑褐色土(10YR 2 / 2)     | 地山駆と炭化物が多量混入。やや硬まりあり。              |
| 5 黑褐色土(10YR 2 / 1)     | 地山駆と炭化物が多量混入。                      |
| 6 黑褐色土(10YR 2 / 3)     | 地山駆混入。やや硬らかい。                      |
| 7 黑褐色土(10YR 2 / 3)     | やや硬さなし。                            |
| 8 黑褐色土(10YR 2 / 3)     | 地山駆と炭化物混入。                         |
| 9 黑褐色土(10YR 2 / 3)     | 地山駆多量混入。炭化物混入。                     |
| 10 黑褐色土(10YR 3 / 3)    | 地山駆と炭化物が多量混入。                      |
| 11 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆と炭化物が混入。土器多量包含。                 |
| 12 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆混入。                             |
| 13 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 地山駆・塊が多量混入。炭化物と鉱石駆が少量混入。           |
| 14 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 地山駆と炭化物が少量混入。                      |
| 15 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 地山駆・塊と鉱石駆が多量混入。炭化物が少量混入。           |
| 16 にじむ黒褐色土(10YR 4 / 3) | 地山駆を極めて多量に混入。炭化物が少量混入。土器包含。        |
| 17 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆が多量に混入。炭化物少量混入。土器包含。            |
| 18 黑褐色土(10YR 4 / 4)    | 炭化物少量混入。地山駆が多量混入。土器多量包含。           |
| 19 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆少量混入。炭化物塊が多量混入。土器包含。            |
| 20 黑褐色土(10YR 2 / 3)    | 炭化物と地山駆・塊が混入。                      |
| 21 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆混入。硬さなし。塊状。                     |
| 22 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 地山駆が線状に層を成している。                    |
| 23 黑褐色土(10YR 2 / 3)    | 土器少量包含。地山駆・塊と鉱石駆混入。排水りあり。          |
| 24 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 炭化物多量に混入。地山駆少量混入。                  |
| 25 黑褐色土(10YR 2 / 3)    | 地山駆少量混入。                           |
| 26 にじむ黒褐色土(10YR 4 / 3) | 炭化物少量混入。地山駆多量混入。                   |
| 27 黑褐色土(10YR 3 / 1)    | 排水りなし。コンクリート地蔵混入。種類。               |
| 28 黑褐色土                | 排水りなし。                             |
| 29 黑褐色土(10YR 2 / 1)    | 地山駆・塊混入。                           |
| 30 黑褐色土(10YR 3 / 2)    | 地山駆混入。土器包含。                        |
| 31 黑褐色土(10YR 2 / 2)    | 地山駆が層を成している部分がある。                  |
| 32 黑褐色土(10YR 5 / 8)    | 地山駆混入。                             |
| 33 黑褐色土(10YR 3 / 4)    | 炭化物と地山駆混めて多量に混入。                   |
| 34 黑褐色土(10YR 2 / 3)    | 地山駆混入。土器包含。                        |

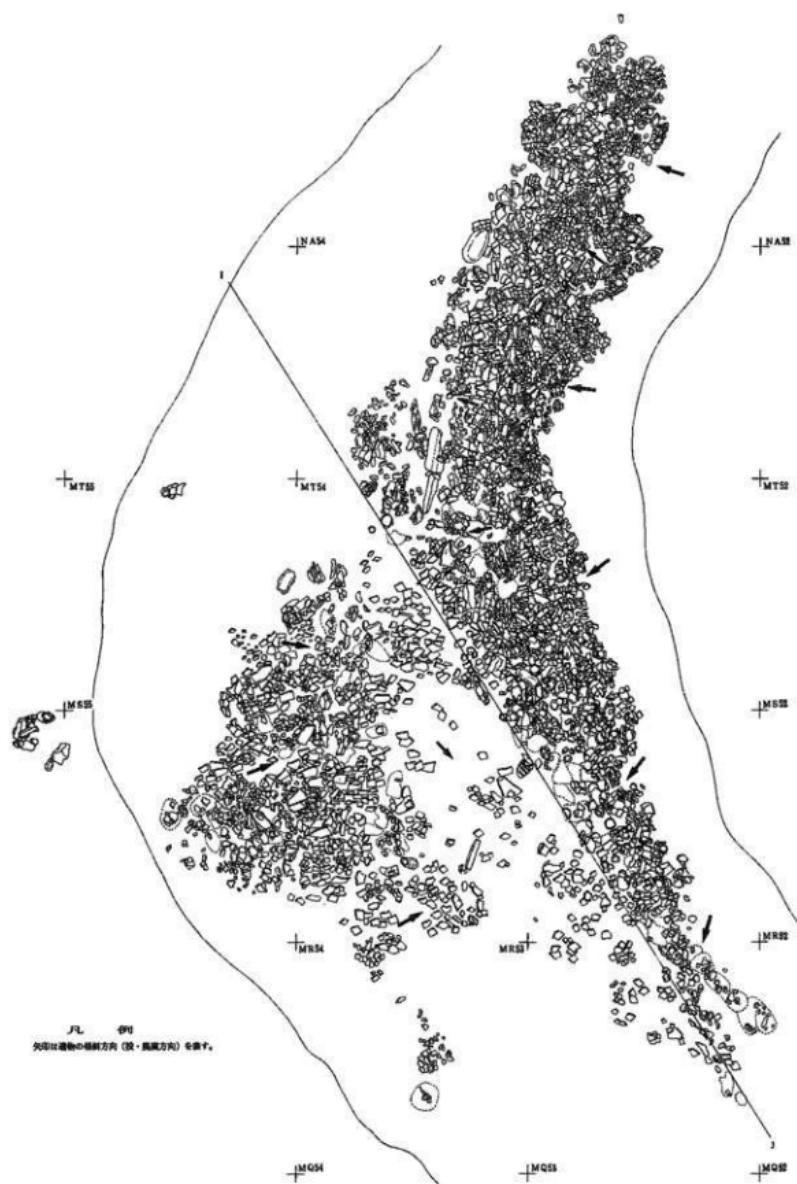
第524図 S T396・504谷頭部分土層断面図（1）



第525図 ST 396・504谷土層断面図 (2)



第526図 ST 396・504谷土層断面図（3）



第527図 S T396・504谷MQ～NSライン間遺物出土状況実測図



第528図 ST396・504谷MF～ML ライン間遺物出土状況実測図

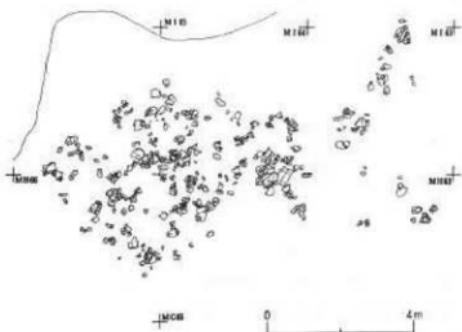


写真16 遺物出土状況



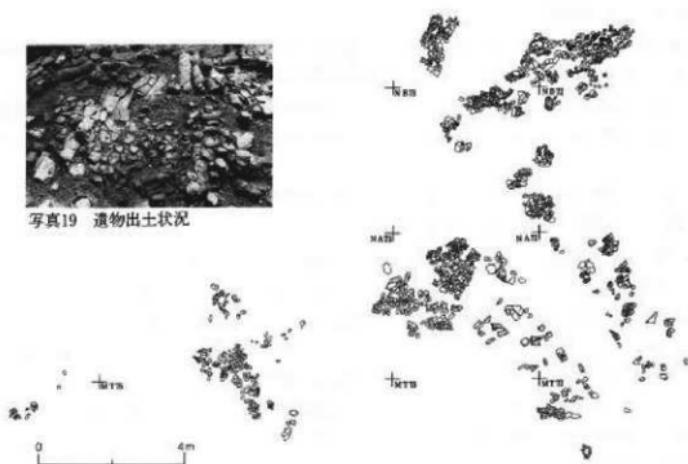
写真17 遺物出土状況



写真18 ML 49・ML 50グリッドの遺物出土状況



写真19 遺物出土状況



第529図 ST396・504谷底面遺物出土状況

て口縁部文様帶を作出し、下半には撚糸文を施文した土器（396・504-27）。

4 単位の波状口縁をもつバケツ形で、頸部に低く幅広な隆帯を巡らし、幅の狭い口縁部には横走する複数条の押圧繩文を巡らした後、波頂部から綾絡文を垂下させ、胴部には木目状撚糸文を施文した土器（396・504-28）。

肩部で内側に屈曲した後、頸部で大きく外反する土器で、屈曲する口縁部には横走する複数条の押圧繩文の間に網目状撚糸文原体の側面圧痕を付加して巡らした後、口唇から2条1単位の押圧繩文を垂下させ、肩部には横位連続刺突文、その下位には羽状繩文を2段巡らし、胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-29）。

バケツ形で口辺には単節繩文、以下には木目状撚糸文を施文した土器（396・504-30）。

スマートな逆ベル・ボトム風の器形を呈し、頸部には縦位の連続刺突文を1条巡らし、口縁部から頸部にかけて横走する複数条の押圧繩文を、胴部には木目状撚糸文を施文した土器（396・504-31）。

バケツ形に立ち上がり、肩部で内側に屈曲した後、頸部で外傾する土器で、口縁部には連続する半円状の押圧繩文とボタン状貼付文を、胴部には木目状撚糸文を施文した土器（396・504-32）。

ボリュームのあるすん胴形で、幅の狭い口縁部には横走する複数条の押圧繩文、頸部には2条の横位連続刺突文で飾った低く偏平な隆帯を巡らし、胴部には中半下位まで木目状撚糸文を、以下には多軸の撚糸文を施文した土器（396・504-33）。

円筒形を呈し、口辺には横走する複数条の押圧繩文、胴部には多軸の撚糸文を施文した土器（396・504-34）。

ボリュームのある円筒形を呈し、外反する口辺には横走する複数条の押圧繩文、胴部には羽状繩文と撚糸文を交互に施文した土器（396・504-35・36）。

すん胴な円筒形を呈し、幅の狭い口縁部には横走する複数条の押圧繩文、頸部には1条の押圧繩文で飾った低く偏平な隆帯を巡らし、胴部には多条の繩文を回転施文した土器（396・504-37）。

4 単位の波状口縁をもち胸部中央と頸部で大きな屈曲するキャリバー形を呈し、全面に繩文を施文した後、内湾する口縁部には2条1単位で2段に横走する沈線間に連続山形文を充填した土器（396・504-38）。

全面よく研磨され、2つの大きな波頂と高台の付いた鉢形土器（396・504-39）。

幅の広い口縁部をもち、頸部に隆帯が巡りスマートな円筒形を呈する土器（396・504-40）で、口辺と隆帶上に押圧繩文、口縁部には網目状撚糸文、胴部には撚糸文を施文している。

（396・504-42～44・46）は隆帯とその上下、中間に爪形文を施文した土器で、いずれも口縁部には羽状繩文を施文している。（396・504-41）は胴部のみであるが、網目状撚糸文を施文している。

（396・504-45）は円筒形を呈し、隆帯とその上下、中間に竹管刺突文を施文した土器である。

（396・504-47）は円筒形を呈し、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文を施文している。

② 石器 石器は1,516点出土した。その内訳は石鏃20点（396・504-413～419・600～607・645・646）、石槍37点（396・504-420～439・592・593・595・608～611・647～650）、石錐14点（396・504-487）、石匙374点（396・504-440～486・490・587～591・613～618・651～662）、籠状石器52点（396・504-508～533・619・620・675～682・685）、削器335点（396・504-492～494・621～624・663）、搔器152点（396・504-495～507・550・551・594・625～635・664～674）、剥片・不定形石器198点（396

- 504-488・489・491・534~549・683・684)、磨製石斧29点(396・504-570~573)、石錘15点(396)
- 504-553~568・597・598・638~644・687~689)、半円状扁平打製石器206点(396・504-569・586・599・693)、くぼみ石42点(396・504-574~581・690~692)、敲石21点(396・504-579・581・596・686)、擦石18点、石皿3点である。

③ 石製品 刻線疊3点、有溝疊3点(396・504-552)、石棒1点、有孔円盤状石製品4点(396・504-582~585)、円盤状石製品9点、垂飾品2点(396・504-636・637)が出土した。このほかに、自然疊に穴の開いた有孔疊16点、石核30点、軽石7点が出土した。

#### (4) 第Ⅲ層から出土した遺物

① 土器 復元できた土器は96点(396・504-52~148)である。

器形と原体に差異はあるが、全面に回転施文した土器(396・504-52~58)。

幅広な口縁部をもち頸部に爪形文で飾る低い隆帯を巡らした土器(396・504-60~65)で、口縁部から胴部上半には羽状繩文、下半には撚糸文あるいは多軸撚糸文(396・504-63)を施文している。

頸部の爪形文の上下(396・504-61・62・64)あるいは間にも(396・504-63)押圧繩文を附加しているものもある。(396・504-64)には口辺にも押圧繩文を附加している。隆帯間に垂下する隆線で結合する土器(396・504-62)もある。

3個1単位の波状突起を附加する口縁部をもつキャリバー形を呈し、頸部に2段の指頭圧痕列を巡らす土器(396・504-66)で全面木目状撚糸文を施文している。

すん胴な円筒形で頸部に指頭圧痕で飾った細く低い隆帯を巡らした土器(396・504-67)。直立する口縁部と膨らみのある胴部をもつ器形で、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半には撚糸文を施文している。

口辺に2条の押圧繩文を附加し、頸部には上下に押圧繩文を附加した指頭圧痕列を施文した土器(396・504-70)。

スマートな逆ベル・ボトム風の器形を呈し、頸部には2段の指頭圧痕列を巡らし、胴部には横位の波状沈線を何段にも巡らしてあたかもスズメバチの巣のような文様となっている土器(396・504-71)。

スマートな器形の頸部に横位の連続爪形文を巡らす土器(396・504-72~76)で、口縁部あるいは胴部上半まで羽状繩文、下半には撚糸文を施文しており、2段の横位連続爪形文列の間に絶条体側面圧痕文(396・504-72)と、横位連続爪形文列の上下に押圧繩文を附加している土器(396・504-73~76)がある。

口縁に4つの波頂をもつバケツ形(396・504-77)あるいは逆ベル・ボトム風の器形(396・504-78)で、頸部に2条の絶条体側面圧痕文を巡らした土器である。すん胴な円筒形を呈し、頸部に1条の押圧繩文を巡らしているが、口縁部に網目状撚糸文、胴部に撚糸文を施文した土器(396・504-79)と、口縁部には横位の羽状繩文、胴部上半には縦位の羽状繩文、下半に撚糸文を施文した土器(396・504-80)。

頸部に2条の押圧繩文を巡らした土器(396・504-81~87)で、口縁部あるいは胴部中半まで羽状繩文、下半には単節繩文(396・504-81)、口縁部から胴部上半まで羽状繩文、下半に撚糸文(396・504-82・85・87)、全面に単節繩文(396・504-84・86)、全面に多軸絡条体(396・504-83)を施文している。

頸部に3条の押圧縄文を巡らした土器（396・504-88-96・98）で、口縁部から胴部中半まで羽状縄文、下半には単節縄文（396・504-88-93）、口縁部から胴部中半まで羽状縄文、下半には多軸絡条体（396・504-95）、口縁部から胴部中半まで単節縄文、下半には撚糸文（396・504-94）、口縁部あるいは胴部上半まで羽状縄文、下半には撚糸文（396・504-93・98）を施文している。

幅の広い口縁部に数条の押圧縄文を巡らしている土器（396・504-99-105）で、ずん胴な円筒形あるいは口縁部が外反する円筒形で胴部に横位の羽状縄文（396・504-99・103）、ずん胴な円筒形で縦位の羽状縄文（396・504-100）、スマートな逆ベル・ボトム風で単節縄文（396・504-101）、複節縄文（396・504-102）、頸部がすぼまり胴部に撚糸文（396・504-104）と胴部中半まで羽状縄文、下半には多軸絡条体（396・504-105）がある。

幅の広い口縁部をもち頸部に数条の押圧縄文を巡らし、口唇から頸部に2～3条1単位の押圧縄文が垂下する土器（396・504-106-110）である。（396・504-106・107）の頸部には低く幅広な隆帯が巡り、（396・504-110）には垂下する押圧縄文間にV字に縄文を押捺している。（396・504-106）の胴部には複節縄文、（396・504-108・109）の胴部には多条縄文、（396・504-110）の胴部には上半に羽状縄文、下半には多軸絡条体が施文されている。

ずん胴な円筒形を呈する土器（396・504-111）の頸部には低い隆帯を巡らし、口縁部には撚糸文で幅の広いV字文様を、胴部には撚糸文を施文している。

ボリュームのあるバケツ形を呈する土器（396・504-112）の口縁部には縄の押捺により菱形文様を、胴部には多軸絡条体を施文している。

ずん胴な円筒形を呈する土器（396・504-113）の口縁部には縄と丸棒の押捺によりユニオン・ジャック様の文様を4単位施文し、下位に綾絡文、縄文を施文している。

やや膨らみのある器形の土器（396・504-113）の幅広な口縁部には縄の押捺により曲線的な菱形文様を、その下位には撚糸文、縄文、羽状縄文を施文している。

（396・504-115・116・119）は高台のついたバケツ形を呈する土器で、幅の狭い口縁部には縄を数条押捺し、頸部には連続刺突列で飾る細く低い隆帯を巡らし胴部には木目状撚糸文（396・504-115・116）、あるいは羽状縄文（396・504-119）を施文している。

（396・504-117・118）は、幅の狭い口縁部をもち頸部に2段の長円形の連続刺突列を巡らし、口縁部から胴部上半にかけて羽状縄文、以下に綾絡文を付加する撚糸文（396・504-117）、あるいは単節縄文（396・504-118）施文した土器である。

円筒形を呈する（396・504-120）は、口縁部には横位、胴部には縦位の撚糸文を施文した土器である。バケツ形を呈する（396・504-121・122・124～127）は、横走あるいは波状を呈する数条の押圧縄文が施文された幅の狭い口縁部をもち、胴部には綾絡文を付加する撚糸文（396・504-121）、羽状縄文（396・504-122・124・126・127）、撚糸文と羽状縄文を交互に施文（396・504-125）した土器で、（396・504-122）の頸部には連続刺突列で飾る細く低い隆帯が巡る。

やや膨らみのある円筒形を呈する土器（396・504-123）は横走する数条の押圧縄文が施文された幅の狭い口縁部をもち、胴部上半には多軸撚糸文、以下には単軸撚糸文を施文している。

ずん胴な円筒形を呈する土器（396・504-128）は横位の撚糸文が施文された幅の狭い口縁部をもち、頸部には斜位の撚糸文で飾った広く低い隆帯を巡らし、胴部には撚糸文を施文している。

バケツ形を呈する土器（396・504-129）は横走する数条の押圧縄文の上に押圧縄文で連続山形文を作出した幅の狭い口縁部をもち、胴部には撚糸文の上に多軸撚糸文と羽状縄文が施文されている。

外反する口縁部に4つの波頂部をもち、頸部に連続刺突列で飾る鋭角的な隆帯を巡らし、球形を呈する胴部、すぼまつた底部をもつ土器（396・504-130）の口縁部には、絡条体側面圧痕による横位施文の上に連続山形文を施文し、胴部から底部まで羽状縄文が施文されている。（396・504-131）も同様の土器であるが、器形がいびつで口縁部と胴部には撚糸文が施文されている。

バケツ形を呈する土器（396・504-132）は、幅の狭い口縁部に絡条体側面圧痕による横位施文、頸部には連続刺突列で飾る鋭角的な隆帯を巡らし、胴部には木目状撚糸文を施文している。

バケツ形を呈し幅の狭い口縁部に横走する数条の押圧縄文を施文し、頸部に低い隆帯を巡らした土器（396・504-133・135-139）の胴部には羽状縄文（396・504-133・137）、撚糸文（396・504-135・136）、綾絡文を付加する撚糸文（396・504-138）、上半に羽状縄文で以下に多軸絡条体を施文している。

縦位の羽状縄文と綾絡文を施文した球形の胴部に大きく外反する口縁部のついた土器（396・504-146）は底部を欠失するが、口縁部に間隔を空けた3段の連続刺突列を巡らし、ボタン状貼付文が見られる。

胸膨らみのある土器（396・504-147）は口辺に貼付した幅広な隆帯に縦位の長円形連続刺突列を巡らし、以下には沈線文を施文している。

（396・504-148）は鉢形を呈する土器である。

② 石器 石器は470点出土した。その内訳は、石鏃1点（396・504-694）、石槍9点（396・504-695-703）、石錐20点（396・504-704-706）、石匙91点（396・504-707-715）、箆状石器8点（396・504-716-721）、削器17点（396・504-722-738）、搔器35点（396・504-739-745）、剥片・不定形石器203点（396・504-746-748）、磨製石斧6点（396・504-749-751）、石錘8点（396・504-752-756）、半円状扁平打製石器42点、くぼみ石15点（396・504-757-762）、敲石2点、擦石10点、石皿3点である。

③ 石製品 石棒1点、円錐状石製品2点（396・504-763・764）が出土した。このほかに、自然礫に穴を開いた有孔礫11点、石核3点、輕石7点が出土した。

#### （5）第N層から出土した遺物

① 土器 復元できた土器は32点（396・504-149-181）である。

頸部に隆帯を巡らし全面に撚糸文を施文した土器（396・504-149）、スマートなバケツ形を呈し、口縁部に縄文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-150・151）。

円筒形を呈し、頸部に低い隆帯を巡らした土器で、口縁部に縄文、胴部に撚糸文を施文（396・504-152）、口縁部と胴部に原体の異なる撚糸文を施文した土器（396・504-149）。

ボリュームのある円筒形を呈し、頸部に絡条体側面圧痕文で上下を飾る低い隆帯を巡らし、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-153）。

円筒形を呈し、頸部に爪形文で飾る低い隆帯を巡らした土器（396・504-155-163）であるが、低い隆帯が1条（396・504-155-158）と、2条（396・504-158-163）の土器がある。また、爪形文の上下、あるいは上中下に縄を1条押捺しているものもある。全面に撚糸文を施文（396・504-155-156）、口縁部から胴部上半まで羽状縄文で以下に撚糸文を施文（396・504-157-158-160）、口縁

部から胸部上半まで纏文で以下に撚糸文を施文（396・504-159）。頸部に指頭圧痕文で飾る隆帯を巡らした土器（396・504-164-166）で、円筒形で全面に撚糸文を施文（396・504-164）、口縁部から胸部上半まで羽状縄文で以下に撚糸文を施文（396・504-165）、バケツ形で全面に単節縄文を施文（396・504-166）。

頸部に横走する数条の押圧縄文を施文している土器（396・504-167-170・172・173）で、口縁部から胸部上半まで羽状縄文で以下に撚糸文を施文（396・504-167-170・171）、口縁部に縄文、胸部に撚糸文を施文（396・504-172）、口縁部に網目状撚糸文、胸部に単軸撚糸文を施文（396・504-172）。

頸部に撚糸文を施文した低い隆帯を巡らし口縁部に網目状撚糸文、胸部に単軸撚糸文を施文した土器（396・504-171）。

頸部に低く目立たない隆帯が巡り、幅の狭い口縁部に数条の押圧縄文を巡らし、胸部には羽状縄文を施文（396・504-174）、羽状縄文と撚糸文を交互に施文した土器（396・504-178）。

肩部が張り出し、頸部がすぼまる器形を呈し、肩部に2条の平行沈線を巡らし全面に羽状縄文を施文（396・504-175）、口縁部に数条の押圧縄文を巡らし、胸部には羽状縄文を施文（396・504-176・177）した土器。

スマートな円筒形を呈し、頸部に上下を押圧縄文で飾る横長の刺突列を巡らした土器（396・504-175）で、口縁部に羽状縄文、胸部に撚糸文を施文している。

円筒形の胸部に、大きく外反し口辺が立ち上がる口縁部のついた土器（396・504-180）で、口唇部には沈線で円を描いた4つの突起、横長のくぼみ、それらの間に充填された細い縦長の沈線で飾り、口縁部には時計回りの渦巻文を描き、それらを連結するかのように斜走する沈線で大きな連続山形を配している。頸部には貼り付けた粘土紐を上下から交互に突き刺して連続山形（波状）文を削り出している。胸部には口縁部の渦巻文下方に、内部に刺突列と同心円状の弧状隆帯文を充填した隆帯を垂下させ、その外側にも上下2つの同心円状の弧状隆帯文を充填したように土器表面を削り出している。地文の縄文がわずかに残っている。土器胎土は精選され、焼成良好で堅緻な作りである。

口辺が内彎し底部に小さな突起状の脚がついた鉢形土器（396・504-181）で、口辺を除き細い単節縄文が施文されている。

② 石器 石器は382点出土した。その内訳は石礫5点（396・504-765-767）、石槍16点（396・504-768-772）、石錐6点（396・504-773-777）、石匙115点（396・504-778-793）、箆状石器10点（396・504-811-818）、削器68点（396・504-819-820）、搔器32点（396・504-794-810）、剥片・不定形石器44点、磨製石斧7点（396・504-822）、石鍤12点（396・504-823-836）、半円状扁平打製石器34点、くぼみ石17点（396・504-838-843）、蔽石5点（396・504-837）、擦石10点（396・504-821）、石皿1点である。

③ 石製品 刻線礫1点（396・504-844）、有溝礫1点、円盤状石製品3点が出土した。このほかに、自然礫に穴の開いた有孔礫2点、石核5点、輕石1点が出土した。

#### （6）第V層・Vb層から出土した遺物

① 土器 復元できた土器は201点（396・504-182-383）で、このうち第V層から出土した土器は138点である。

バケツ形を呈し全面に撚糸文を施文した土器（396・504-182-184・186）。

やや膨らみのある円筒形あるいは口縁部がやや外反するバケツ形を呈し、撚糸文の同一原体の回転方向を変えて文様帶を作出した土器（396・504-185・187・192）。

口縁部がやや外反するバケツ形を呈し、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-188-191・193・195・197・199）。

円筒形あるいは口縁部が外反し膨らみのある円筒形を呈し、綾絡文を口縁部と胴部中間に施文した土器（396・504-194・196）。

やや膨らみのある円筒形で口縁部に繩文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-198）。

スマートな逆ベル・ボトム風の器形で、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-200）。

円筒形を呈し頸部に2条の刺突列を巡らし全面に撚糸文を施文した土器（396・504-201）。

バケツ形を呈し口縁部に単節繩文（396・504-203・208）あるいは複節繩文（396・504-204）、羽状繩文（396・504-207）を、胴部に撚糸文を施文した土器。

頸部がすぼまる円筒形を呈し肩部に2条の押圧繩文を巡らし全面に撚糸文を施文した土器（396・504-205）。

バケツ形を呈し胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文を施文した土器（396・504-206・212・213）。

バケツ形を呈し全面に羽状繩文を施文した土器（396・504-209・211）。

バケツ形を呈し胴部上半に羽状繩文、下半に繩文を施文した土器（396・504-210）。

スマートな円筒形を呈し頸部に絡条体側面圧痕を巡らし口縁部に単節繩文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-214）。

口縁部が外反しやや膨らみのある円筒形で頸部に隆帯を巡らした土器（396・504-215-226）で、全面に撚糸文（396・504-215・216・219・220）、口縁部に単節繩文、胴部に撚糸文（396・504-217・218・224）、口縁部から胴部中間に羽状繩文、以下に撚糸文（396・504-221）、口縁部に綾絡文、胴部に単節繩文（396・504-225）、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-226）を施文している。隆帯上は繩の押捺（396・504-215・217・226）、回転（396・504-216・218・225）、無文（396・504-219-224）である。無文の隆帯は尖鋭的な作りとなっている。

すん胴で頸部に爪形文で上下を飾る2条の尖鋭的な隆帯を巡らした土器（396・504-227）である。

すん胴あるいはバケツ形を呈し頸部に指頭圧痕列で飾る低い隆帯を巡らした土器（396・504-229-238）で、指頭圧痕列が1条（396・504-228・230-232・234・235）、隆帯上に1条とそれを挟むように上下にも（396・504-229・233・236-238）施文している。また、これらの文様構成は口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-228）、口縁部に羽状繩文、胴部に撚糸文（396・504-229・234・237）、口縁部から胴部上半と底辺部に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-230）、口縁部から胴部上半に単節繩文、胴部に撚糸文（396・504-233・236）、全面に撚糸文（396・504-231・232）、口縁部に羽状繩文、隆帯下方に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-235）、口縁部から胴部下半まで羽状繩文、底辺部に撚糸文（396・504-238）である。

わずかに外傾する口縁部をもつ円筒形で頸部に3条の押圧繩文を巡らした土器（396・504-240）で、口縁部から胴部上半まで羽状繩文、以下に撚糸文を施文している。

胴の膨らむ円筒形あるいはバケツ形を呈し、頸部に爪形文で飾る隆帯を巡らした土器（396・504-

239・241～256)で、爪形文列が1条(396・504-241～243)、2条(396・504-244・245・252)、2条の間に横位に爪形文を充填(396・504-239・248)、3条(396・504-246・247)の土器がある。また、これらの土器の文様構成は、口縁部から胴部上半が羽状繩文、下半が撚糸文(396・504-239・242・244・246)、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文(396・504-241)、口縁部に羽状繩文、胴部に撚糸文(396・504-243・248)である。

円筒形を呈し、頸部に押圧繩文を上下に付加した爪形文を巡らした土器(396・504-249)で、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文を施文している。

円筒形あるいはスマートな逆ベル・ボトム風な器形を呈し、頸部に繩を押捺した隆帯を巡らした土器(396・504-250・251)で、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文(396・504-250)、口縁部に単節繩文、胴部に綾絡文を付加した撚糸文(396・504-251)を施文し、隆帯の上下に爪形文を巡らしている。

円筒形で頸部に横位の爪形文とその上下の縦位の爪形文で飾る隆帯を巡らした土器(396・504-252～265)で、全面に単節繩文(396・504-252)、口縁部から胴部上半が単節繩文、下半が撚糸文(396・504-253)、口縁部から胴部上半が羽状繩文、下半が撚糸文(396・504-254～260・262・264・265)を施文している。

爪形文の上下に繩原体側面圧痕を巡らす土器(396・504-261・263)で、胴部中半にも繩原体側面圧痕を巡らしている(396・504-263)。

複数条の縦位の爪形文で飾る隆帯を巡らした土器(396・504-266・267)で、胴部中位に撚糸文、口縁部から胴部上半および下半に単節繩文(396・504-266)あるいは羽状繩文(396・504-267)を施文している。

頸部に縦位の爪形文を巡らし、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文を施文しているが胴部中位に綾絡文を付加した土器(396・504-268)。

頸部に複数条の縦位の爪形文で飾る隆帯を巡らし全面に羽状繩文を施文した土器(396・504-269)。口縁部がやや開くスマートな円筒形を呈し、頸部に横位の爪形文で飾る隆帯を巡らした土器(396・504-270)。

口縁部がやや開くスマートな円筒形を呈し、頸部に縦位の刺突列で飾る隆帯を巡らし、口縁部に羽状繩文、胴部に綾絡文を付加した撚糸文を施文した土器(396・504-271)。

スマートな円筒形を呈し頸部に単輪絡条体側面圧痕の上下に繩原体側面圧痕を巡らした土器(396・504-272)で、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文を施文している。

口縁部がやや開くスマートな円筒形を呈し、頸部に縦位の刺突列で飾る隆帯を巡らし、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文を施文した土器(396・504-273・274)。

口縁部がやや開くスマートな円筒形を呈し、口縁部に繩原体側面圧痕を巡らす土器(396・504-275・276)で、全面に単節繩文(396・504-275)、多軸撚糸文(396・504-276)を施文している。

円筒形を呈し頸部に繩原体側面圧痕を巡らした土器(396・504-277～283・284～293)で、全面に羽状繩文(396・504-277・283)、方向を変え全面に撚糸文(396・504-278)、口縁部に羽状繩文、胴部に撚糸文(396・504-279・287・290)、口縁部から胴部上半に羽状繩文、下半に撚糸文(396・504-280・282・285・286・288・289・292・293)、口縁部に単節繩文、胴部に撚糸文(396・504-281)、全面に単節繩文(396・504-291)を施文している。

口縁部が開く円筒形を呈し、頸部に2条の押圧縄文を巡らし、幅の狭い口縁部に横走する押圧縄文、胴部に撚糸文を施文している（396・504-294）。

幅の広い口縁部に口唇から頸部へ押圧縄文を垂下させた土器（396・504-295～299）で、頸部には押圧縄文（396・504-295・296・299）、上下に押圧縄文を付加した指頭圧痕列（396・504-297）、単軸絡条体側面圧痕文の上下に繩原体側面圧痕を巡らす（396・504-298）、方向を変えた撚糸文（396・504-299）を施文している。

横走する押圧縄文を施文した幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-300・302）で、胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文（396・504-300）、下半に綾縞文を付加した撚糸文（396・504-302）を施文している。

ボリュームのあるバケツ形を呈し、頸部に横長の刺突列を巡らし、幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-301）で、全面に羽状縄文を施文している。

繩原体を横位と連続山形に施文した幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-303～306）である。（396・504-305・306）の繩原体は絡条体である。また（396・504-306）の頸部には横走する横長の刺突列を巡らしている。

押圧縄文を施文した幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-307）で、全面に羽状縄文を施文している。スマートなバケツ形で頸部に低い隆帯を巡らし幅の狭い口縁部に繩原体を横位と連続山形に施文した土器（396・504-308）。胴部には撚糸文と羽状縄文を交互に施文している。

口縁部が開く円筒形を呈し、頸部に単軸絡条体側面圧痕文を巡らし、口辺と側面圧痕文の上下に2条1単位の押圧縄文を横走させており、その間にも網目状に押圧しており胴部には単筋縄文を施文している。

ゆるやかな波状口縁のバケツ形を呈し頸部には上下に押圧縄文を付加した横長の刺突列を巡らし、幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-310・312）で、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文を施文している。

円筒形を呈し、頸部には上下に押圧縄文を付加した横長の刺突列を巡らし、幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-311）で、胴部には全面に羽状縄文を施文している。

ボリュームのある円筒形を呈し、頸部には半截竹管の連続刺突列で飾る低い隆帯を巡らした土器（396・504-313）で、極めて幅の狭い口縁部には横走する押圧縄文、胴部には全面に羽状縄文を施文している。

（396・504-317）はバケツ形を呈するが文様構成は同一である。（396・504-314）はバケツ形を呈し頸部には上下に押圧縄文を付加した単軸絡条体側面圧痕文を巡らし、幅の狭い口縁部に押圧縄文を施文した土器で、胴部には全面に羽状縄文を施文している。

ボリュームのあるバケツ形を呈し、頸部に2条の横長の刺突列を巡らし、羽状縄文を施文した幅の狭い口縁部をもつ土器（396・504-315）で、胴部には撚糸文を施文している。

（396・504-316）は、台付きの鉢形土器である。

スマートなバケツ形を呈し頸部には縄を押捺した隆帯を巡らし、口縁部には押圧縄文、胴部には網目状撚糸文を施文した土器（396・504-318）。

張り肩で、頸部がすぼまり口縁が外反する器形を呈する土器（396・504-319・320）で、口縁部か

ら肩部には數条の押圧縄文、胴部上半には羽状縄文、下半には単節縄文（396・504-319）あるいは撚糸文（396・504-320）を施文している。

V b層から出土した土器は62点である。

逆ベル・ボトム風な器形を呈し、全面に撚糸文を施文した土器（396・504-321～323）である。

スマートな円筒形を呈し、折返し様の膨らみをもつ口縁部とその下方には綾絡文、胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-324）。

スリムなバケツ形を呈し幅広な口縁部には綾絡文、胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-325）。逆ベル・ボトム風な器形を呈し、口縁部には単節縄文、胴部には撚糸文を施文した土器（396・504-326）である。

口縁が外反するすん胴な円筒形で全面に撚糸文（396・504-327）、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-328）施文した土器。

円筒形を呈する土器（396・504-329～332・336）で、撚糸文の回転方向を変えて文様帯を作出（396・504-329）、口縁部に単節縄文、胴部に撚糸文（396・504-330～332）、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文（396・504-336）を施文している。

バケツ形を呈し口縁部に単節縄文、胴部に撚糸文を施文した土器（396・504-330～332）。

逆ベル・ボトム風な器形を呈する土器（396・504-334・341）で、全面に単節縄文（396・504-334）、口縁部に羽状縄文、胴部に撚糸文（396・504-341）を施文している。

4つの頂部のある波状口縁をもつ円筒形を呈し全面に羽状縄文を施文した土器（396・504-338）である。

円筒形を呈し頸部に指先圧痕列を施文した低い隆帯を巡らした土器（396・504-342～349・353）で、口縁部に羽状縄文、胴部に綾絡文を付加した撚糸文（396・504-342）、口縁部に羽状縄文、胴部に撚糸文（396・504-343・344）、口縁部に単節縄文、胴部上半に単軸絡条体圧痕文、下半に撚糸文（396・504-345）、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文（396・504-346～348）、口縁部に綾絡文、胴部に撚糸文（396・504-349）、口縁部から胴部上半に単節縄文、下半に撚糸文（396・504-353）を施文している。

円筒形を呈し頸部にその上中下に爪形文を付加した2条の指先圧痕列を施文した低い隆帯を巡らした土器（396・504-351）で、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文を施文している。

（396・504-352）は、ボリュームのある円筒形を呈し、頸部にその上中下に押圧縄文を付加した3条の指先圧痕列を施文した土器で、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文を施文している。

口縁がやや外反する円筒形を呈し、頸部に2段の爪形文を巡らす土器（396・504-354・355・357・359）で、口縁部から胴部上半に羽状縄文、下半に撚糸文を施文しているが、2段の爪形文の間に横方向の爪形文を付加（396・504-355・359）したものもある。

（396・504-356）は、頸部に指先圧痕列を施文した低い隆帯を巡らした土器で、隆帯の上下に爪形文を付加している。

（396・504-358・371）は口縁がやや外反する円筒形を呈し、頸部に単軸絡条体圧痕文を施文した低い隆帯を巡らし、全面に撚糸文（396・504-358）、口縁部に羽状縄文、胴部に撚糸文（396・504-371）を施文した土器である。

(396・504-360) は、口縁がやや外反する円筒形を呈し、頸部に単軸縦条体を押捺して文様帶区画し、口縁部に綾縞文、胴部に撲糸文を施文した土器である。

(396・504-361) は、口縁がやや外反する円筒形を呈し、頸部に押圧縄文を上下に付加した2段の爪形文を巡らし、口縁部から胴部上半に羽状縞文、下半に撲糸文を施文した土器。

(396・504-362) は、幅が狭く外反する口縁の、すん胴な円筒形を呈し、口縁部から頸部下方に羽状縞文、以下に撲糸文を施文したあと頸部に上下に押圧縄文を付加した横長の刺突列を巡らした土器。(396・504-363・367) は、胴がやや膨らむ円筒形でやや幅広な口縁部から胴部上半に羽状縞文、下半に単節縞文を施文したあと、頸部に3条の押圧縄文を巡らした土器。

(396・504-366) は、円筒形を呈し頸部に2条の押圧縄文を巡らし、ほぼ直立する口縁部に羽状縞文、胴部に撲糸文を施文した土器。

(396・504-364) は、円筒形を呈し頸部に単節縞文を回転させた隆帯を巡らし、やや幅広な口縁部から胴部上半に羽状縞文、下半には撲糸文と羽状縞文を交互に施文した土器。

円筒形を呈し頸部に2条の隆帯を巡らした土器(396・504-368~370)で口縁部から胴部上半に単節縞文、下半に撲糸文(396・504-368・369)、口縁部から胴部上半に羽状縞文、下半に多軸撲糸文(396・504-370)を施文している。

円筒形を呈し頸部に2条の押圧縄文を巡らし口縁部に単節縞文、胴部に撲糸文を施文した土器(396・504-372・373)で、(396・504-372)には口辺にも2条の押圧縄文が巡る。

(396・504-374・375) は円筒形あるいはやや胴の膨らむ円筒形を呈し、上半に羽状縞文、下半に撲糸文を施文し、口縁部に数条の横走する押圧縄文を施文した土器で、(396・504-374)の口縁部はやや幅広であるが、(396・504-375)の幅は狭い。

(396・504-376) はバケツ形を呈し、頸部に細く低い隆帯を巡らして極めて幅の狭い口縁部には数条の押圧縄文を、胴部には細かい羽状縞文を施文している。

(396・504-377・378) はバケツ形を呈し、全面に細かい羽状縞文を施文している。

(396・504-379・380) は張り肩で頸部がすぼまる器形を呈し、(396・504-379)では肩部に半截竹管様の連続刺突列を、口縁部に数条の横走する押圧縄文を施文し、胴部には縦位の細かい沈線が施文されているが、(396・504-380)では、口縁部から肩部まで横長の刺突文と押圧縄文が交互に施文され、胴部には羽状縞文が施文されている。

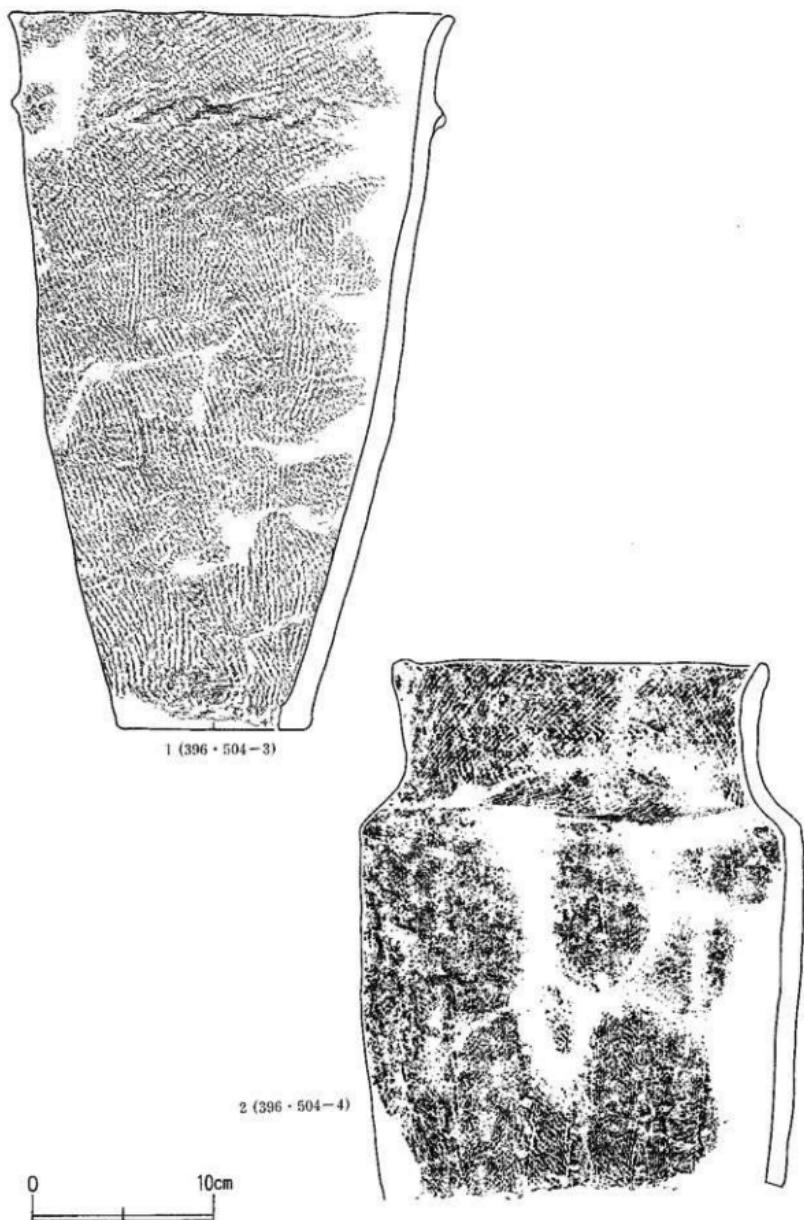
(396・504-381) は逆ベル・ボトム風の器形を呈し、頸部には隆帯を巡らされ、口辺は肥厚しボタン状突起が付加されている。口縁部には押圧縄文が多用され、胴部には羽状縞文が施文されている。

② 石器 石器は235点出土した。その内訳は石鎌4点(396・504-854・855・864・865)、石槍9点(396・504-845~847・856・866~869・901)、石錐2点、石匙61点(396・504-850・859~862・870~876・905)、箆状石器5点(396・504-857・858・890)、削器56点(396・504-848・849・851)、搔器23点(396・504-852・877~889)、剥片・不定形石器13点(396・504-891・899・900)、磨製石斧10点(396・504-892・893)、石錐5点(396・504-863・894・895)、半円状扁平打製石器27点(396・504-898・907)、くぼみ石12点(396・504-902~904)、敲石4点、擦石1点、石皿3点である。

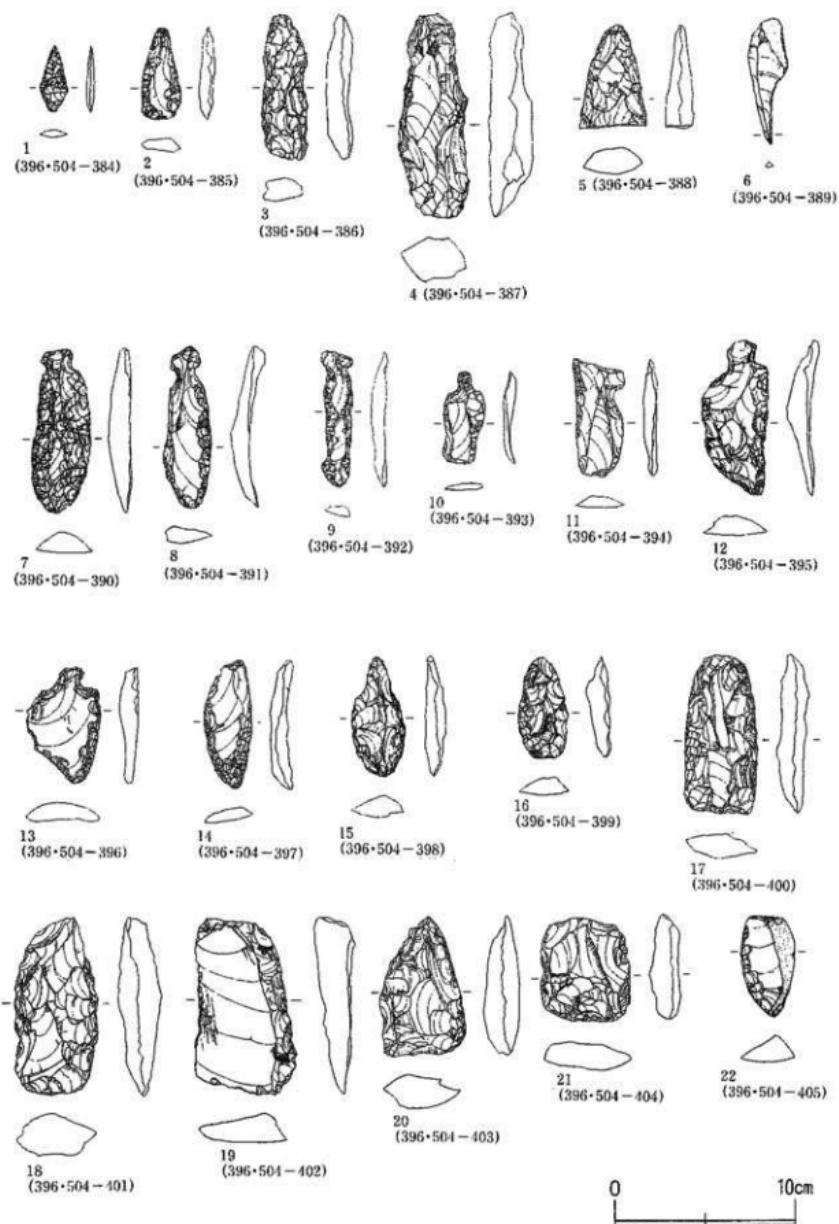
③ 石製品 刻線礫1点、石棒1点、円盤状石製品9点(396・504-853・896・897)が出土した。このほかに、自然礫に穴を開いた有孔礫2点、輕石1点が出土した。



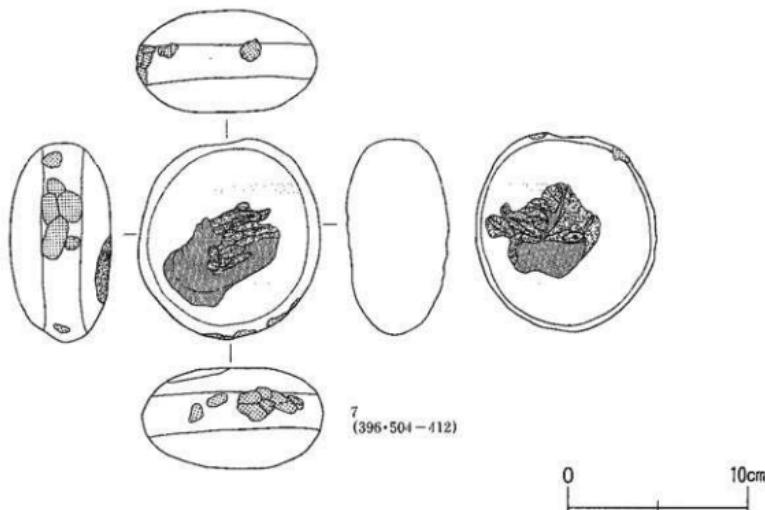
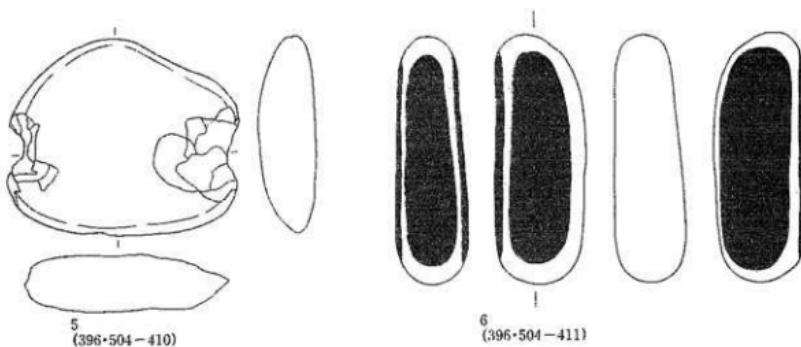
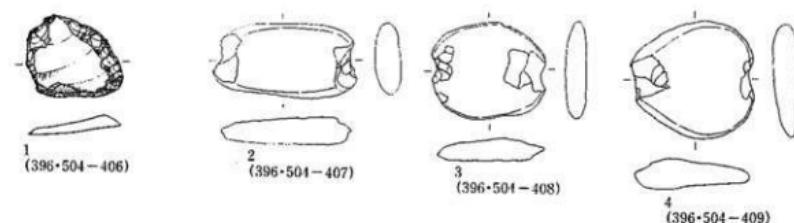
第530図 S T 396・504谷 I 層出土土器 (1)



第531図 S T396・504谷 I層出土土器 (2)



第532図 S T 396・504谷 I 層出土石器 (1)



第533図 S T396・504谷 I 層出土石器 (2)



第534図 S T396・504谷 I層・II層出土土器 (1)

圖 585 圖 S.T.396・504 合 1 號・II 層出土土器 (2)

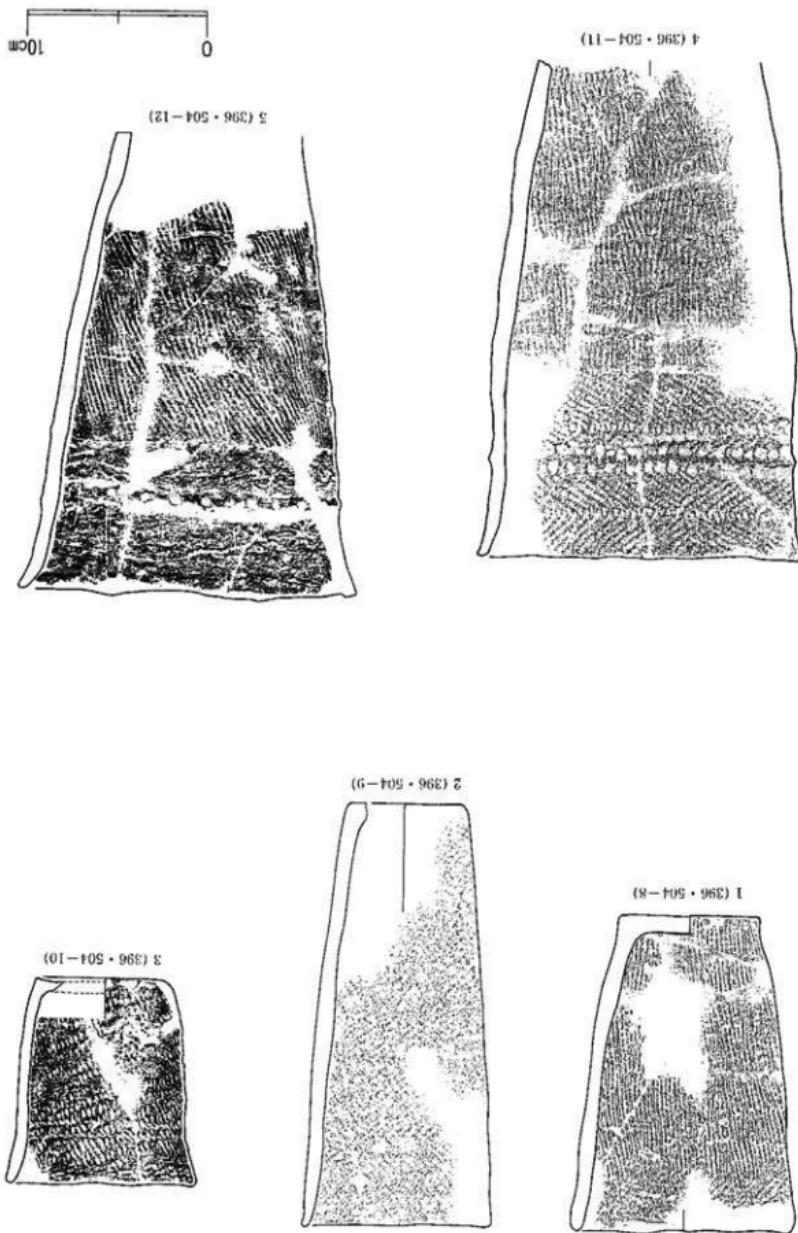
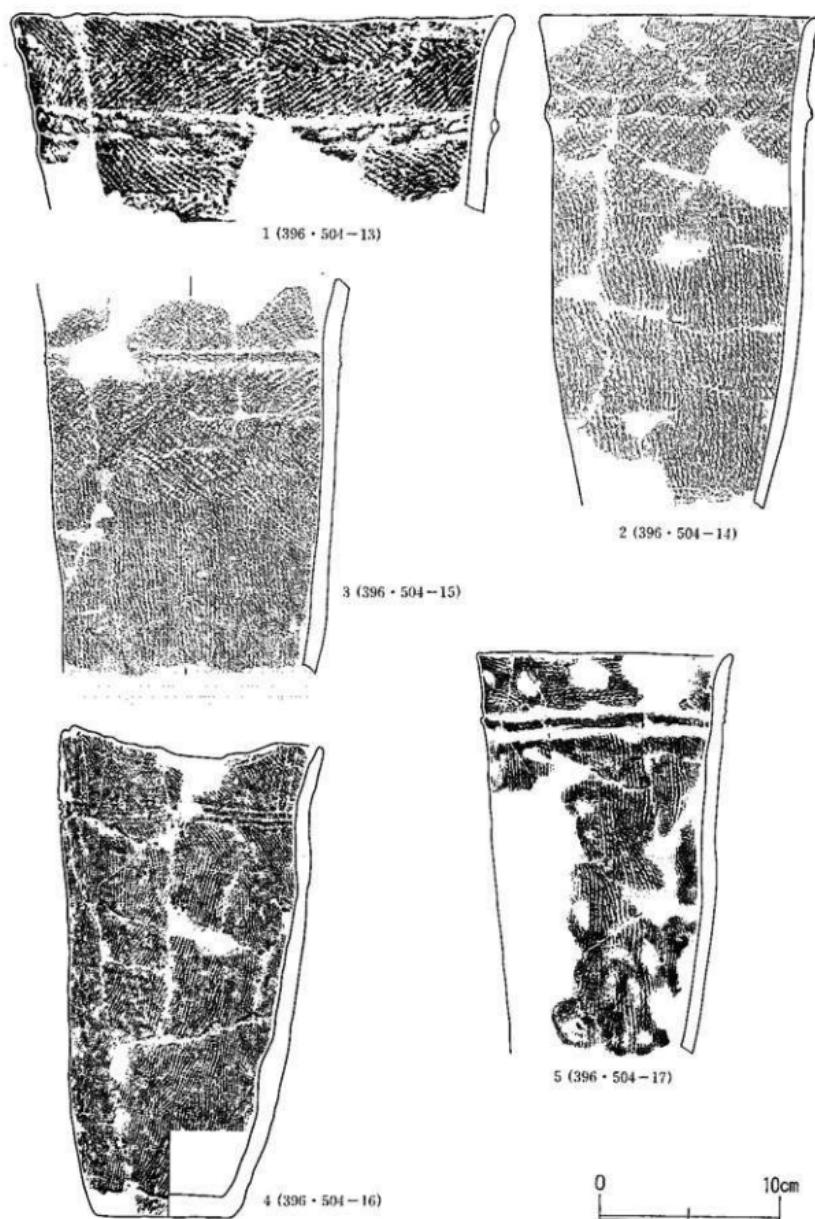


圖 586 圖 S.T.396・504 合 2 號・II 層出土土器



第536図 S T396・504谷 I層・II層出土土器 (3)

圖587圖 S T396・504瓮 I 槽・II層出土土器 (4)

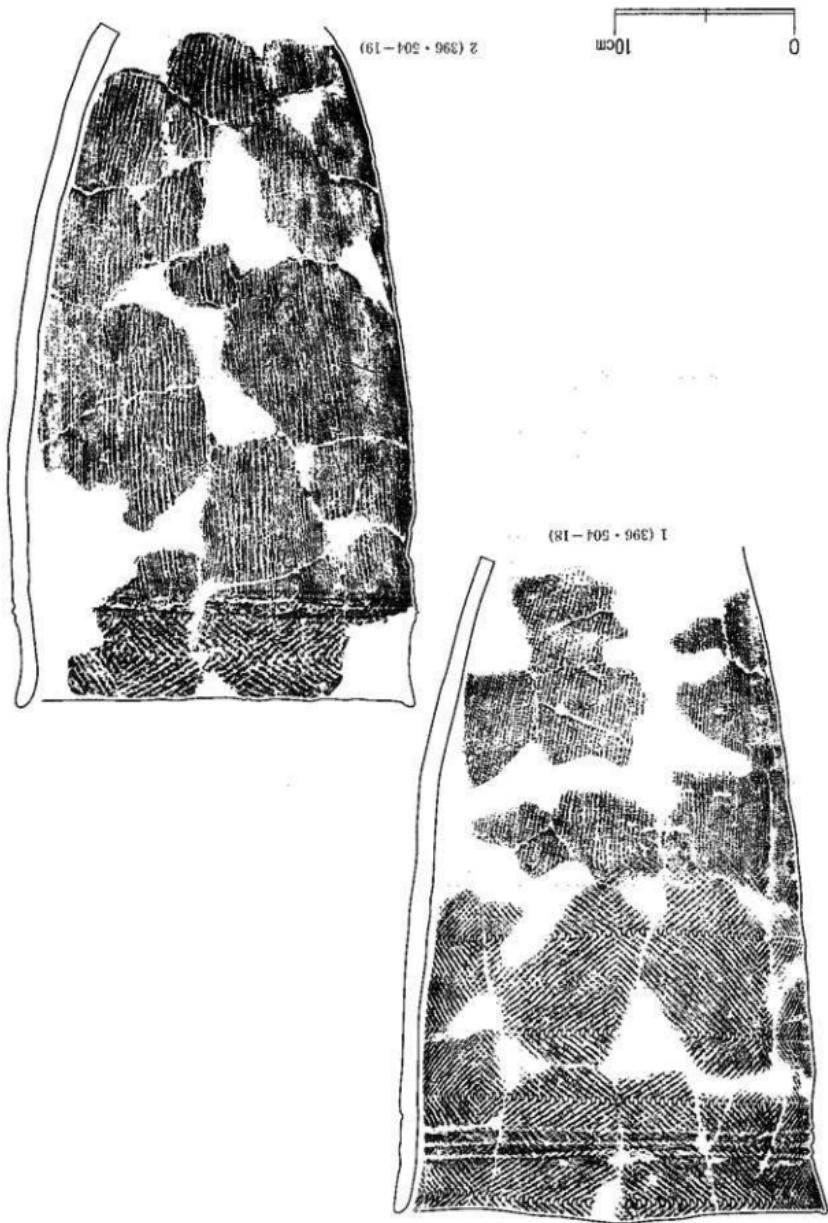
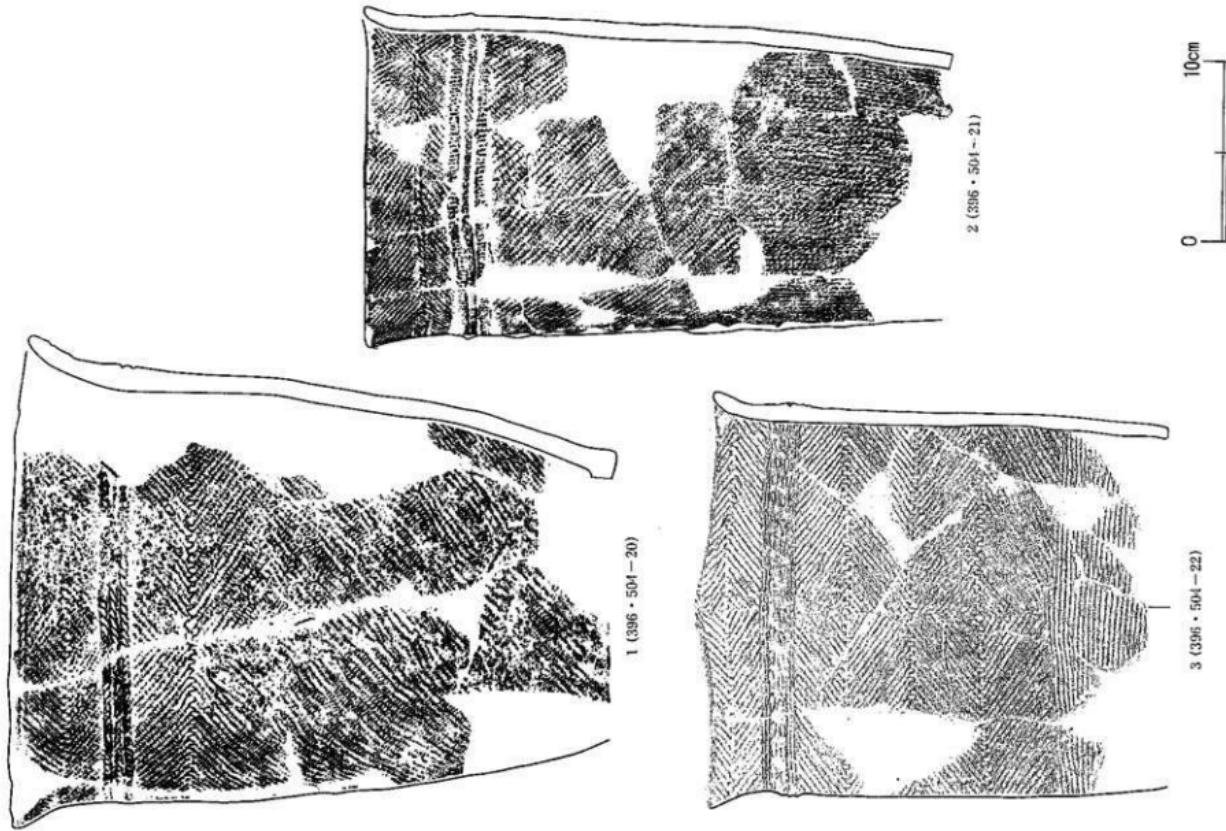
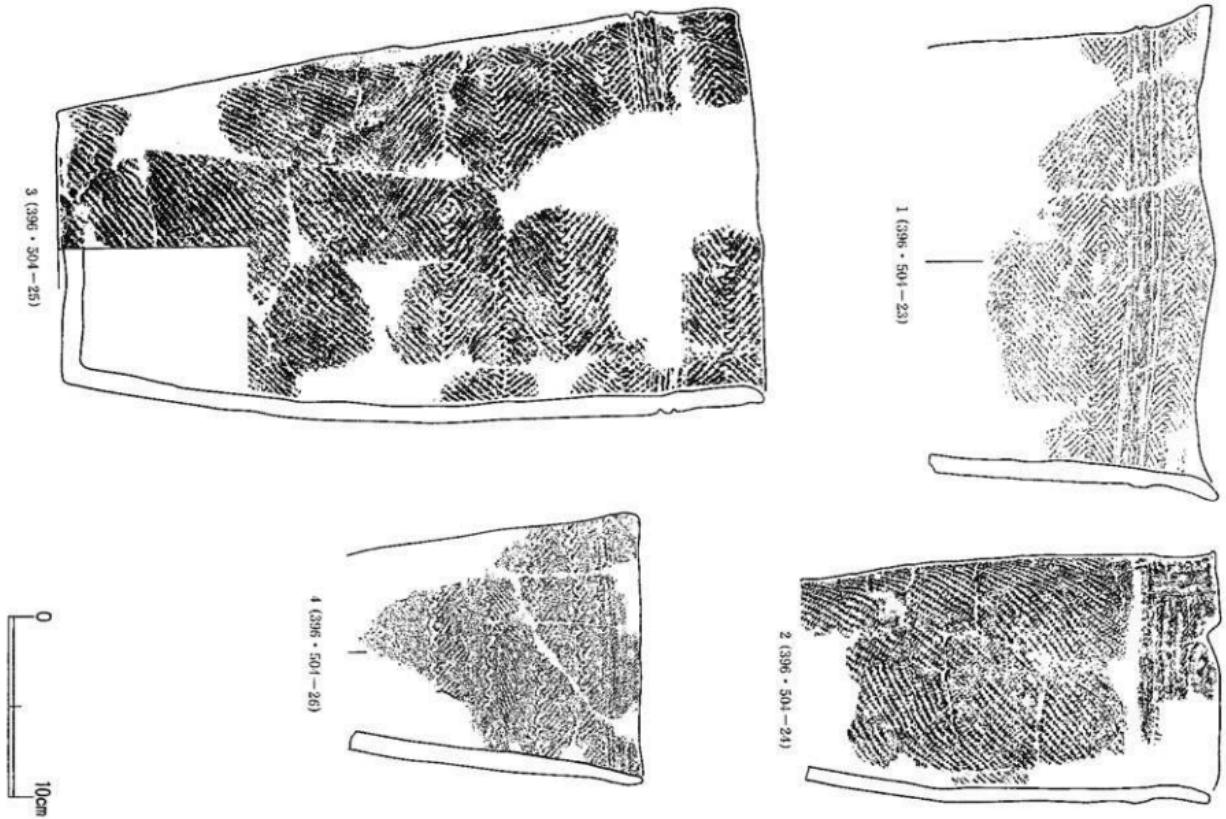


圖588 S T396・504瓮 II層出土陶器

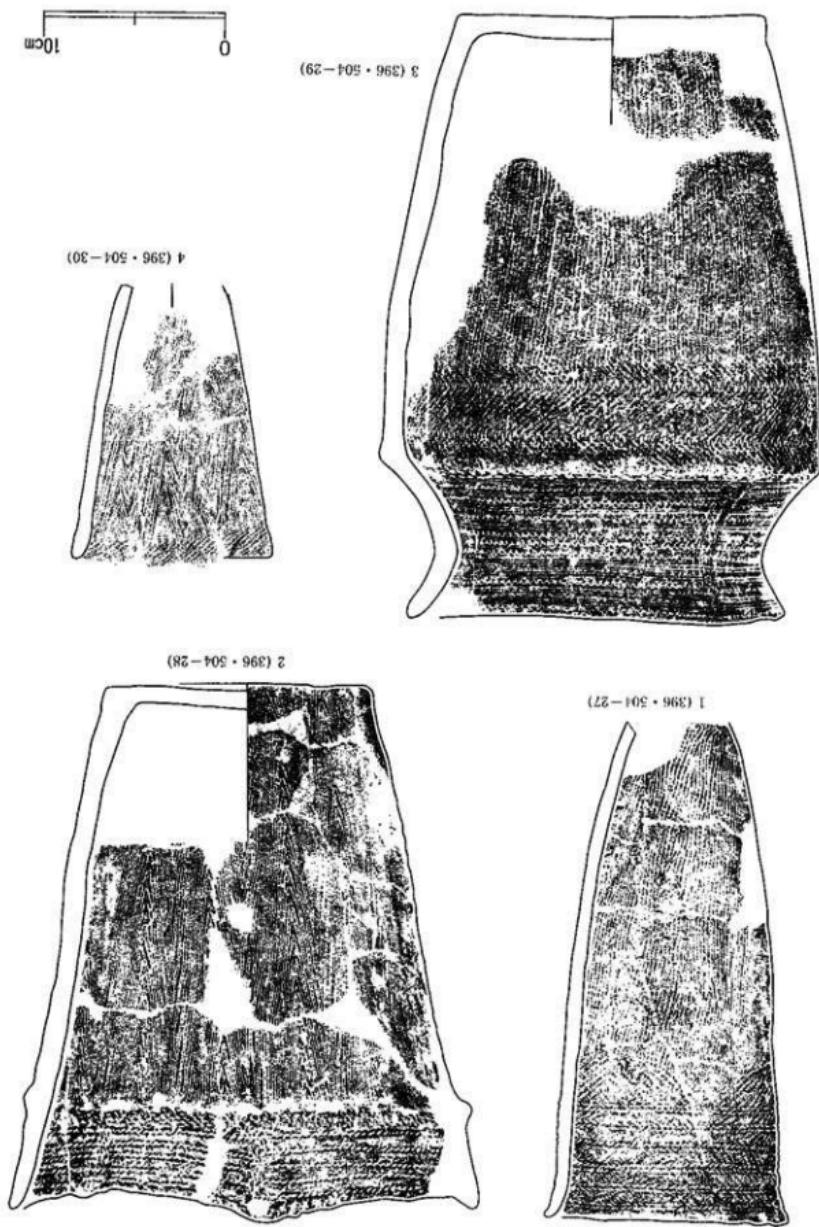


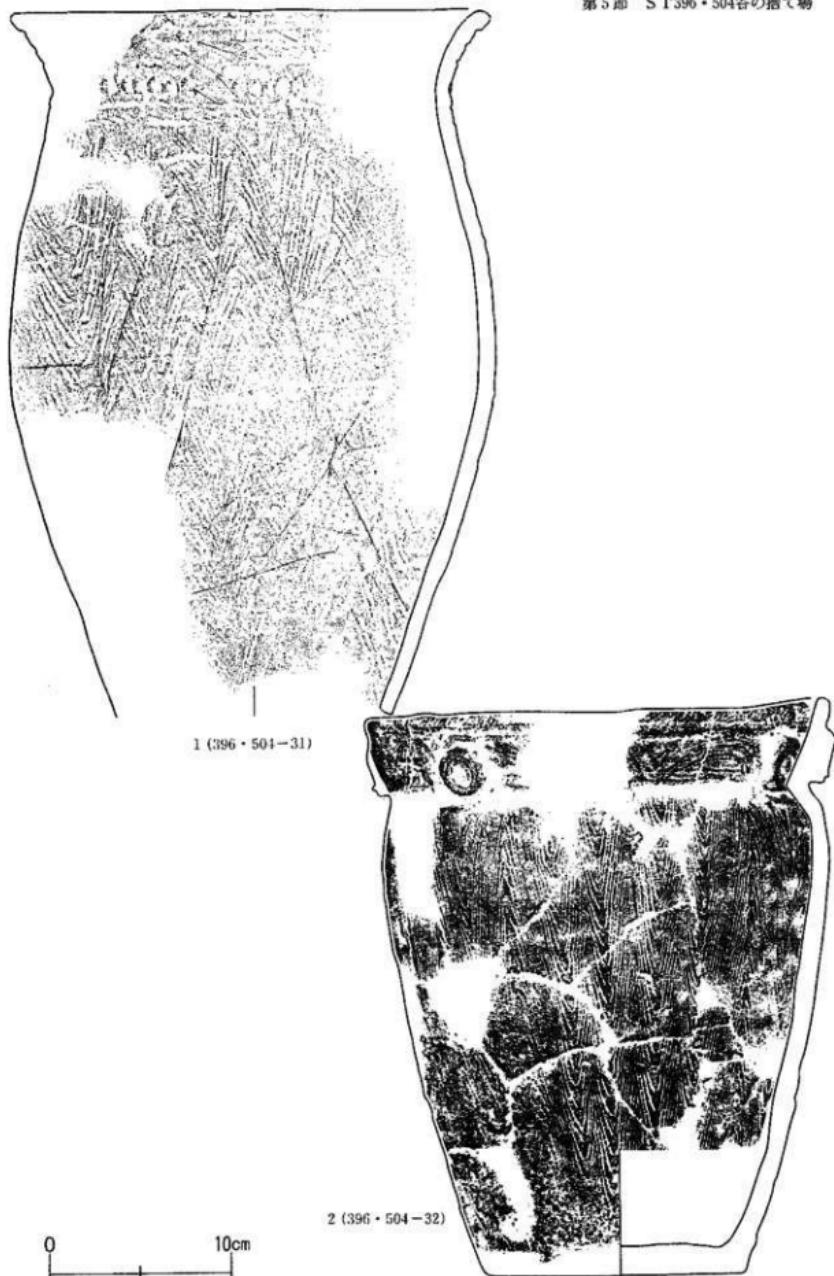
第538図 ST 396・504谷Ⅰ層・Ⅱ層出土土器 (5)



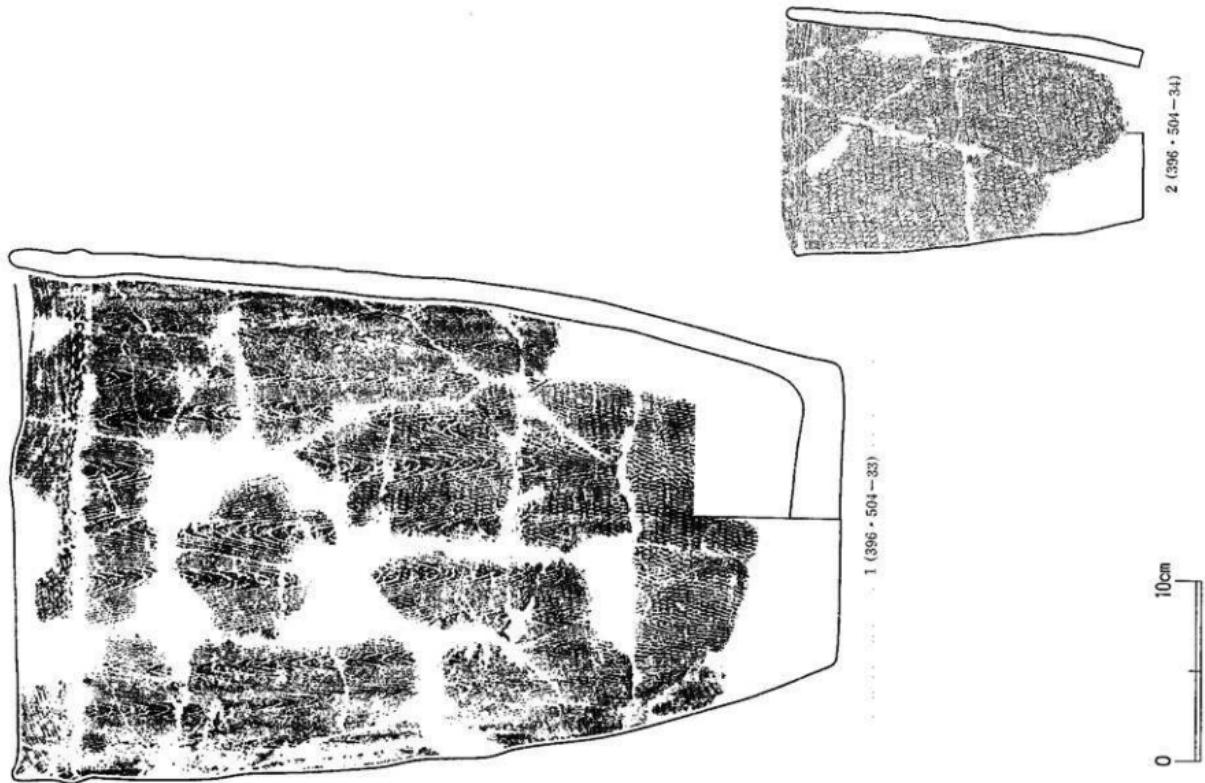
第539図 ST396・504合 I層・II層出土土器 (6)

圖六四〇 S T396・504之I層・II層出土土器 (7)



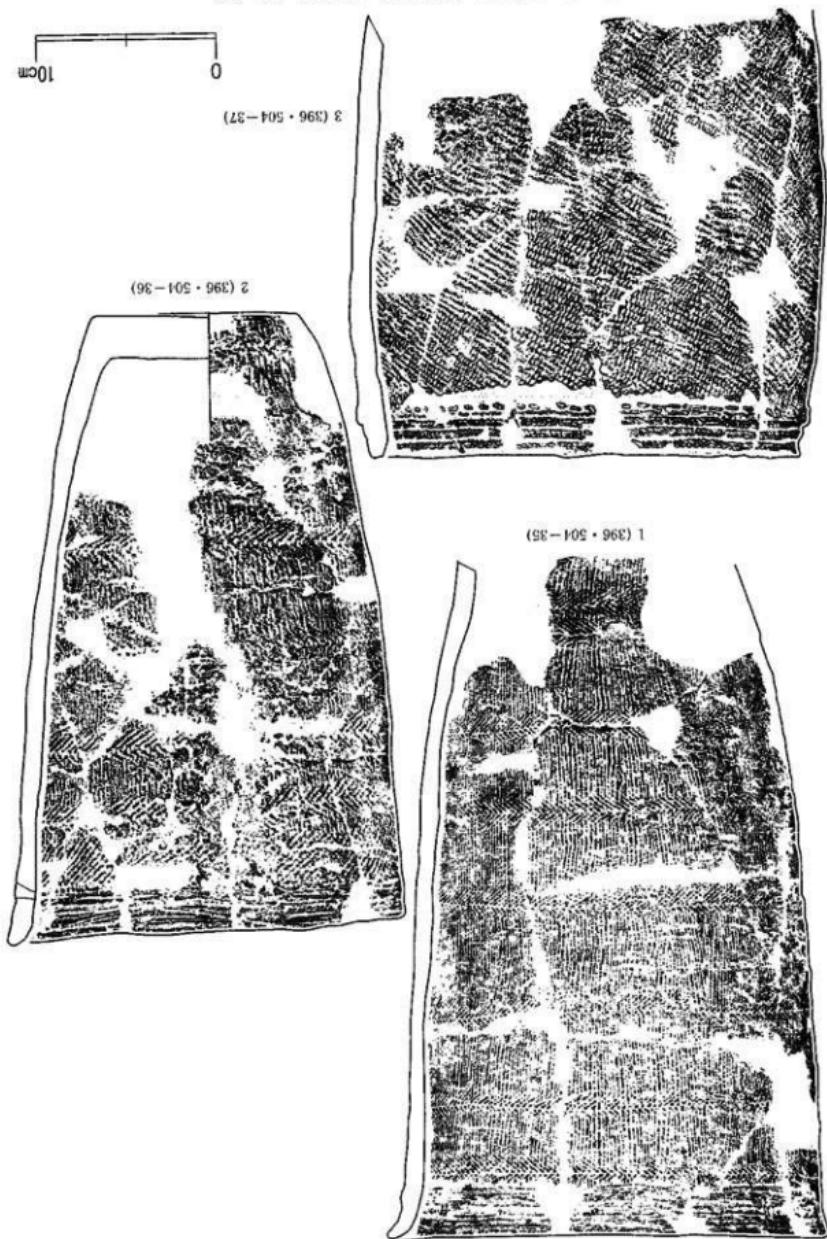


第541図 S T396・504谷Ⅰ層・Ⅱ層出土土器（8）

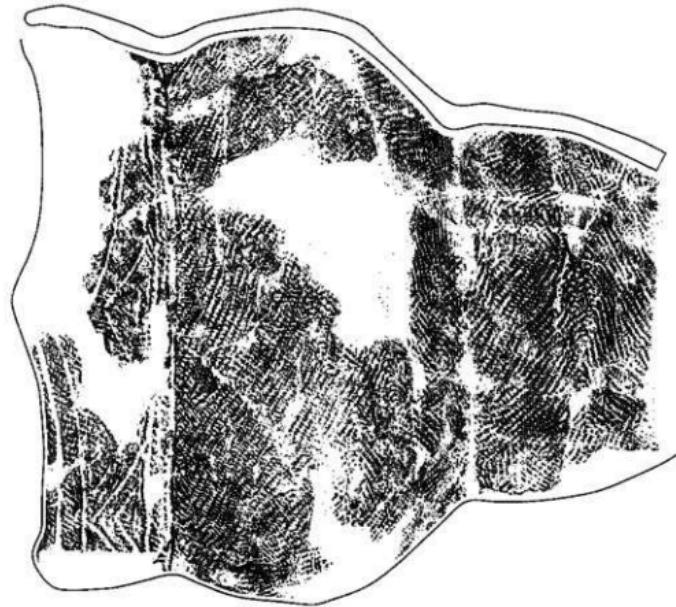


第542図 S T396・504谷Ⅰ層・Ⅱ層出土土器（9）

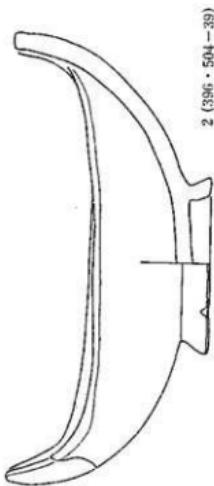
第5圖 S T396・504瓮 I層・II層出土土器 (10)



第6圖 S T396・504瓮II層出土陶器



1 (396・504-38)

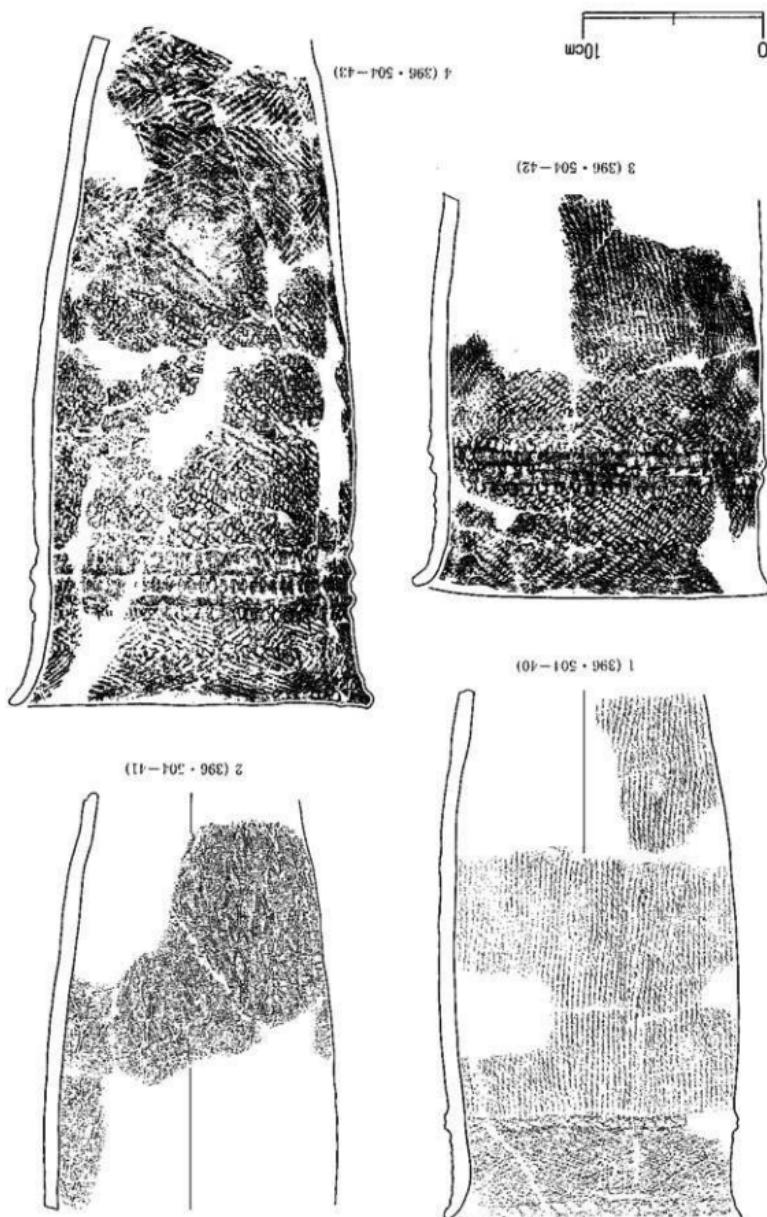


2 (396・504-39)

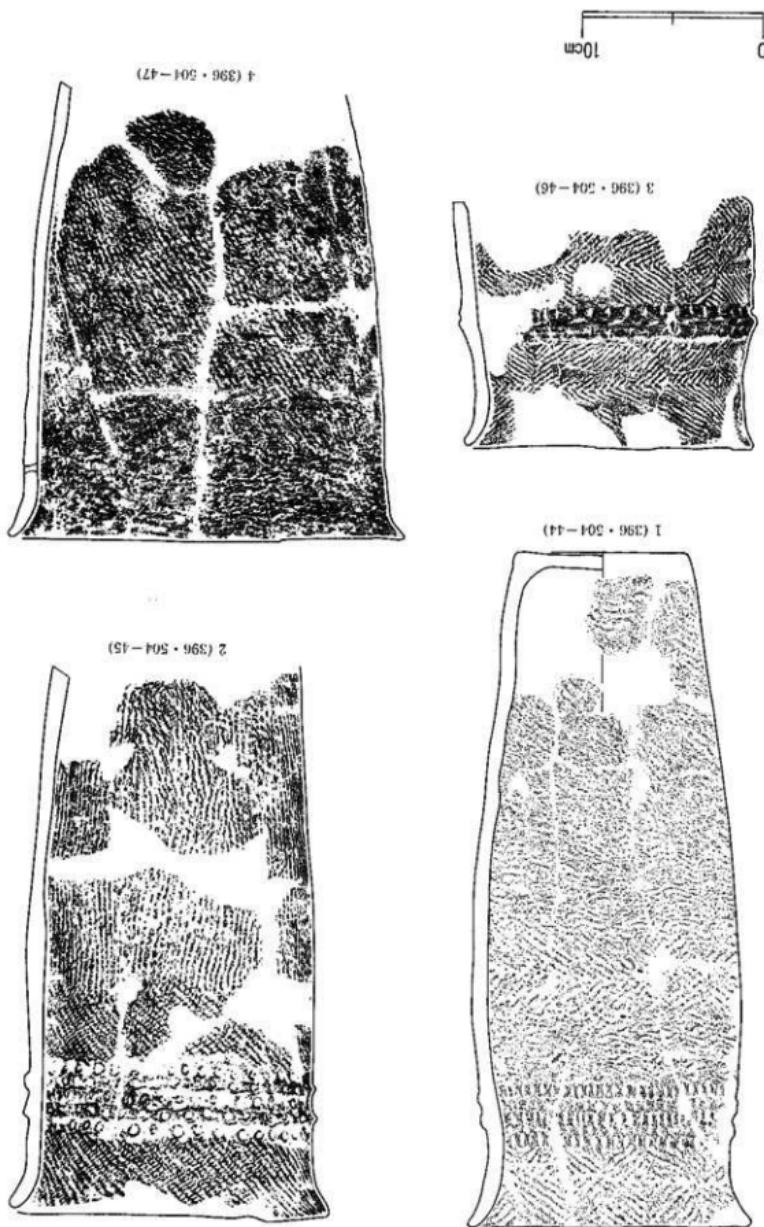


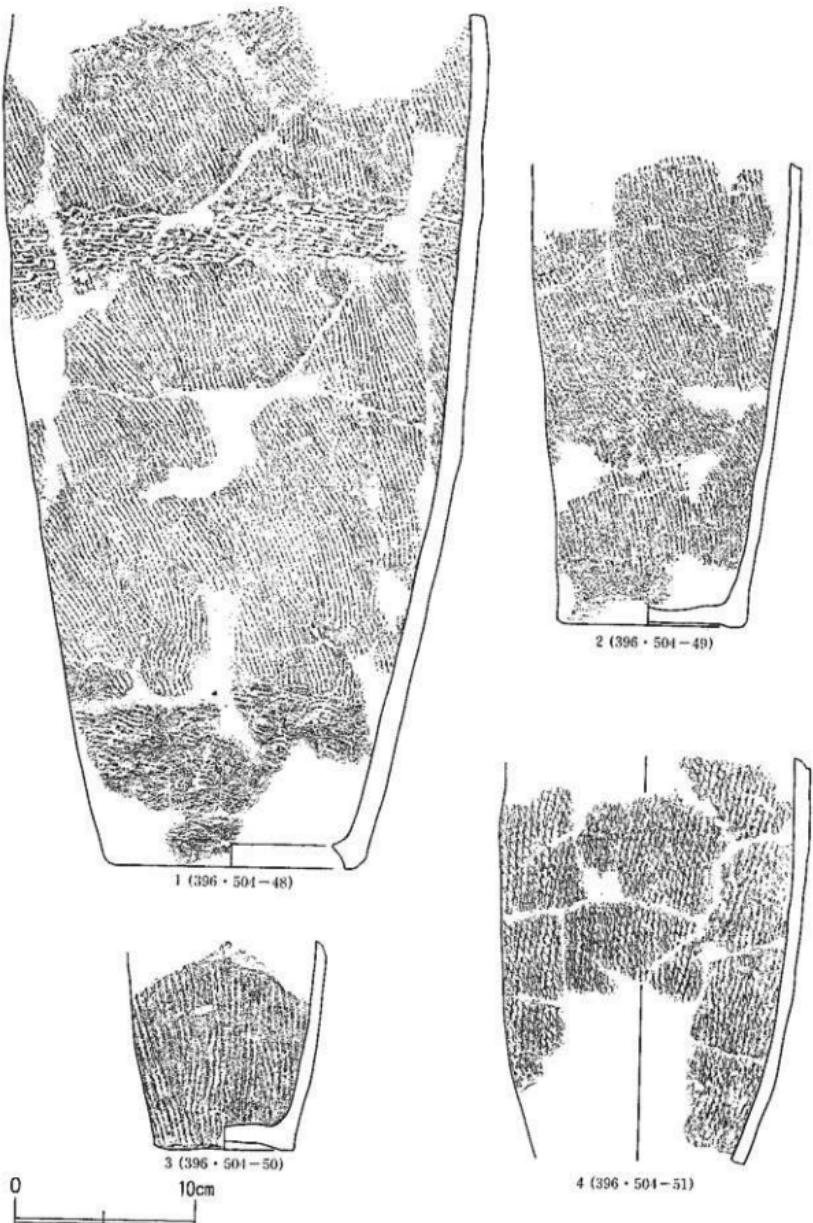
第544図 ST396・504谷Ⅰ層・Ⅱ層出土土器 (11)

第5圖 S T396・504号II b層・II c層出土土器 (1)



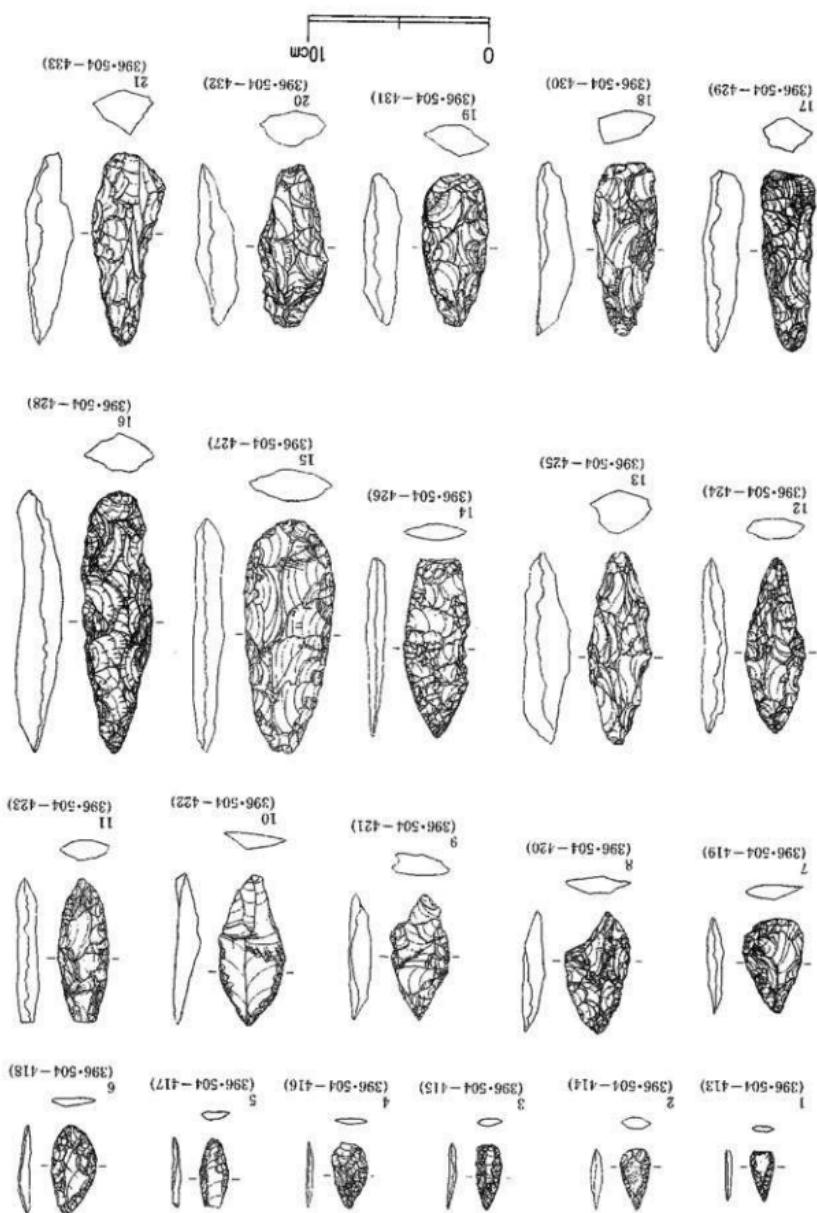
第56圖 S T396・504各II C層出土玉器(2)

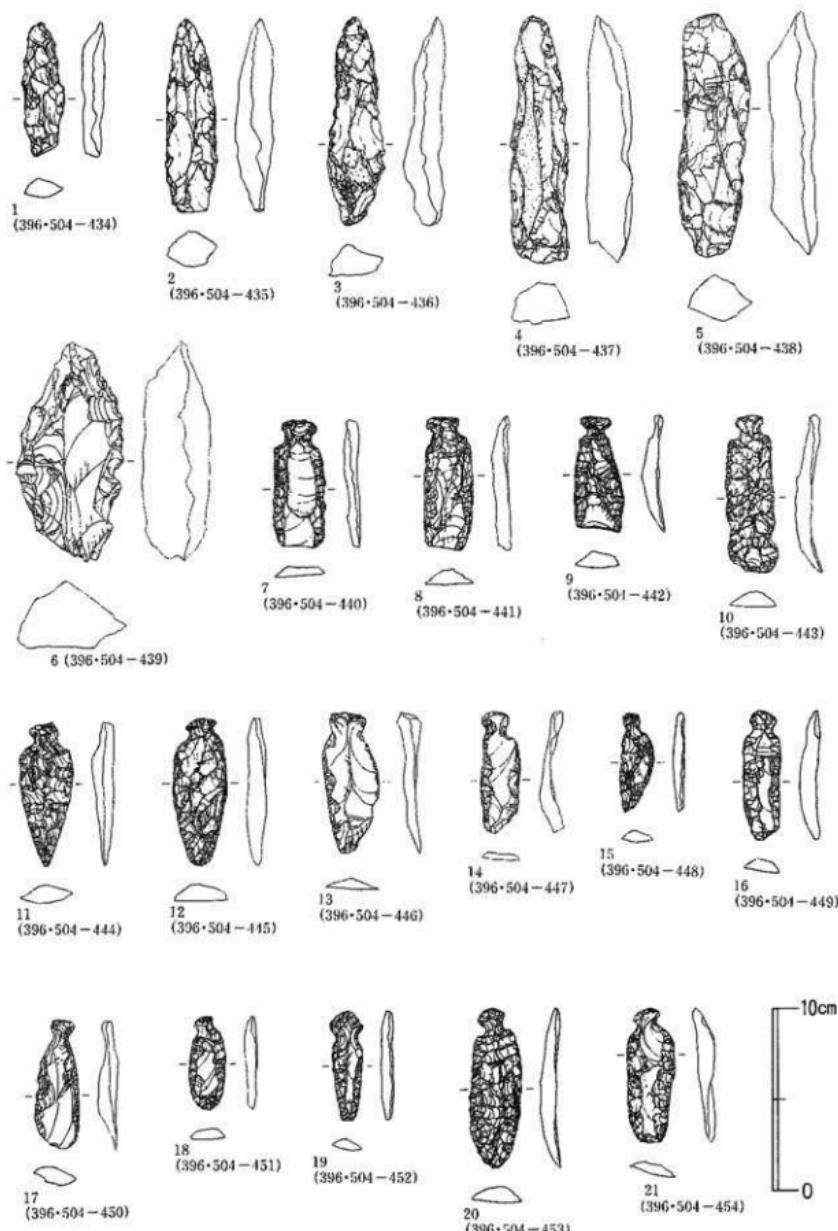




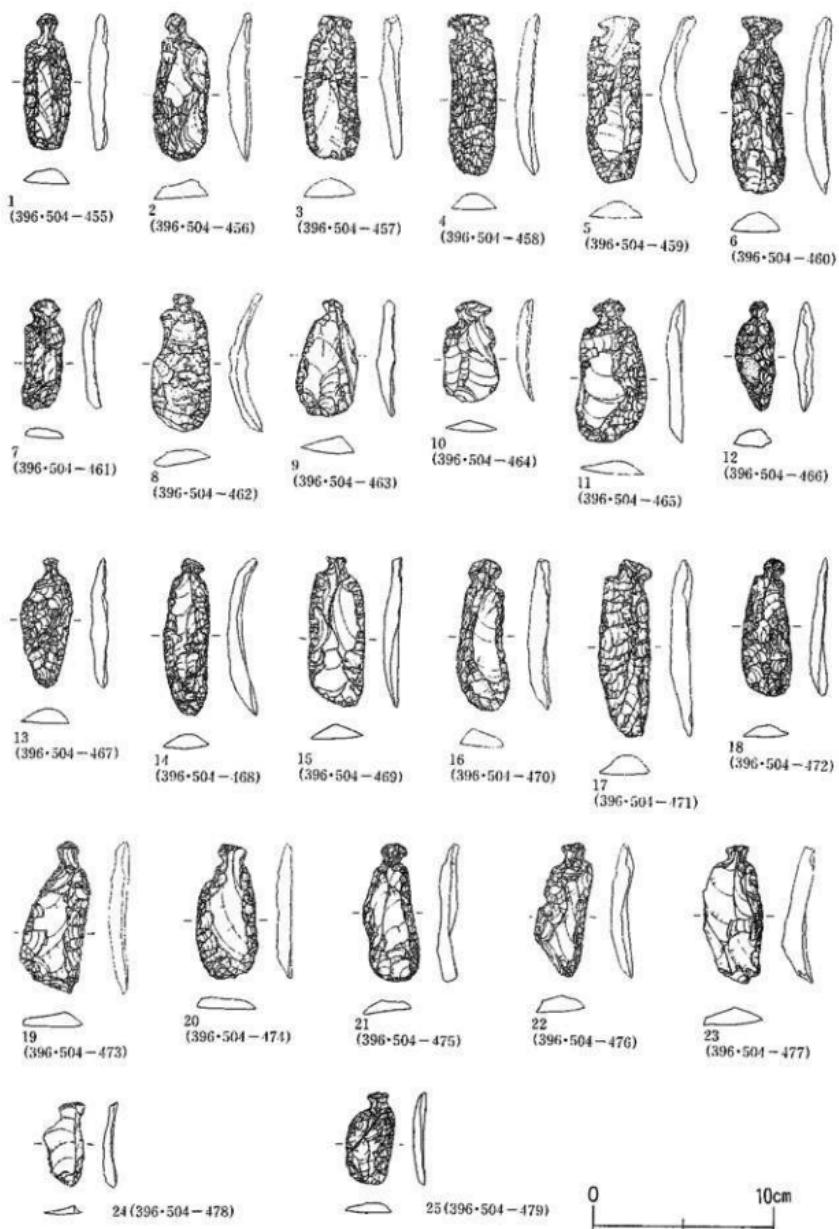
第547図 S T396・504谷Ⅱc層出土土器（3）

第548圖 ST396・504号Ⅱ層出土石器(1)

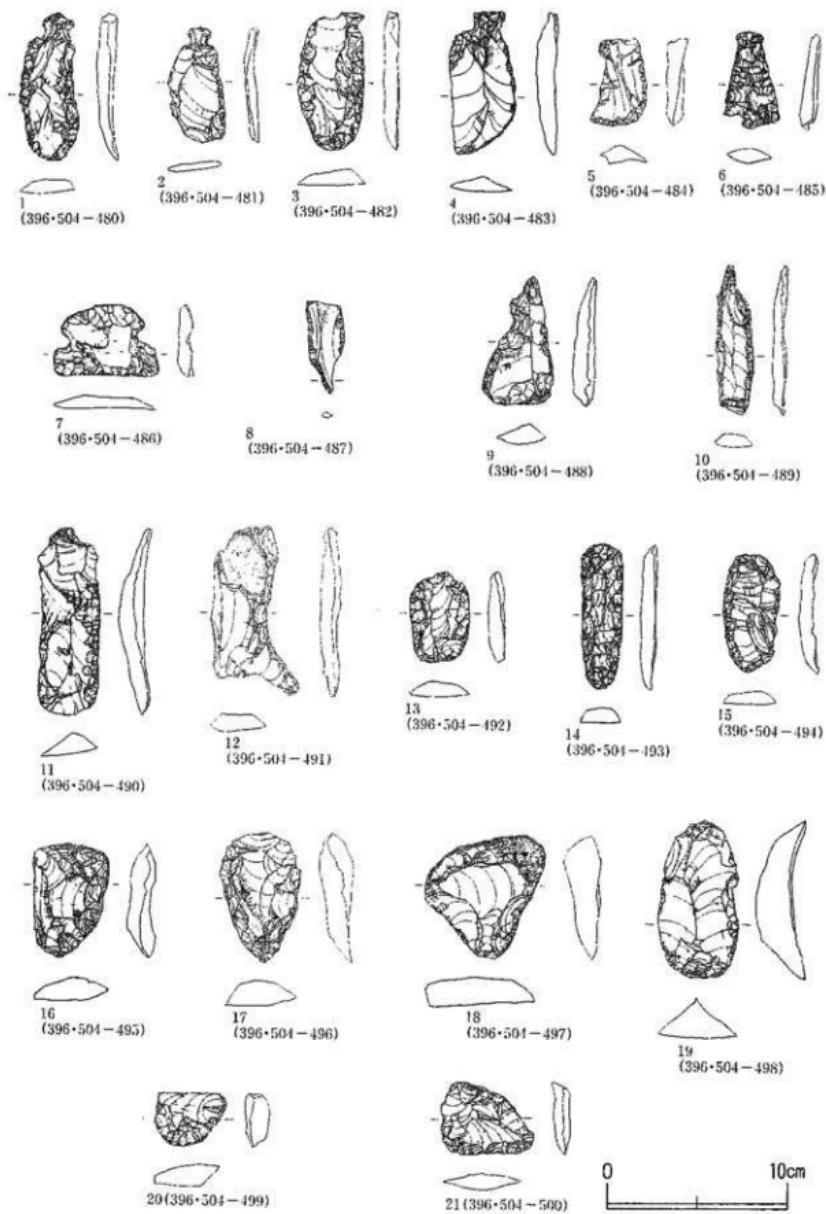




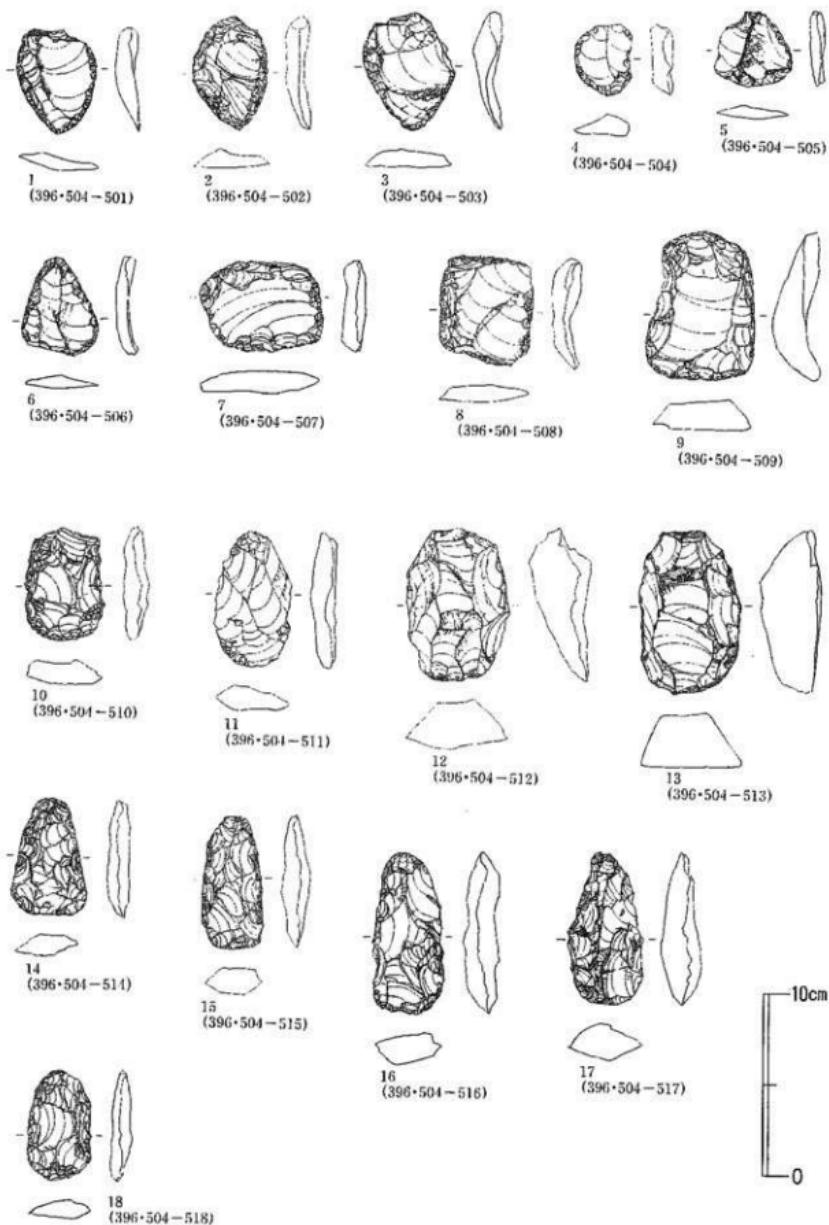
第549図 S T396・504谷II層出土石器(2)



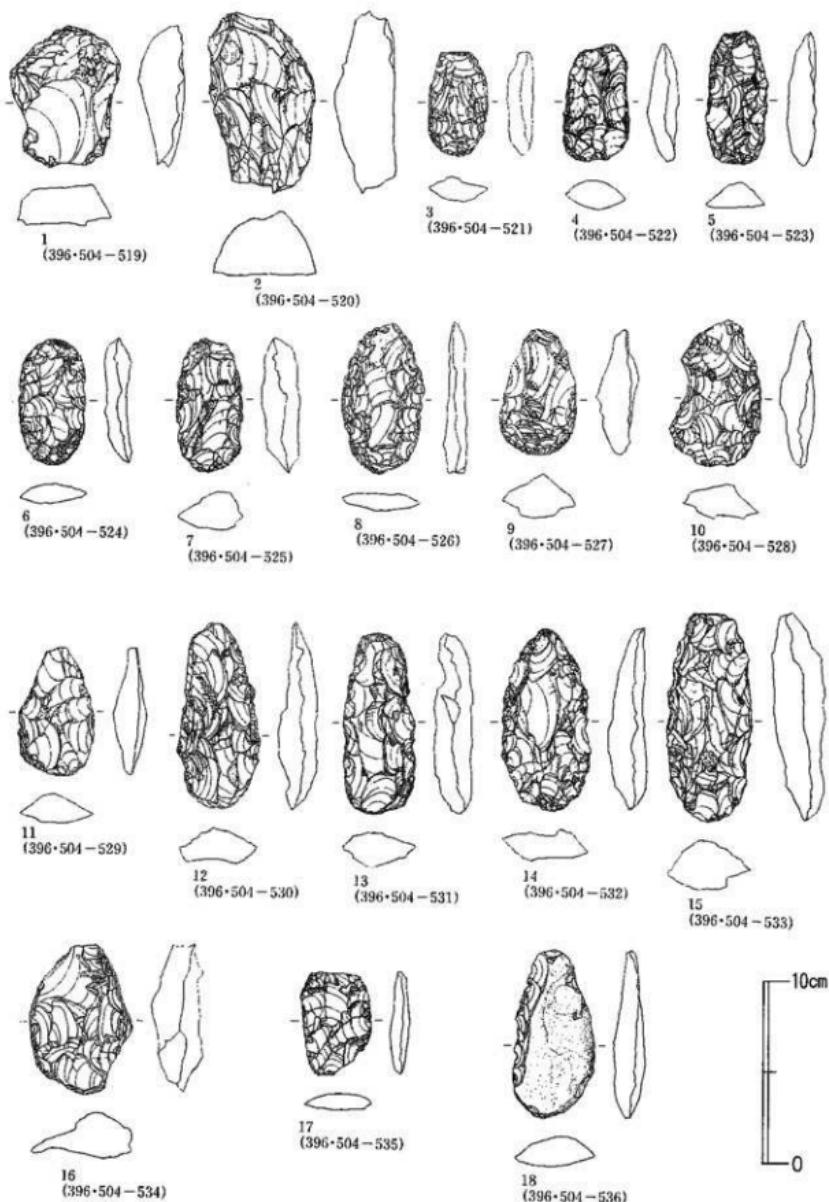
第550図 S T 396・504谷Ⅱ層出土石器 (3)



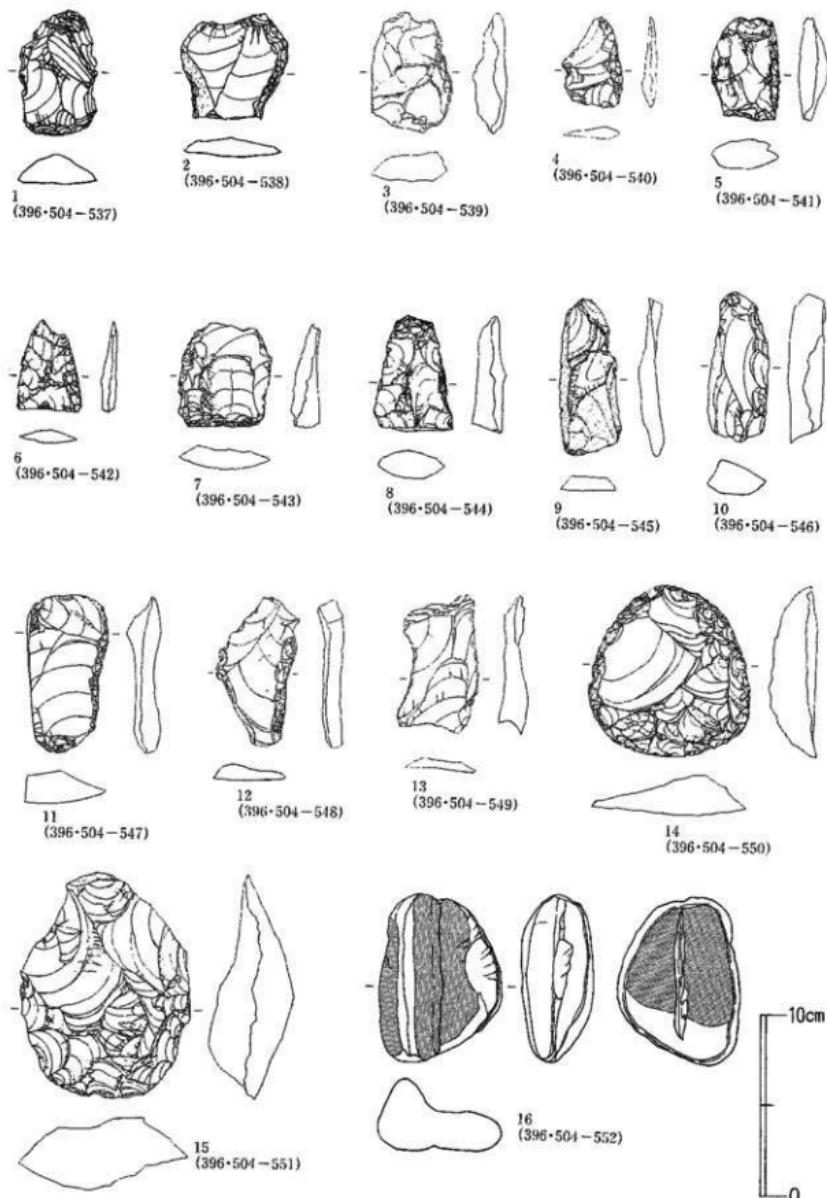
第551図 S T 396・504谷II層出土石器(4)



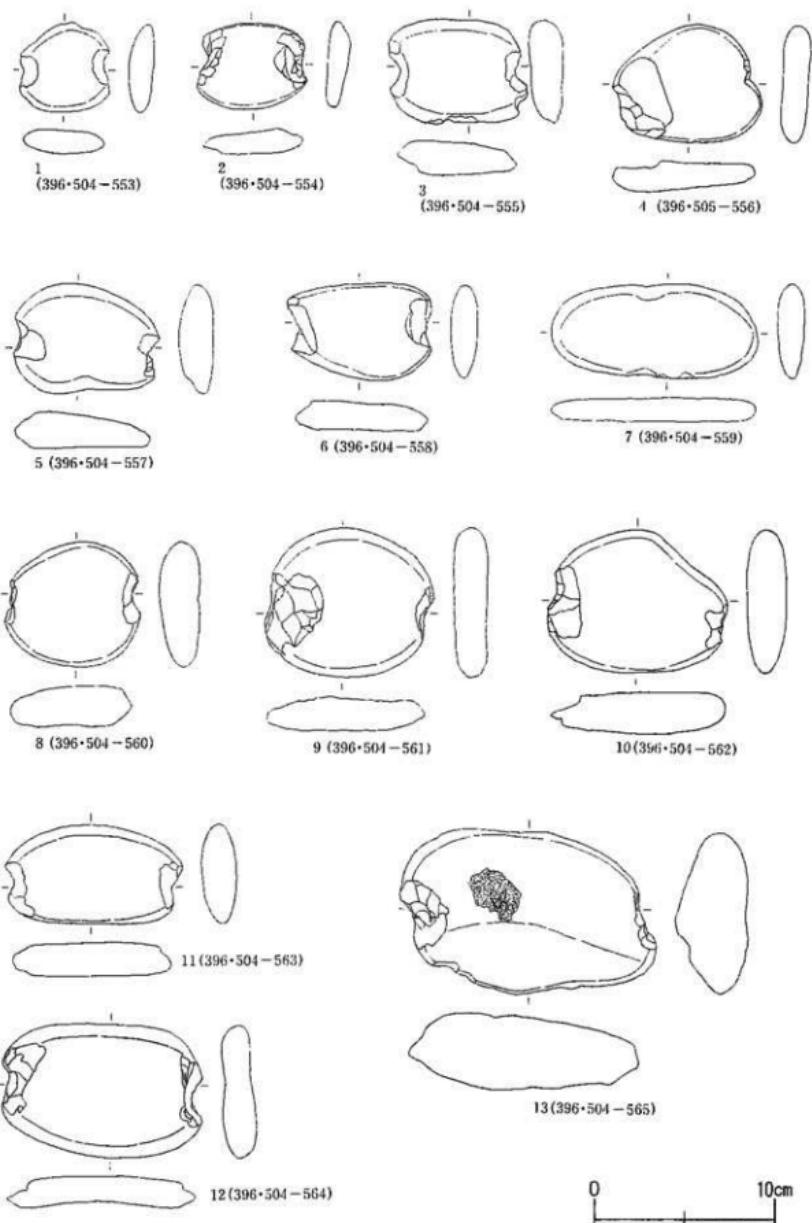
第552図 S T 396・504谷Ⅱ層出土石器（5）



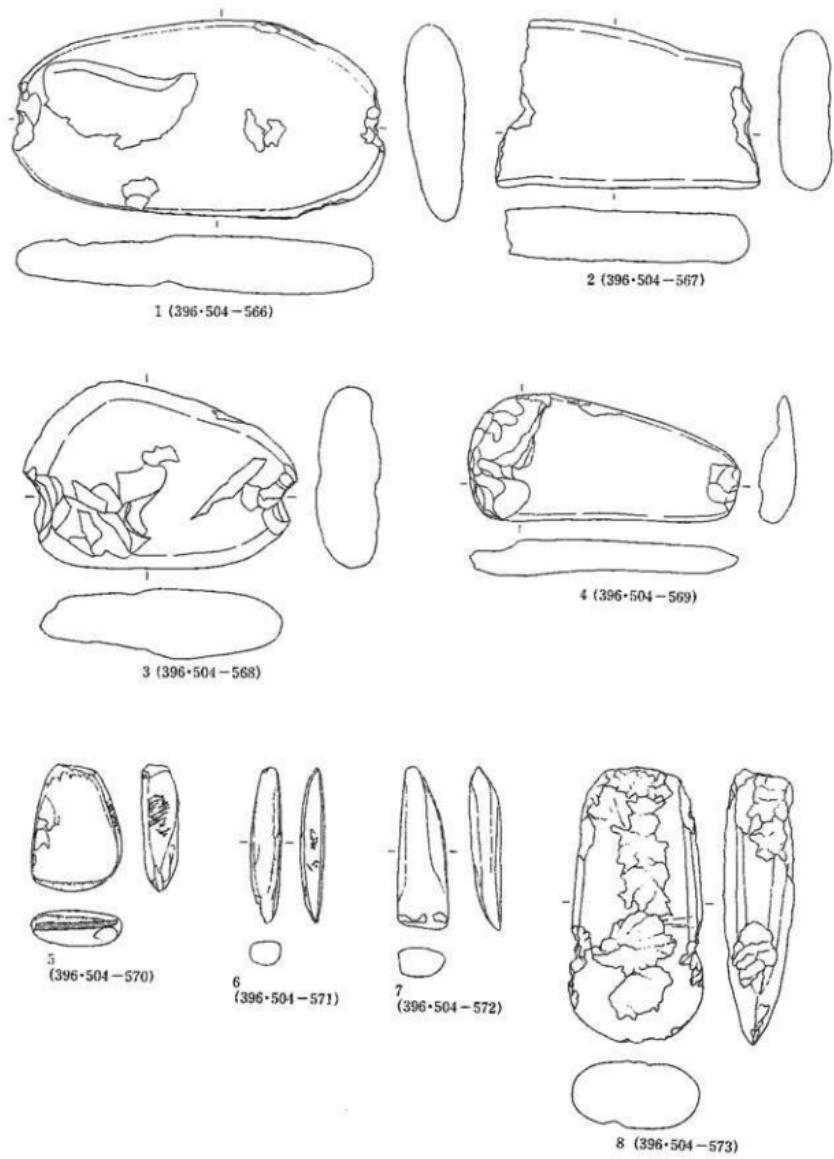
第553図 ST396・504谷Ⅱ層出土石器（6）



第554図 S T 396・504 谷 II 層出土石器 (7)

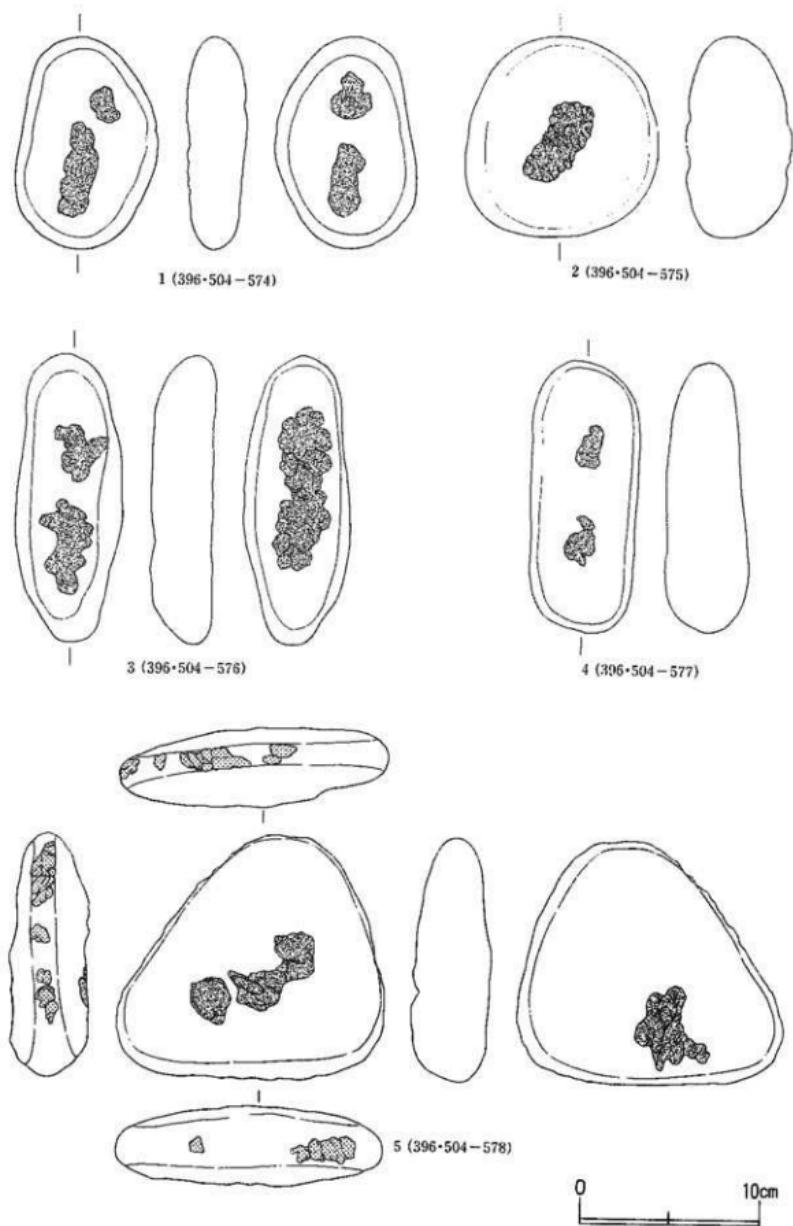


第555図 S T396・504谷Ⅱ層出土石器 (8)



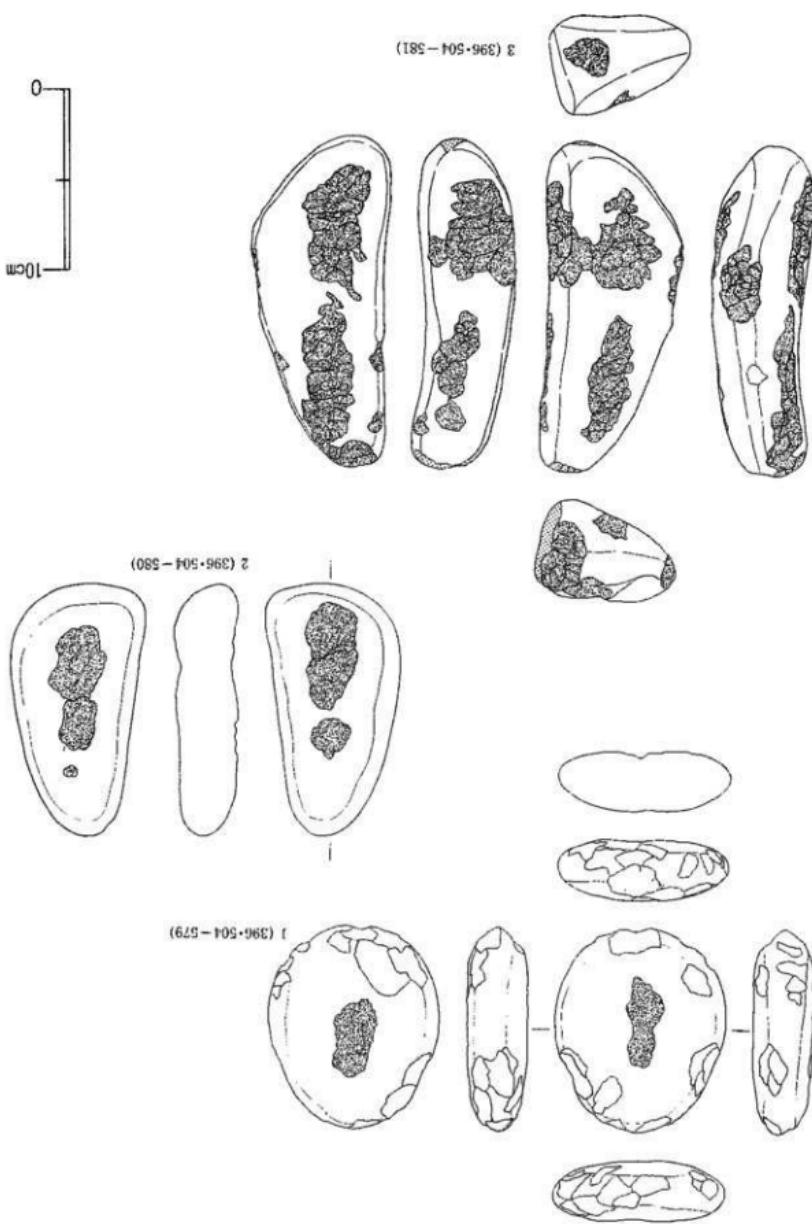
0 10cm

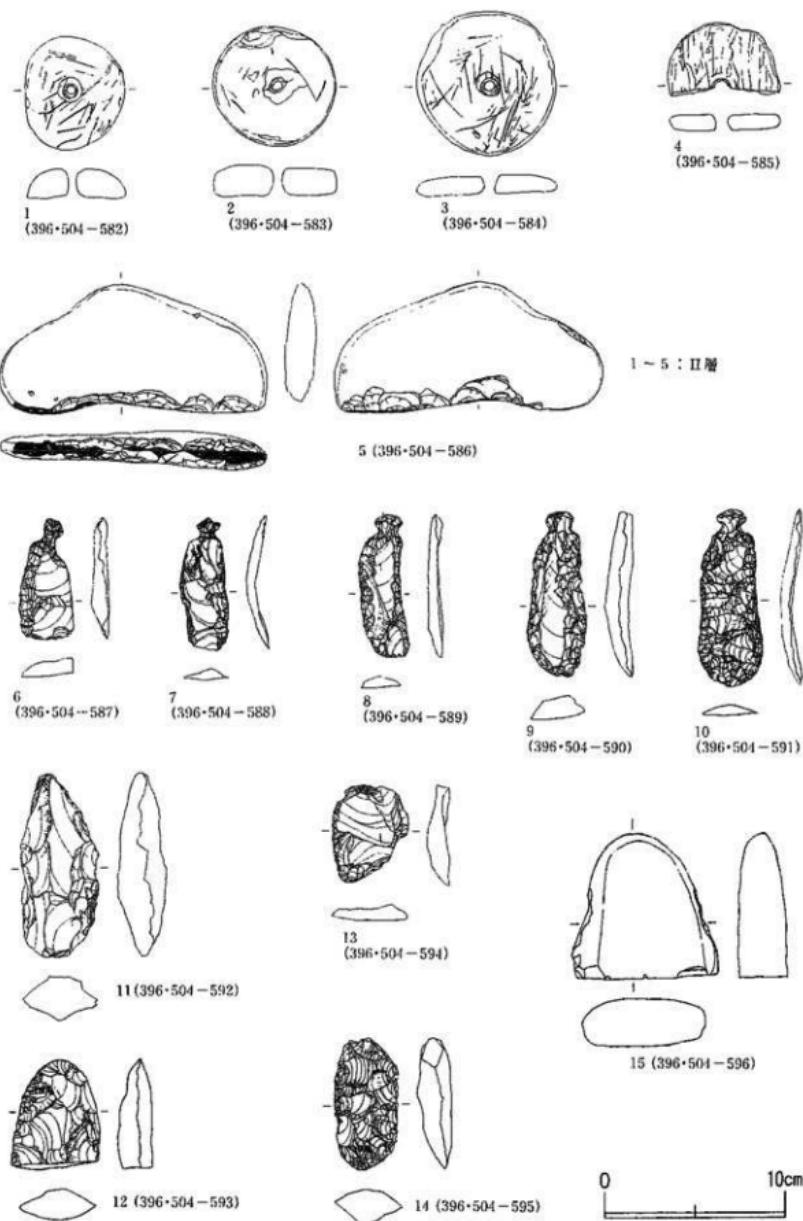
第556図 S T396・504谷II層出土石器（9）



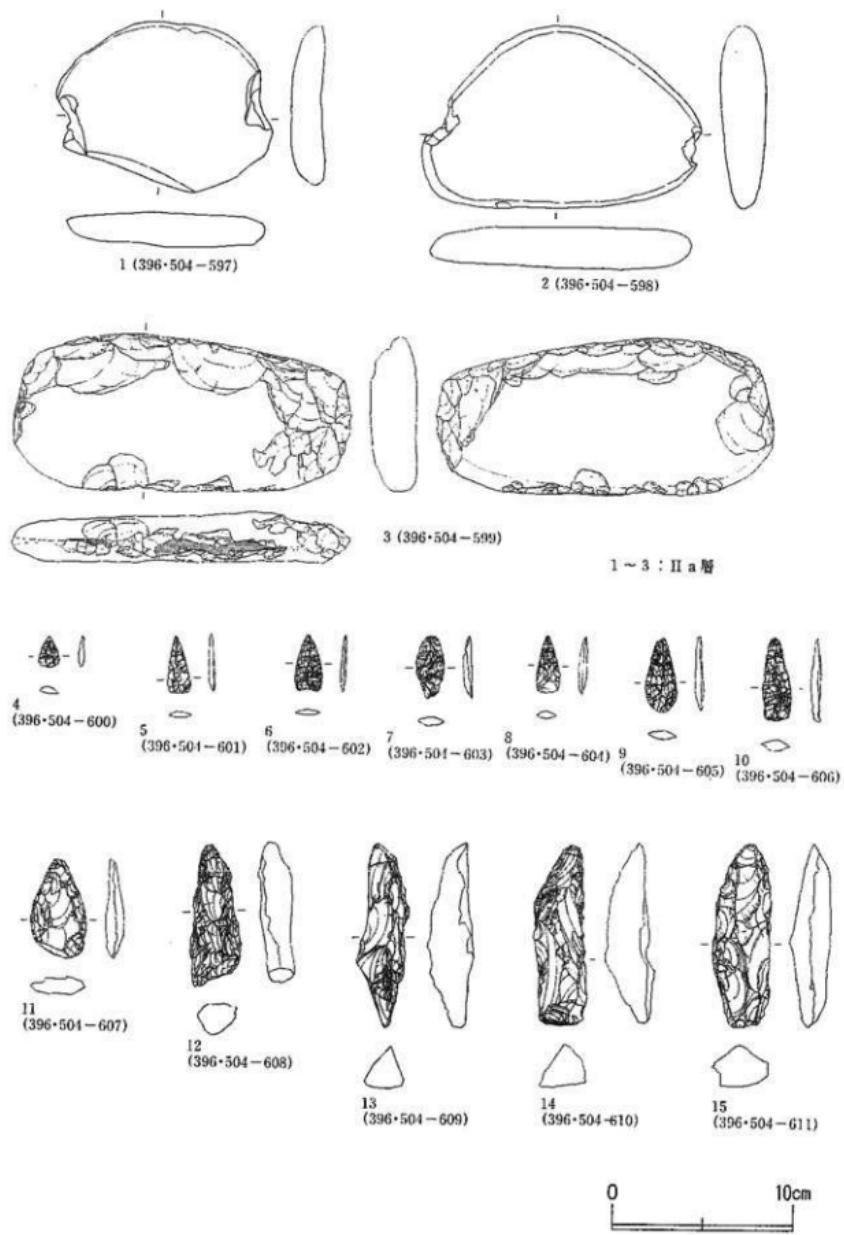
第557図 S T396・504谷II層出土石器 (10)

第598圖 S T396・504各II層出土石器 (II)

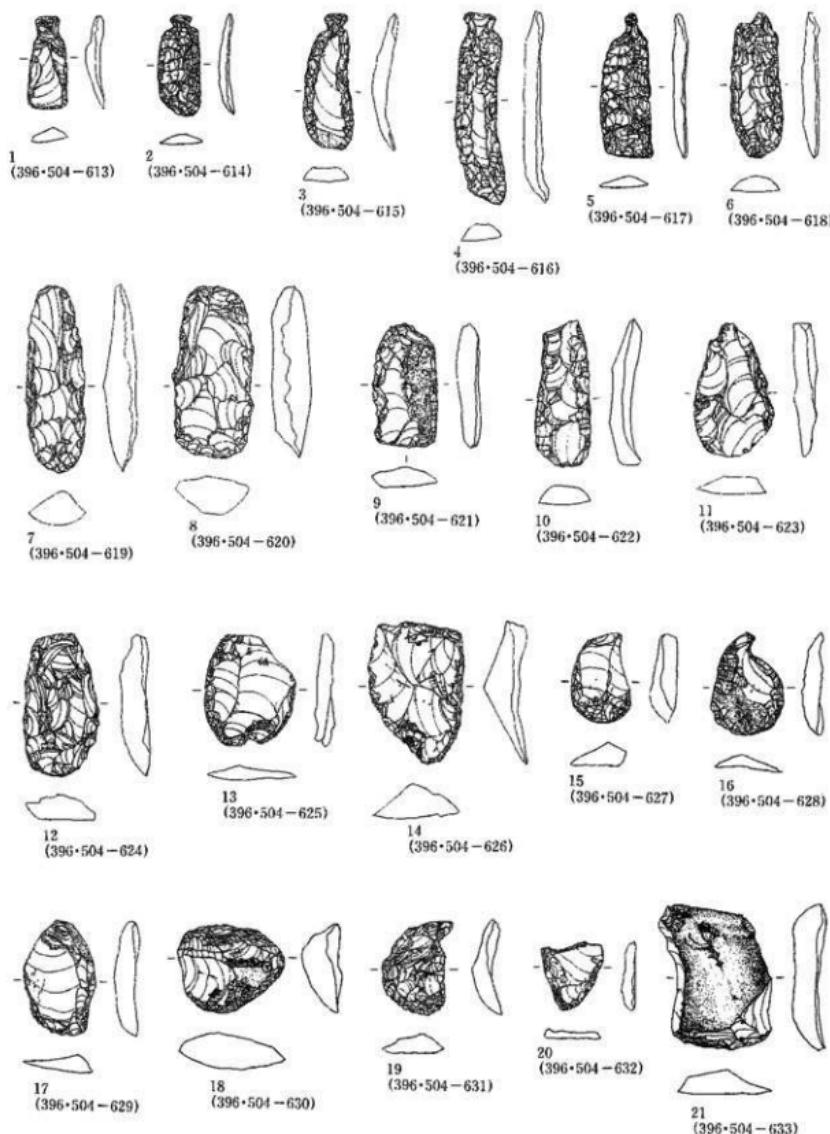




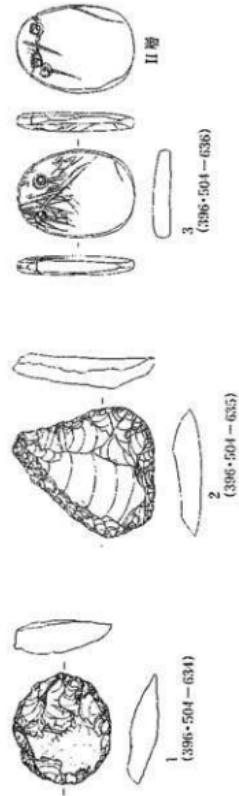
第559図 ST396・504谷II層・IIa層出土石器(1)



第560図 S T396・504谷IIa層・IIb層出土石器(1)

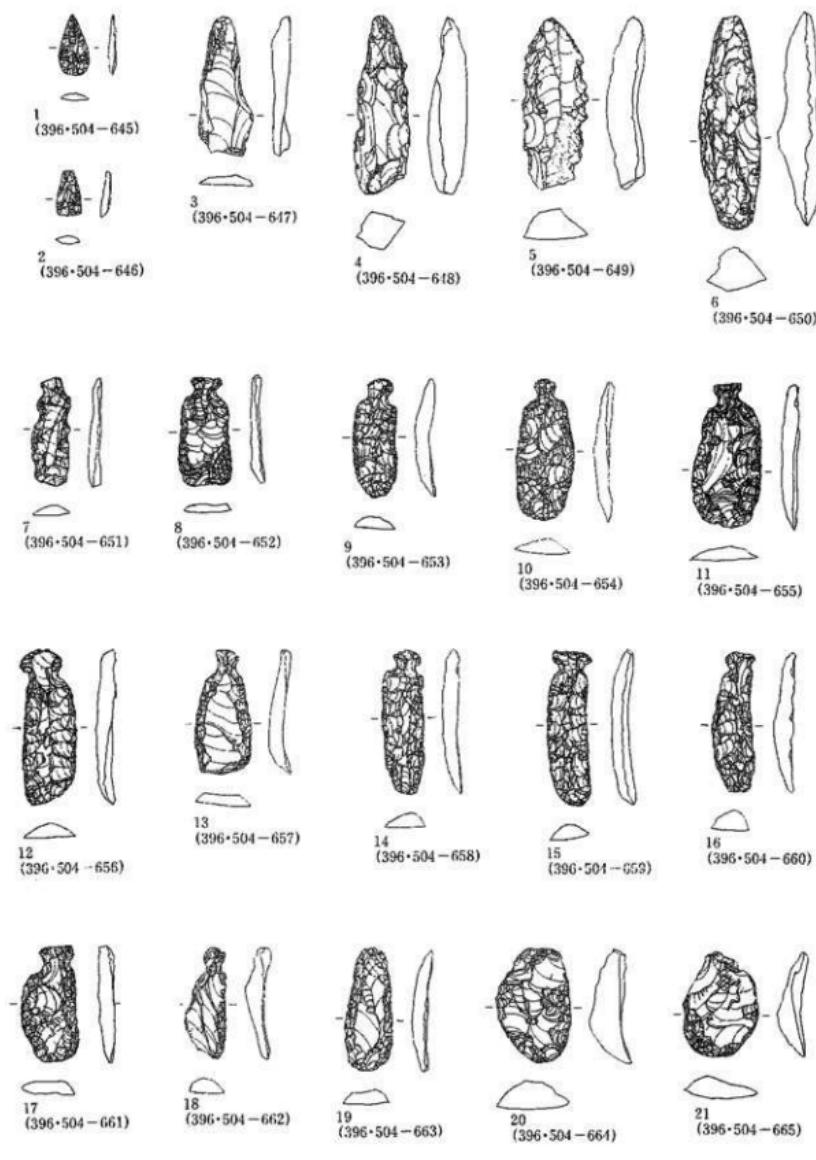


第561図 S T396・504谷 II b 層出土石器 (2)



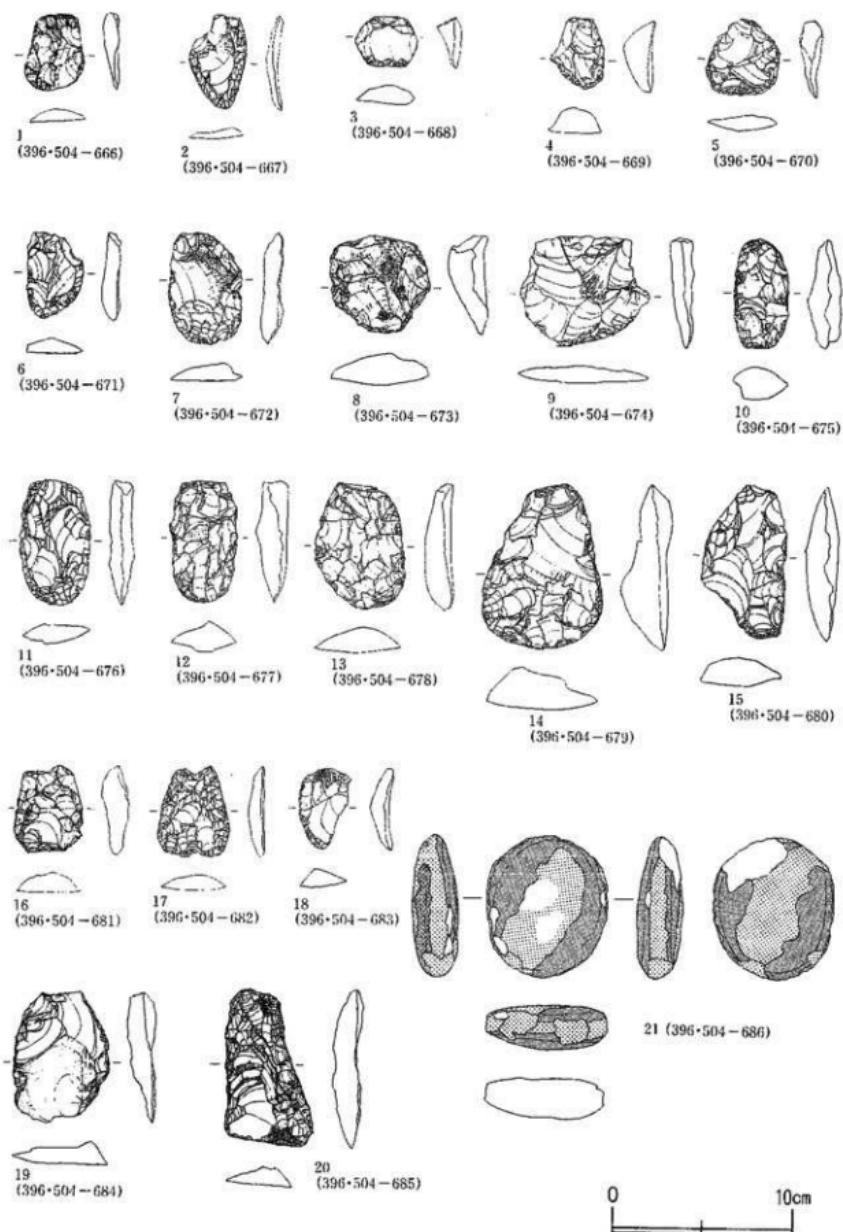
0 10cm

第562図 S T396・504谷 II b層出土石器（3）

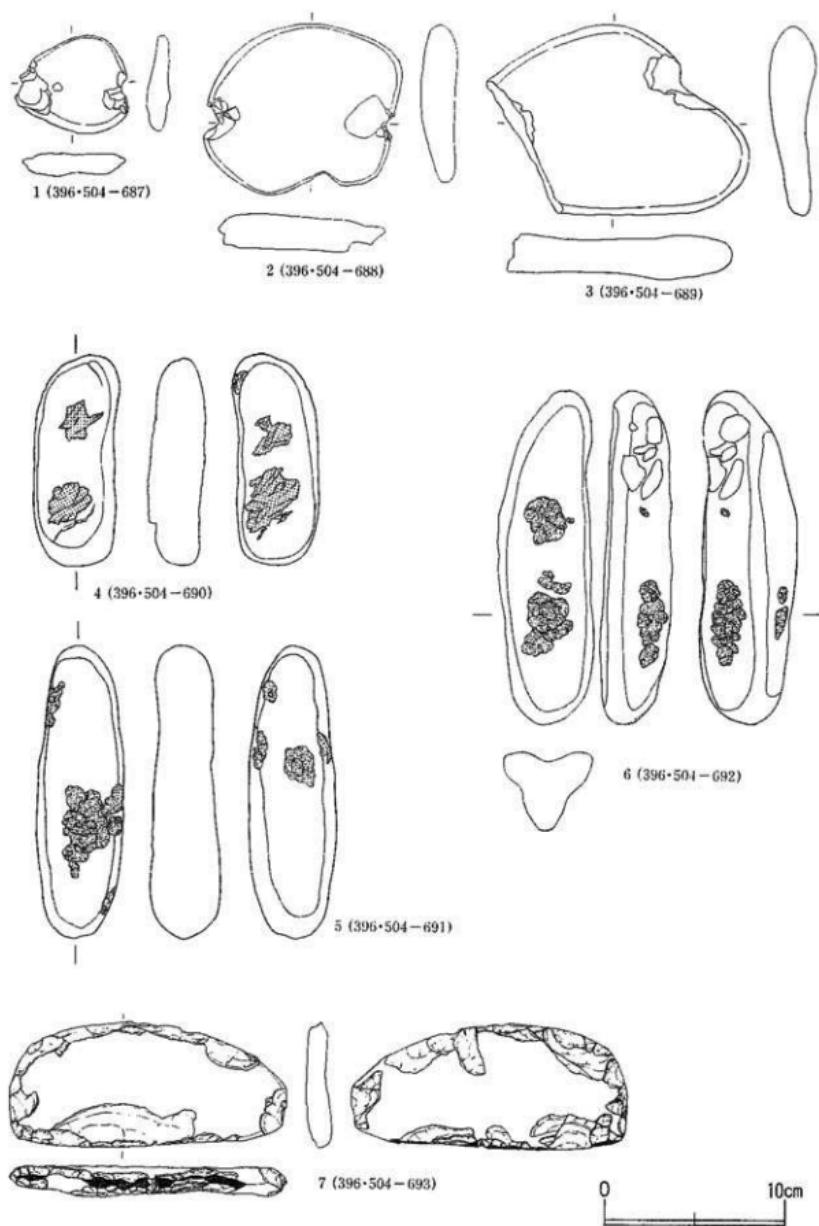


0      10cm

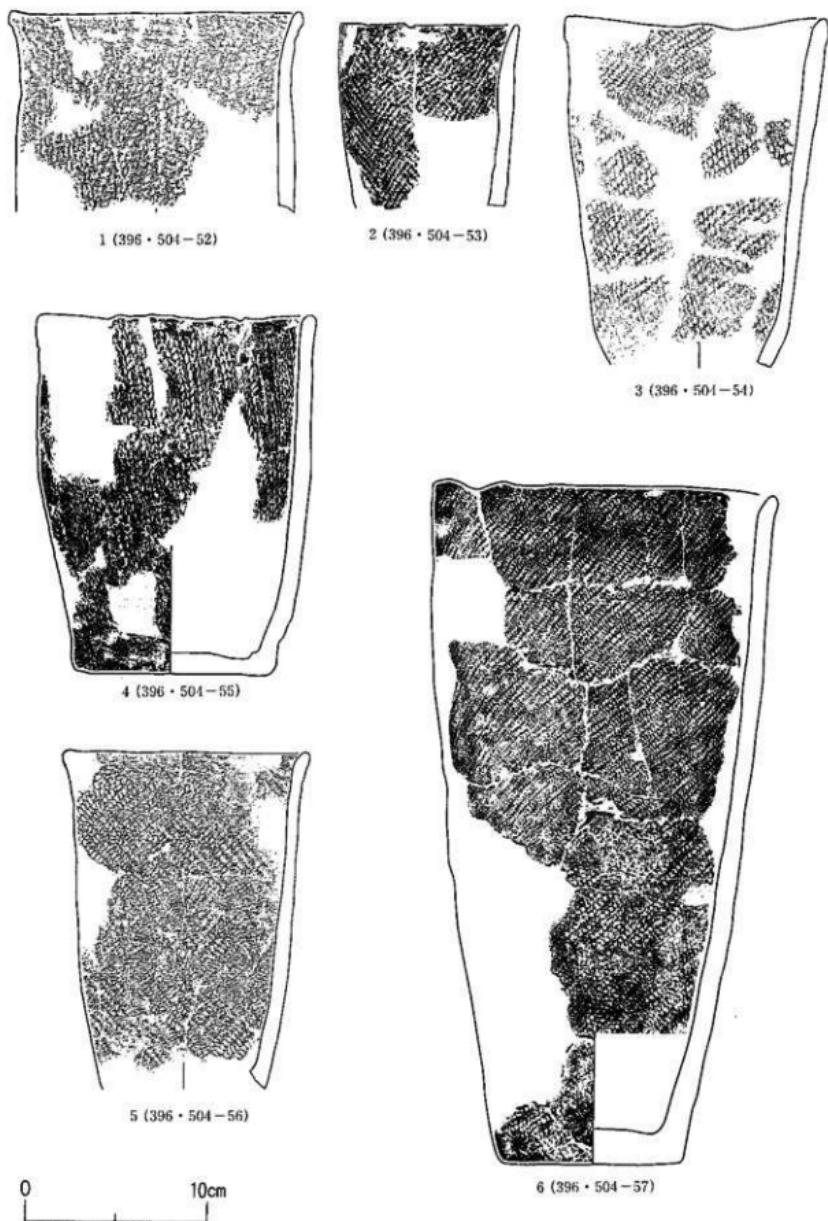
第563図 S T396・504谷 II c 層出土石器 (1)



第564図 S T 396・504谷 II c 層出土石器 (2)

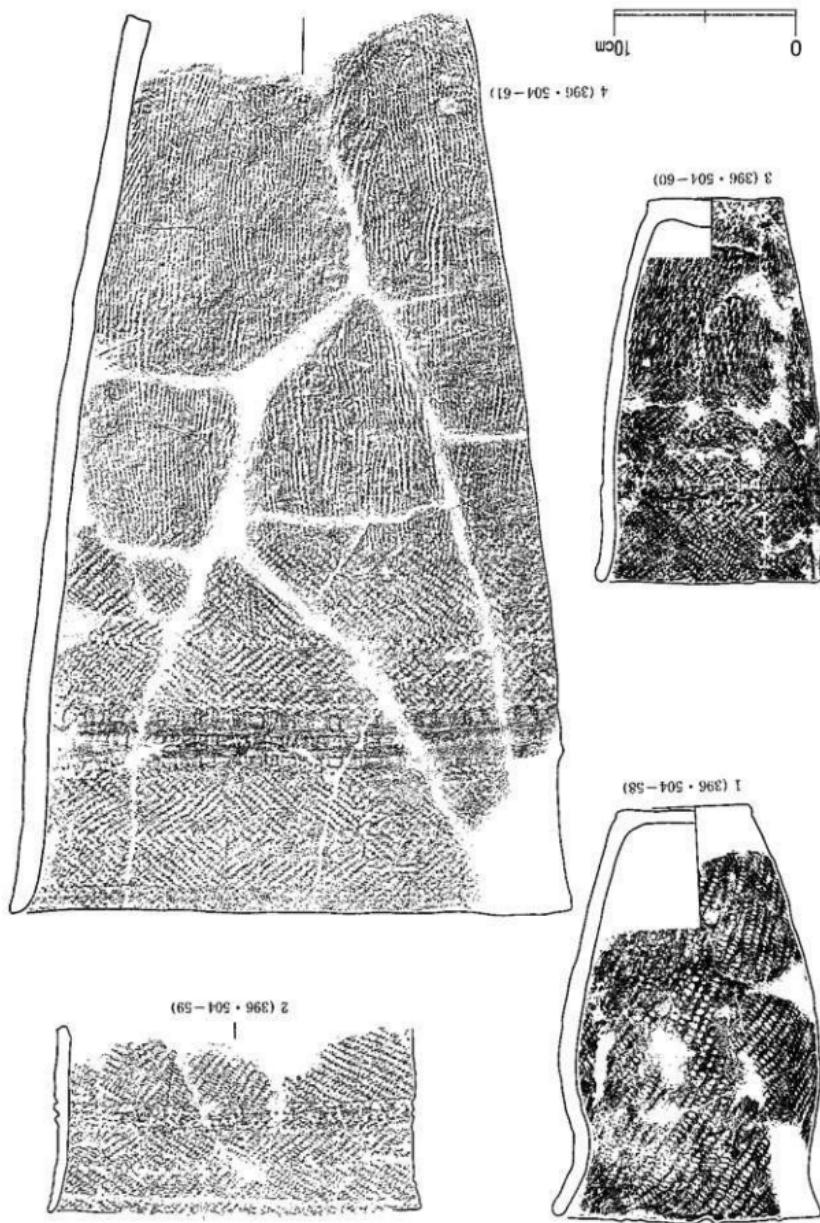


第565図 ST 396・504谷 IIc 層出土石器 (3)

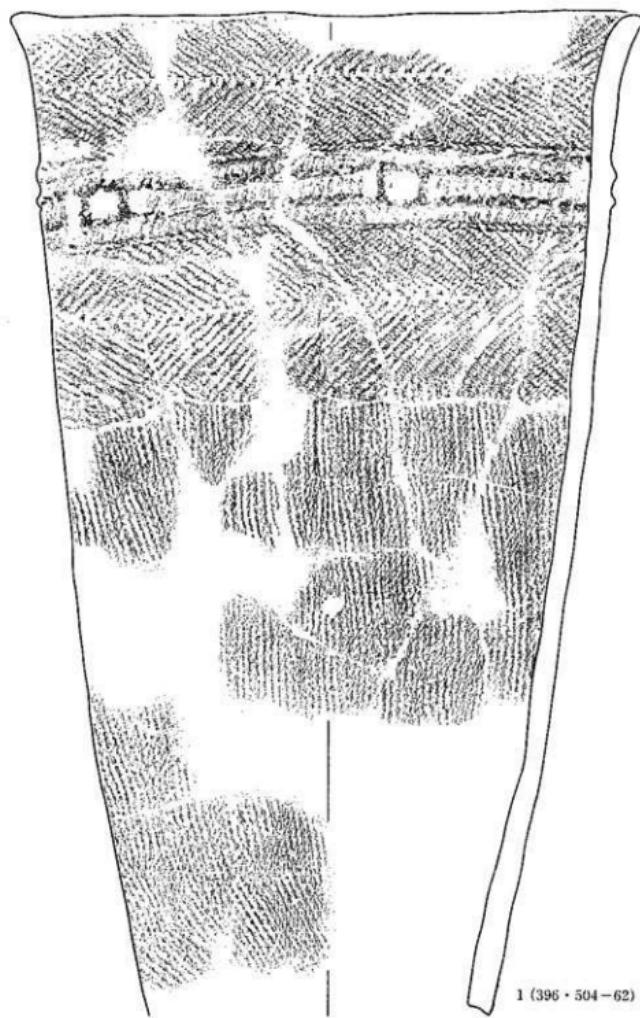


第566図 S T396・504Ⅲ層出土土器（1）

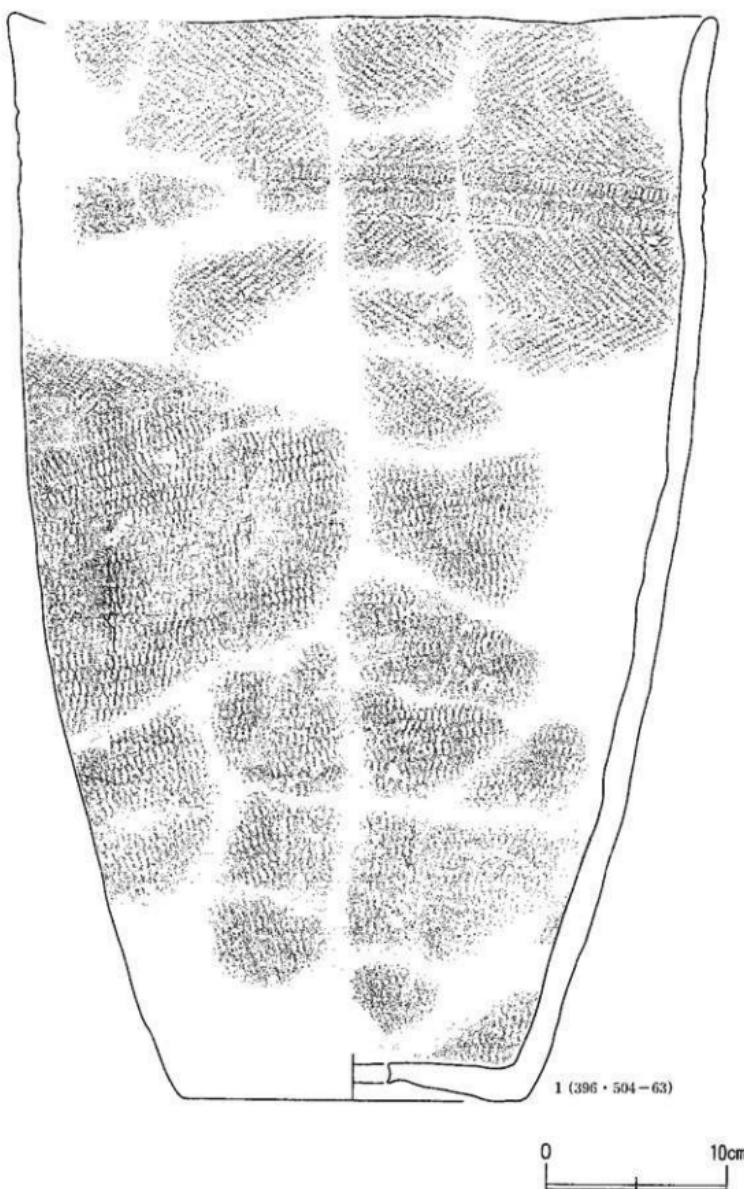
第567圖 S T396・504号Ⅲ層出土土器 (2)



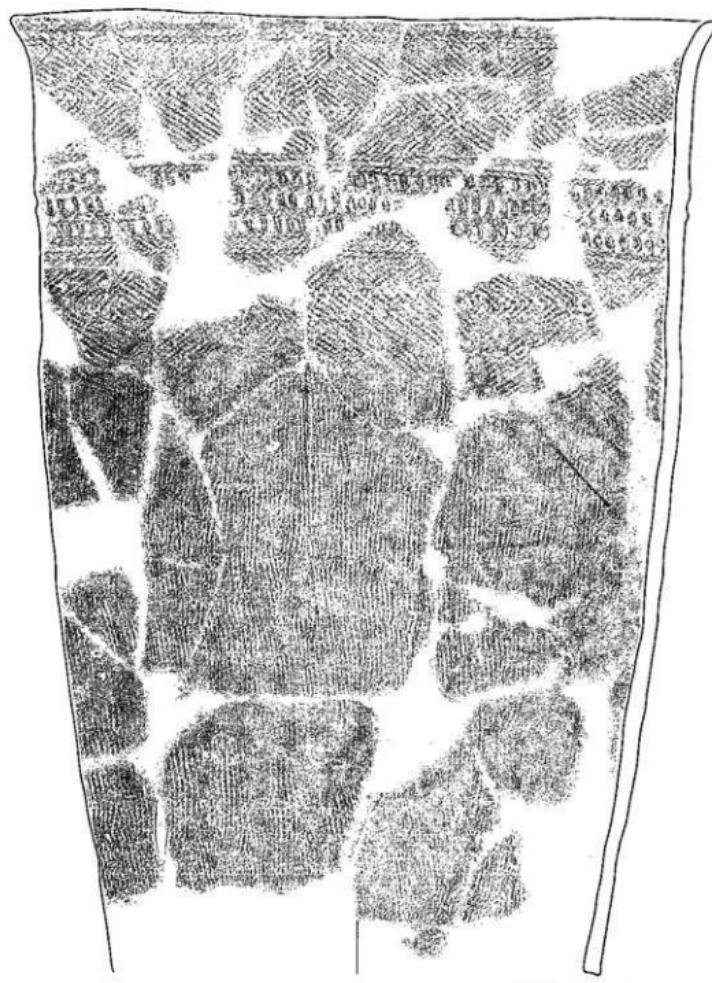
第57圖 S T396・504号Ⅲ層出土土器 (2)



第568図 S T396・504谷Ⅲ層出土土器（3）



第569図 S T396・504谷Ⅲ層出土土器 (4)



1 (396・504-64)



第570図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器（5）

圖571 圖 S T396・504窖III層出土土器 (6)

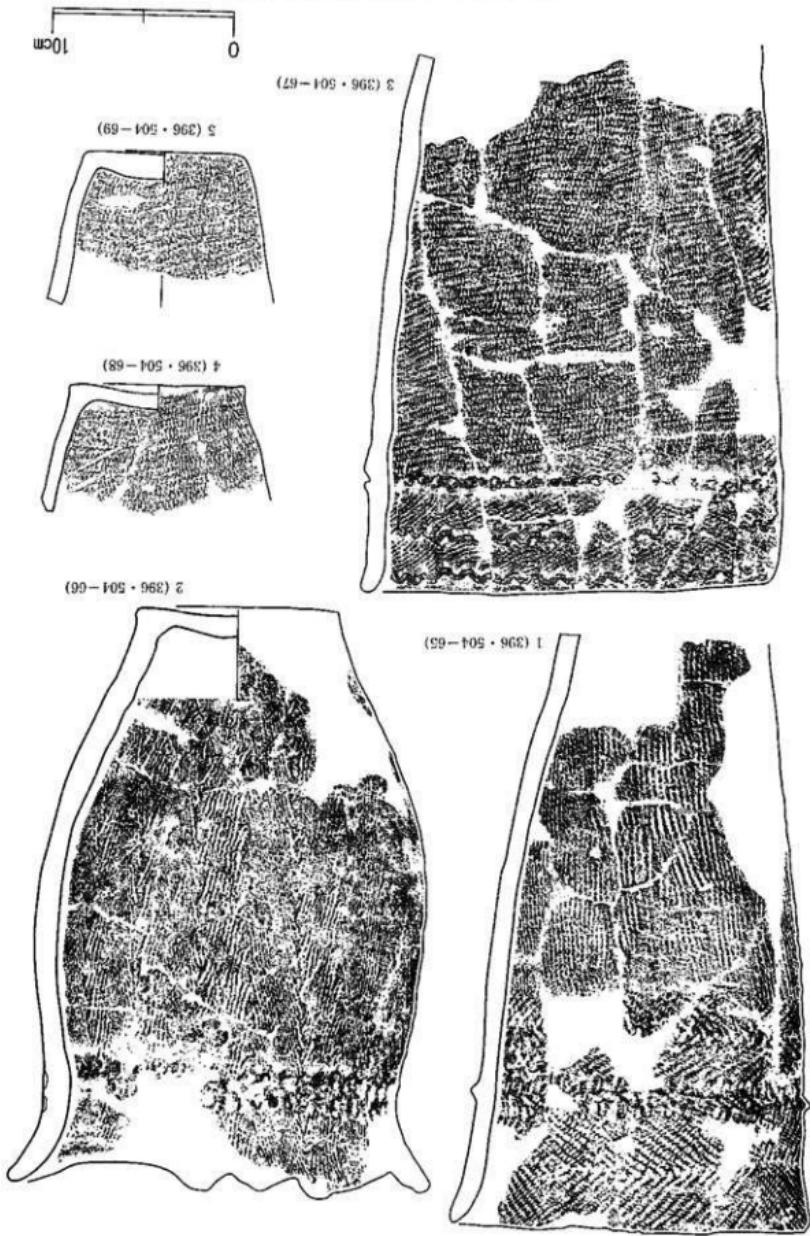


圖572 圖 S T396・504窖II層陶器

圖572 圖 ST396・504合瓦圓鼎出土玉器 (7)

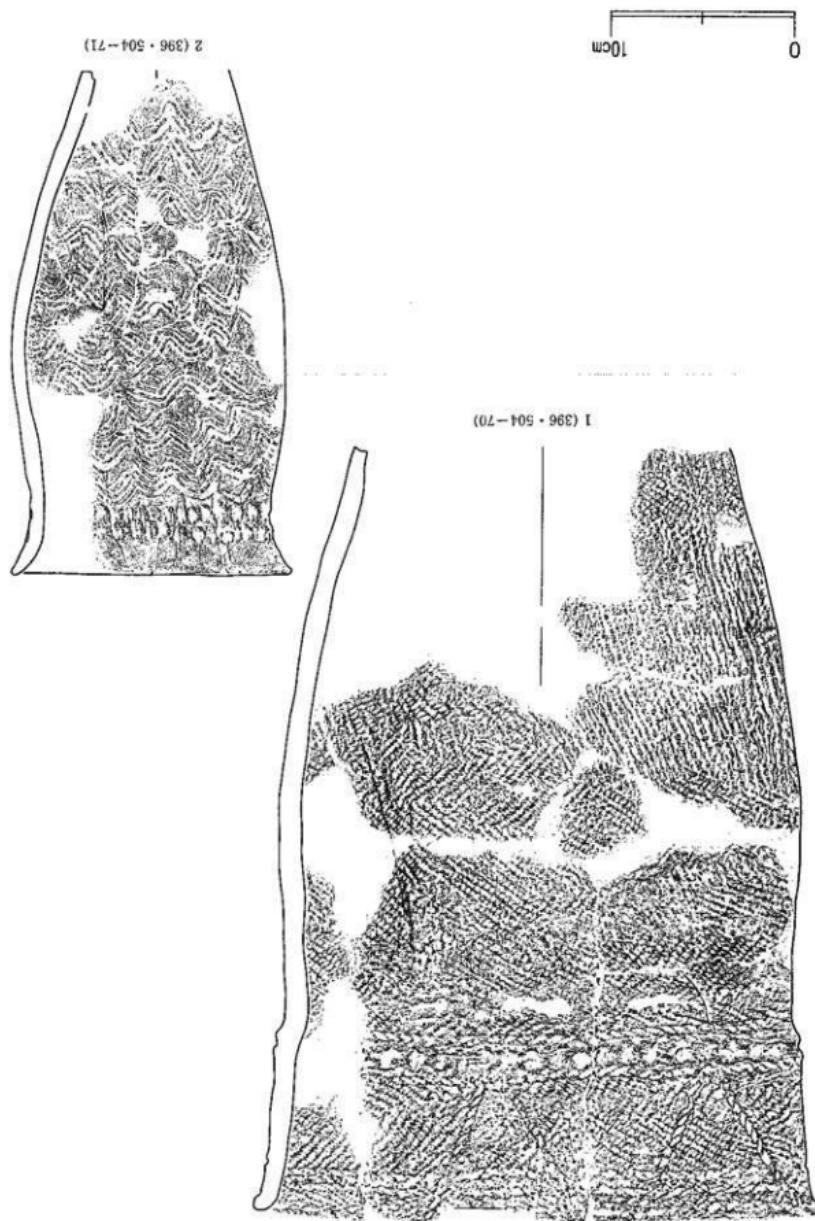


圖573 圖 ST396・504合器III層出土玉器 (8)

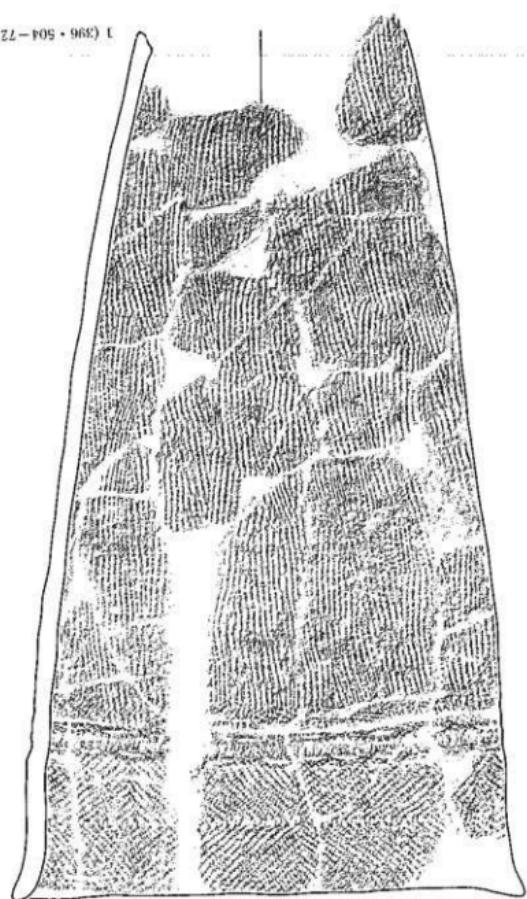
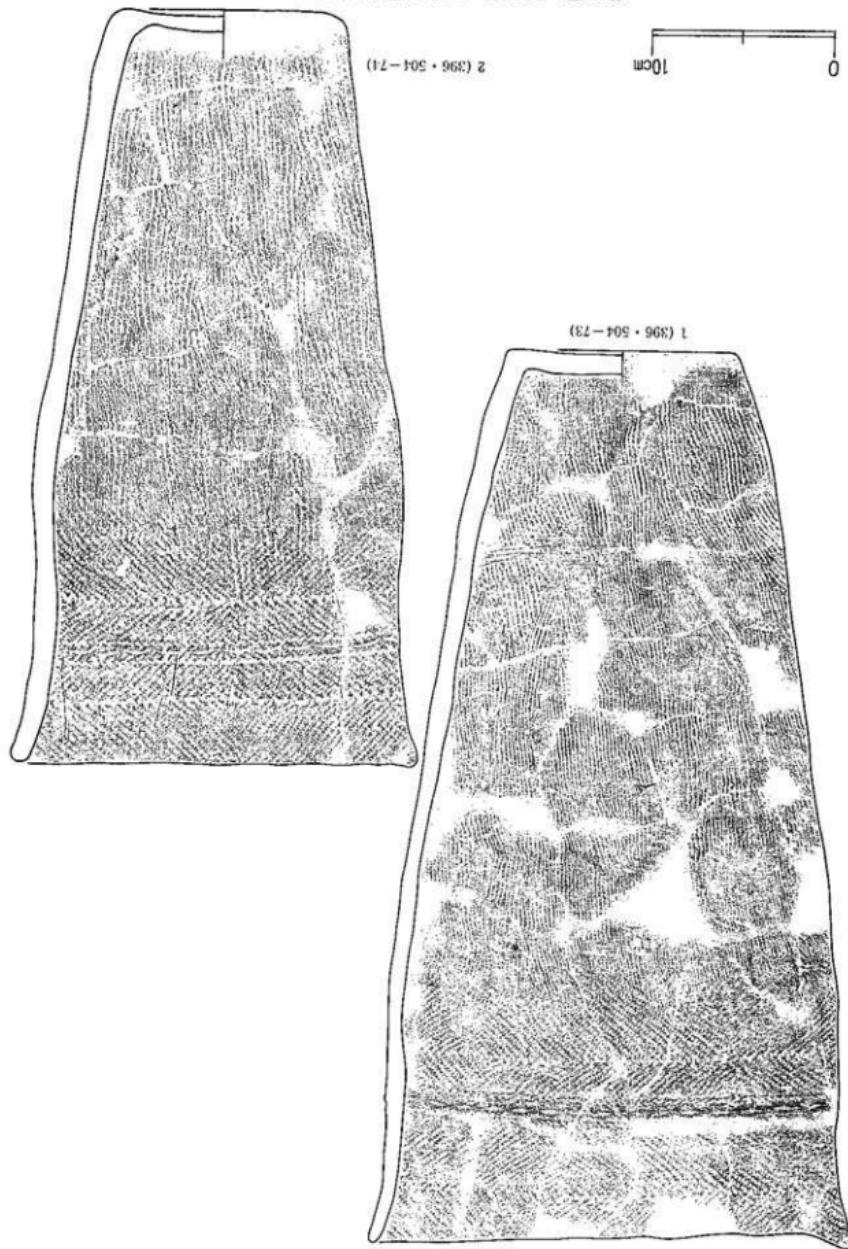
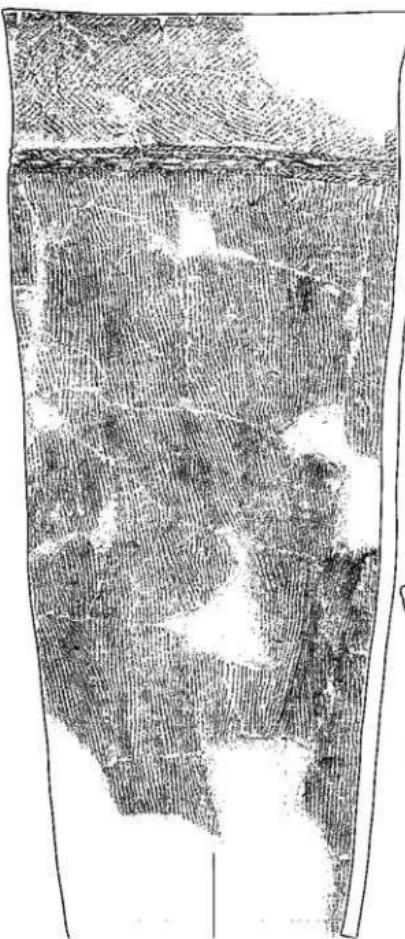


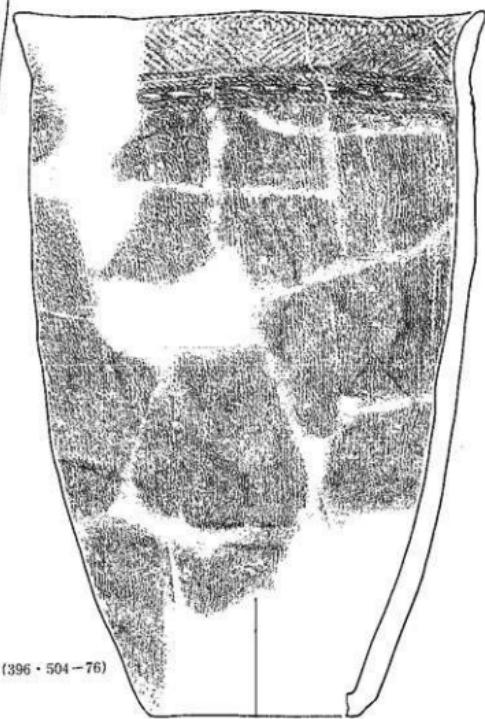
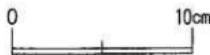
圖574 圖 ST396・504合器II層出土玉器 (8)

第574图 S T396·504号墓出土玉器 (9)



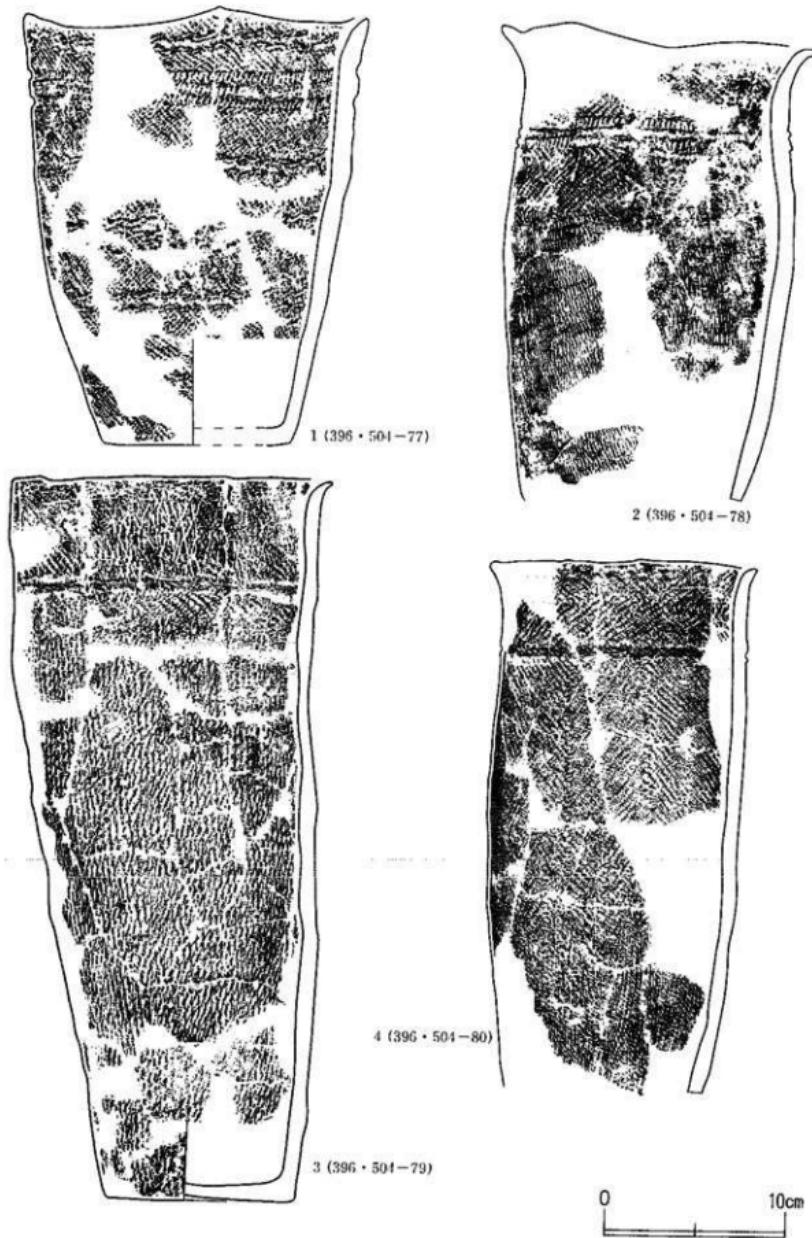


1 (396・504-75)

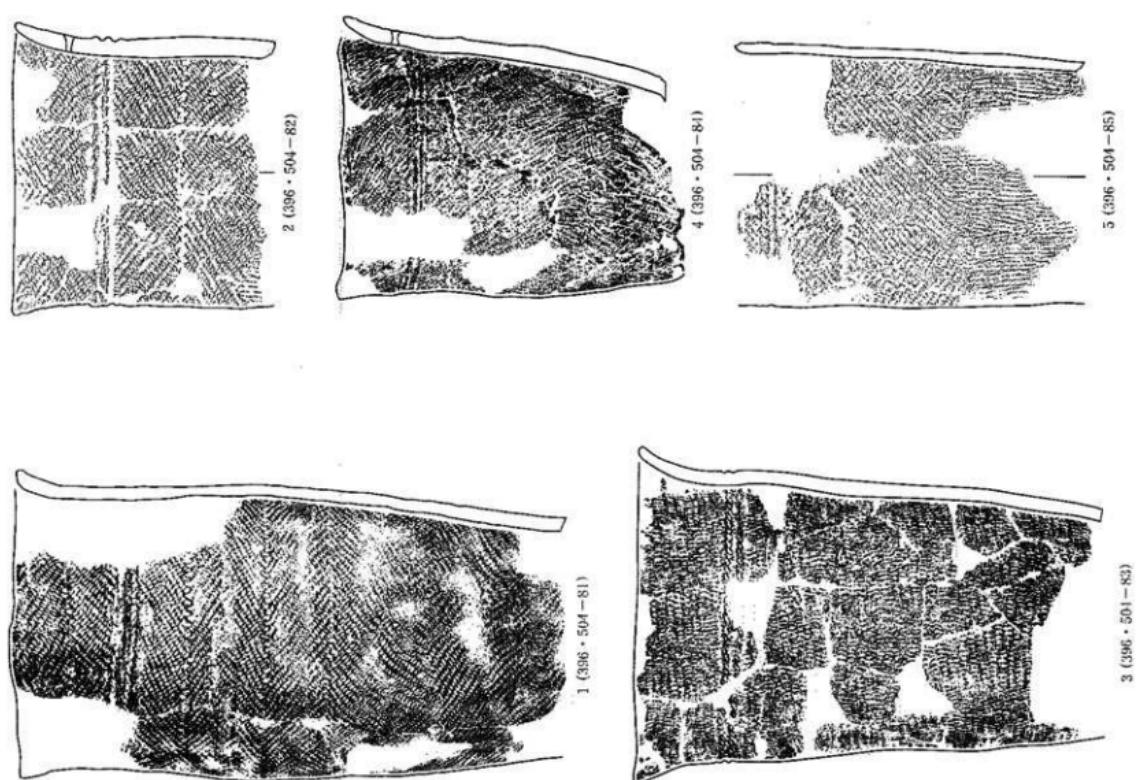


2 (396・504-76)

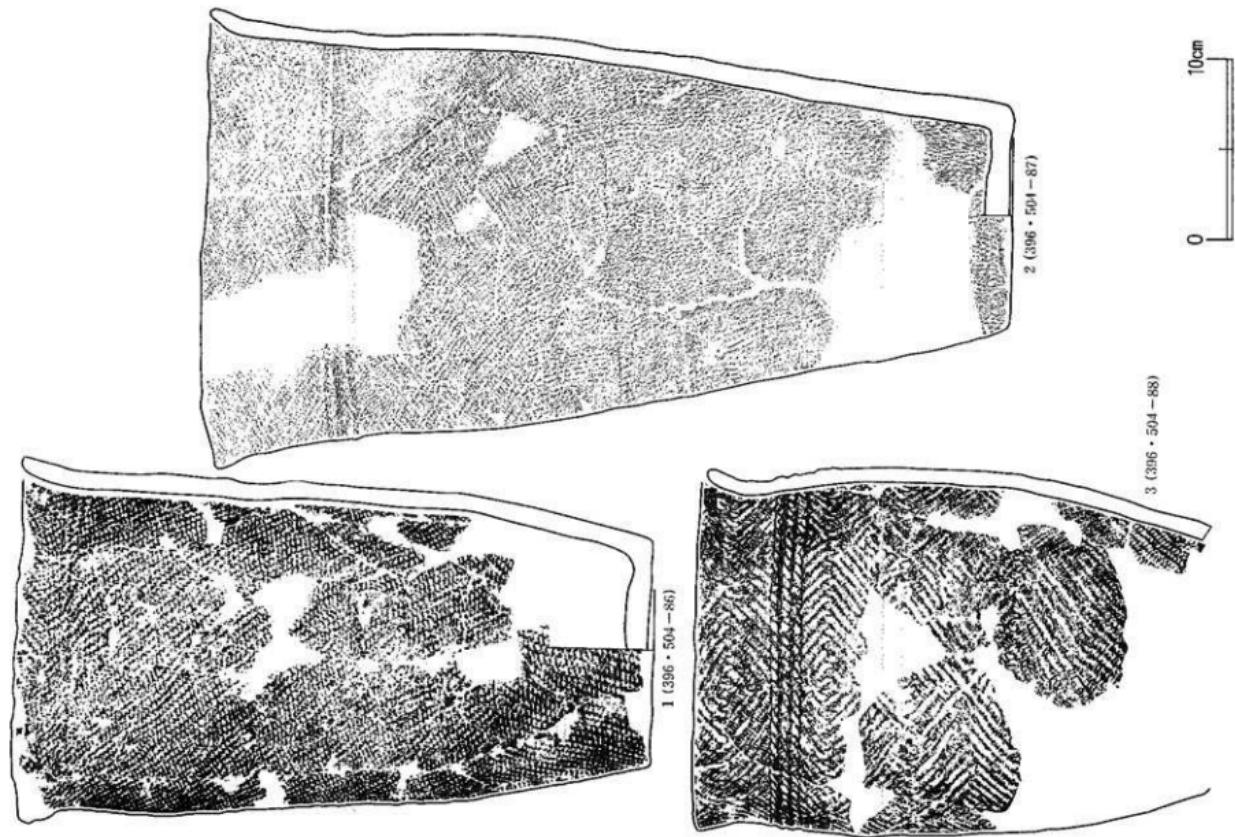
第575図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (10)



第576図 S T396・504谷Ⅲ層出土土器 (11)



第577図 ST396・504谷Ⅲ層出土土器 (12)



第578図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (13)

圖579  
S T396・504各三層出土土器 (14)

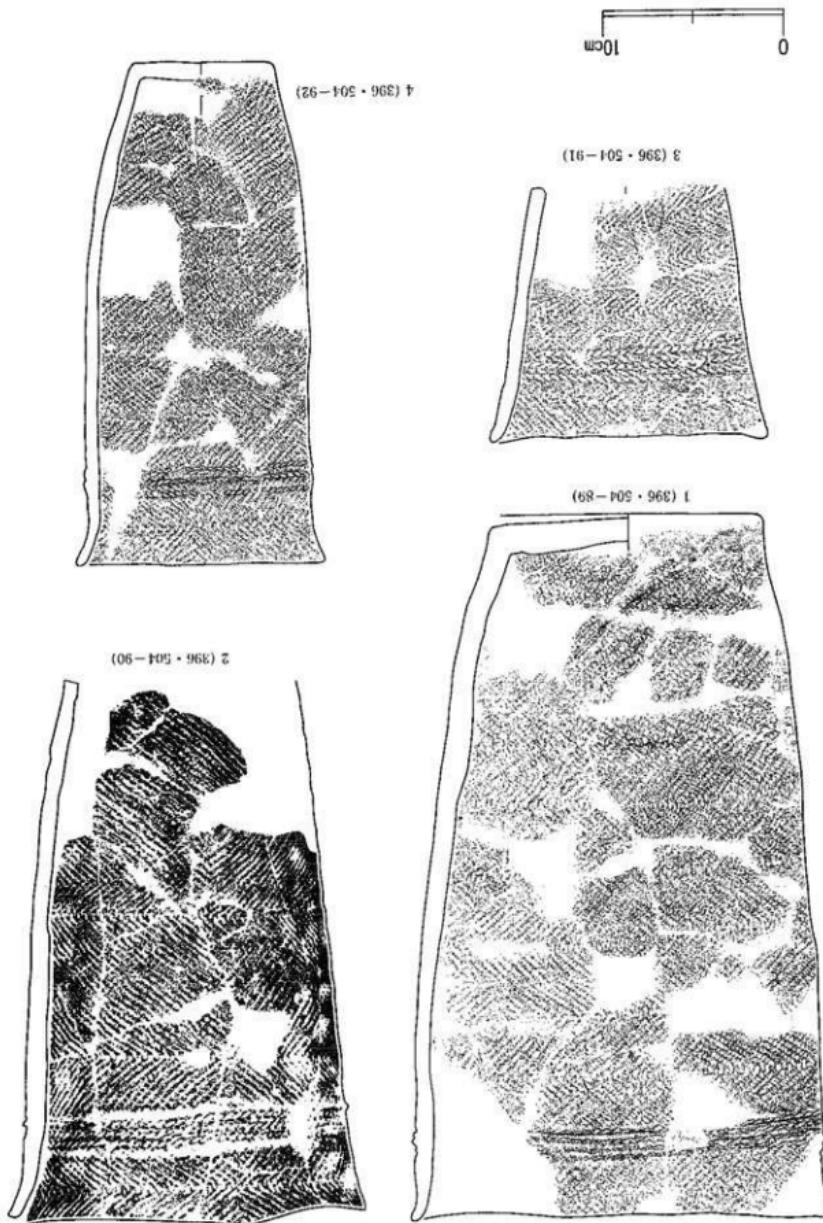
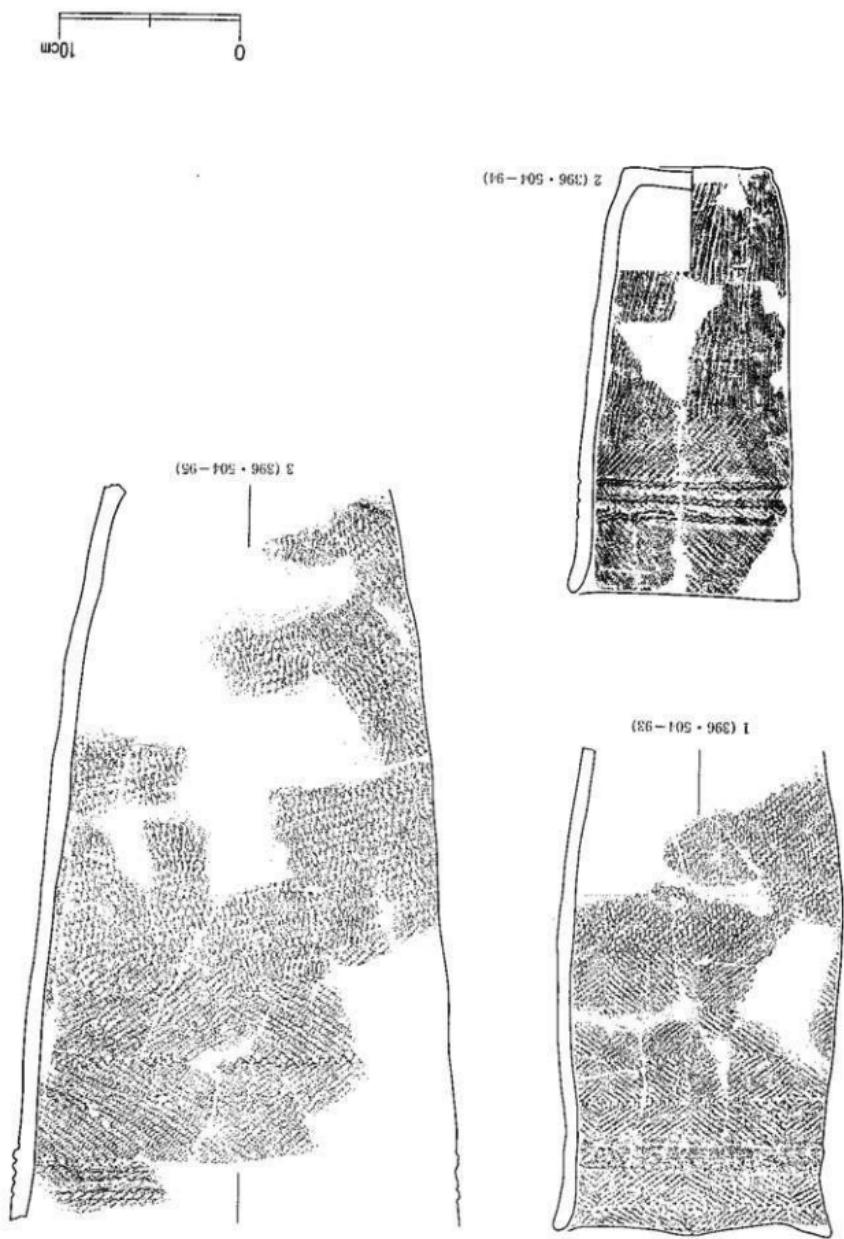
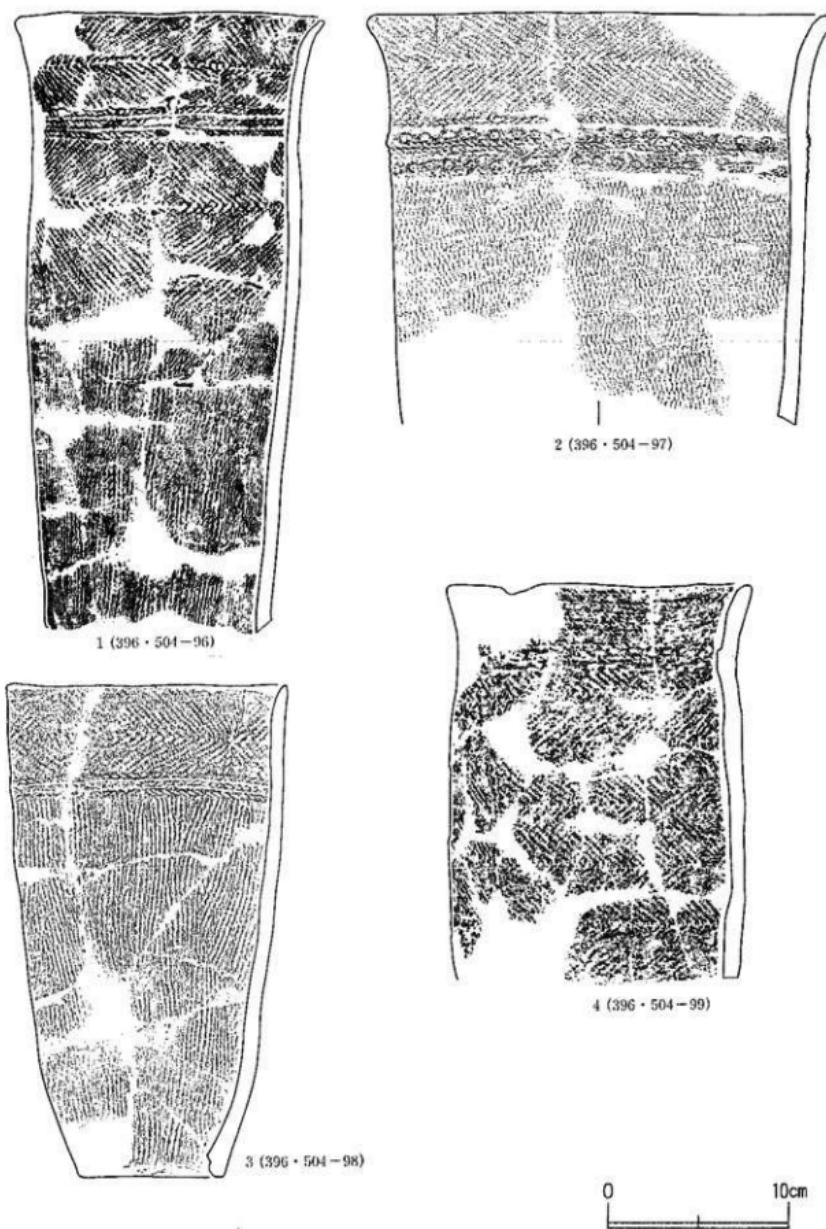


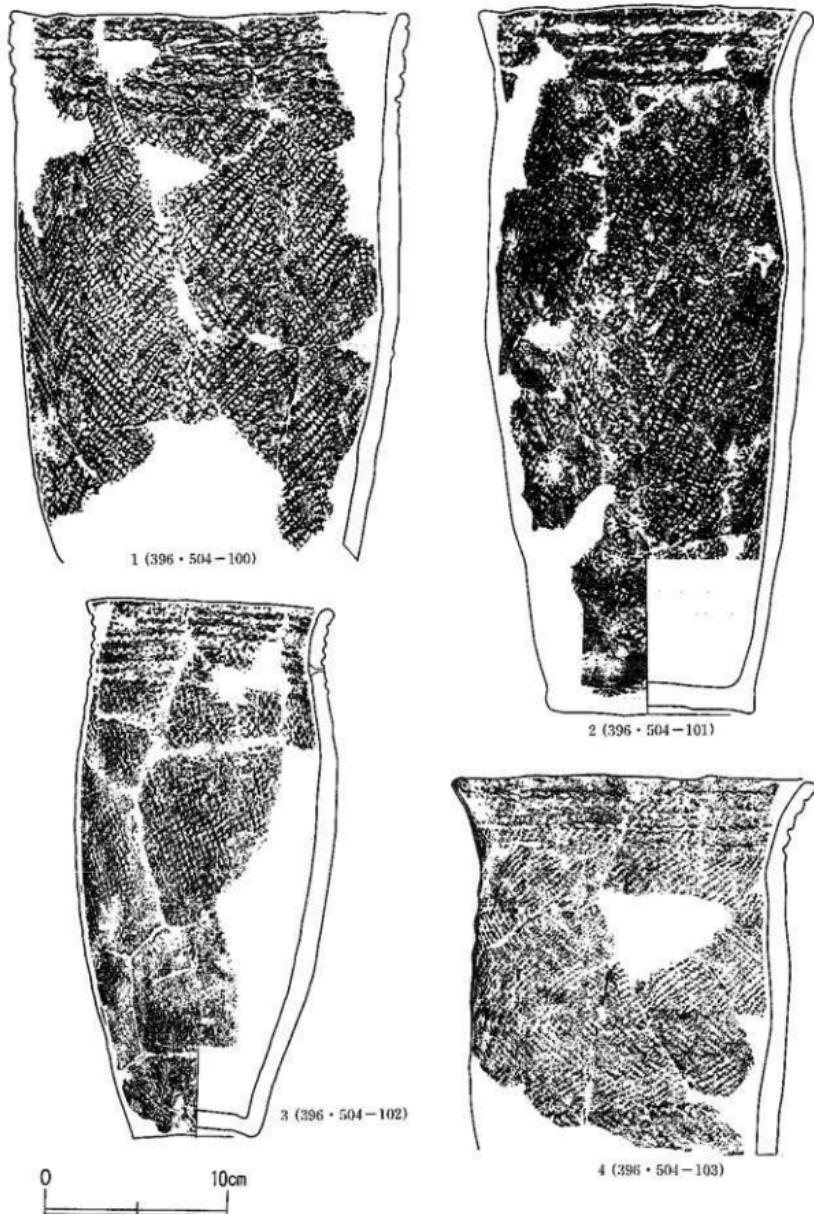
圖580  
S T396・504各3層出土器

圖580 S T396・504号墓出土土器 (15)





第581図 S T396・504谷Ⅲ層出土土器 (16)



第582図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (17)

圖 583 圖 ST396・504 合三層出土土器 (18)

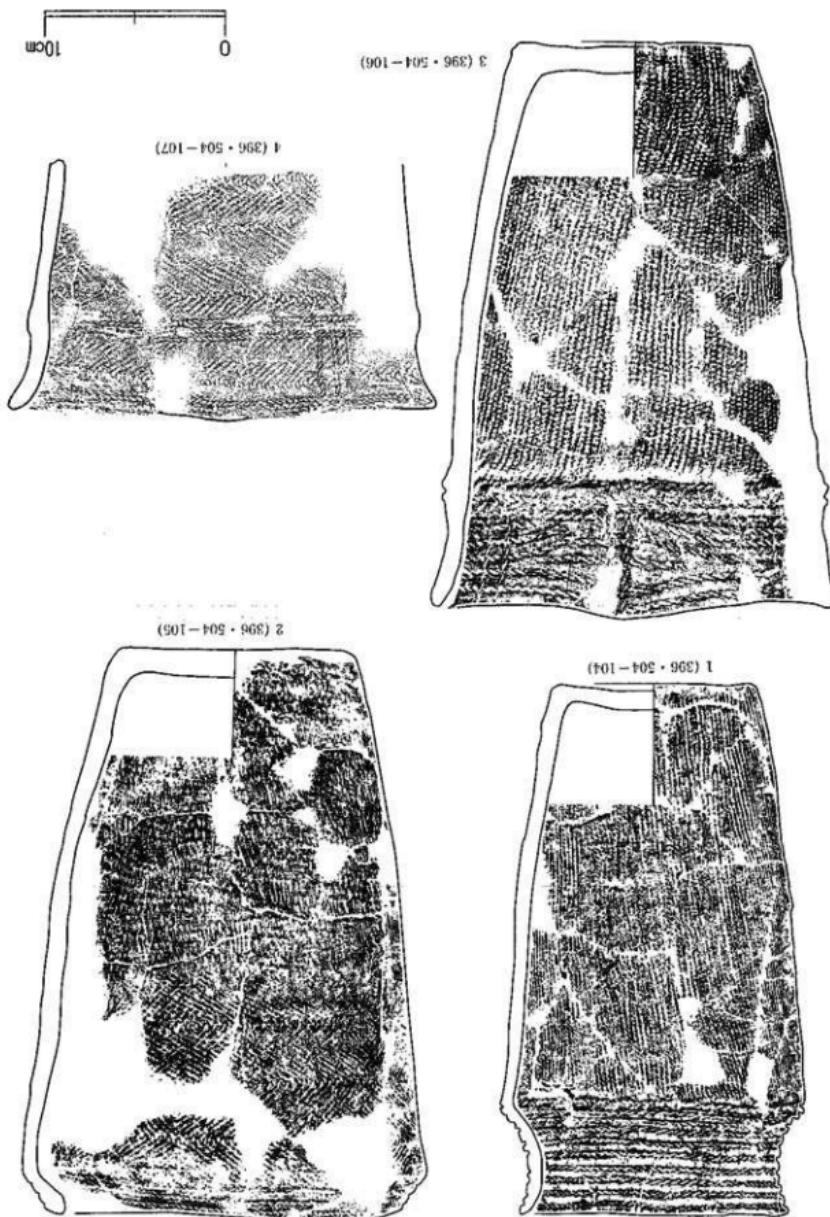
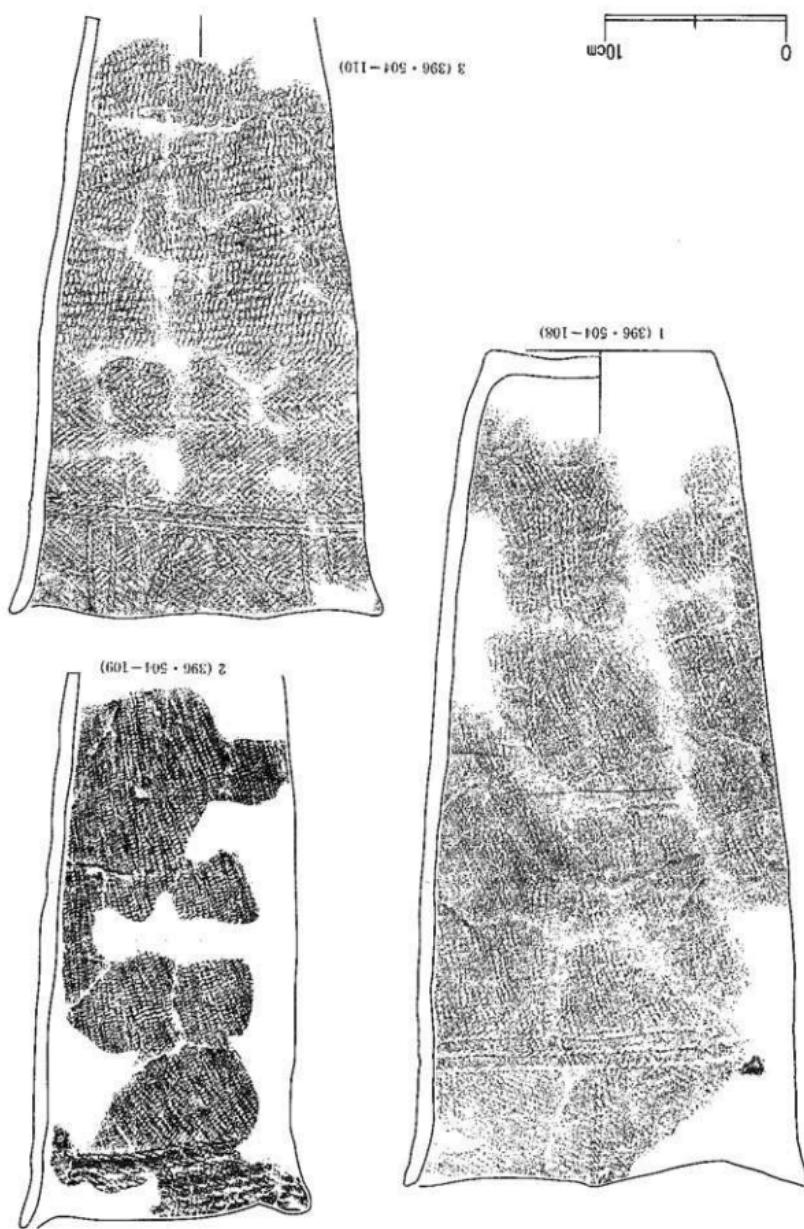
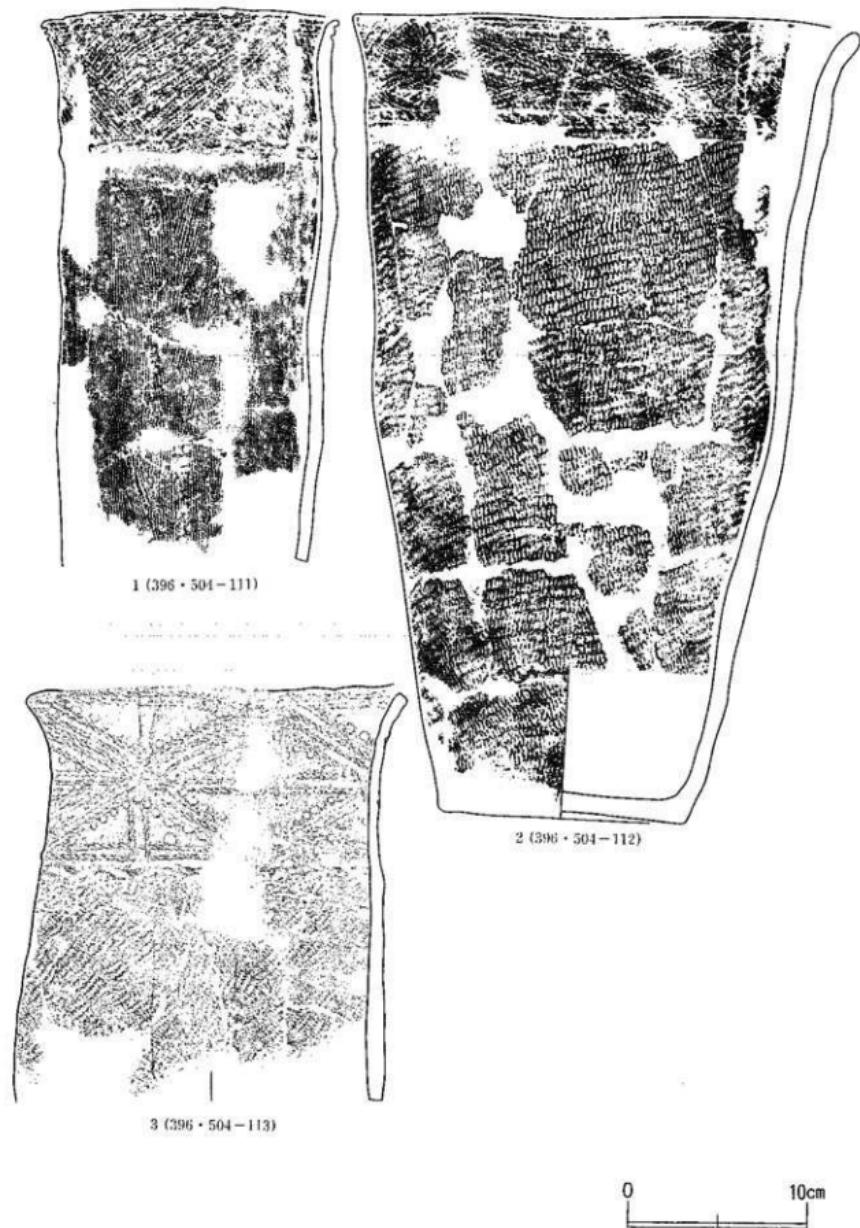


圖 584 圖 ST396・504 合刀鋸切器

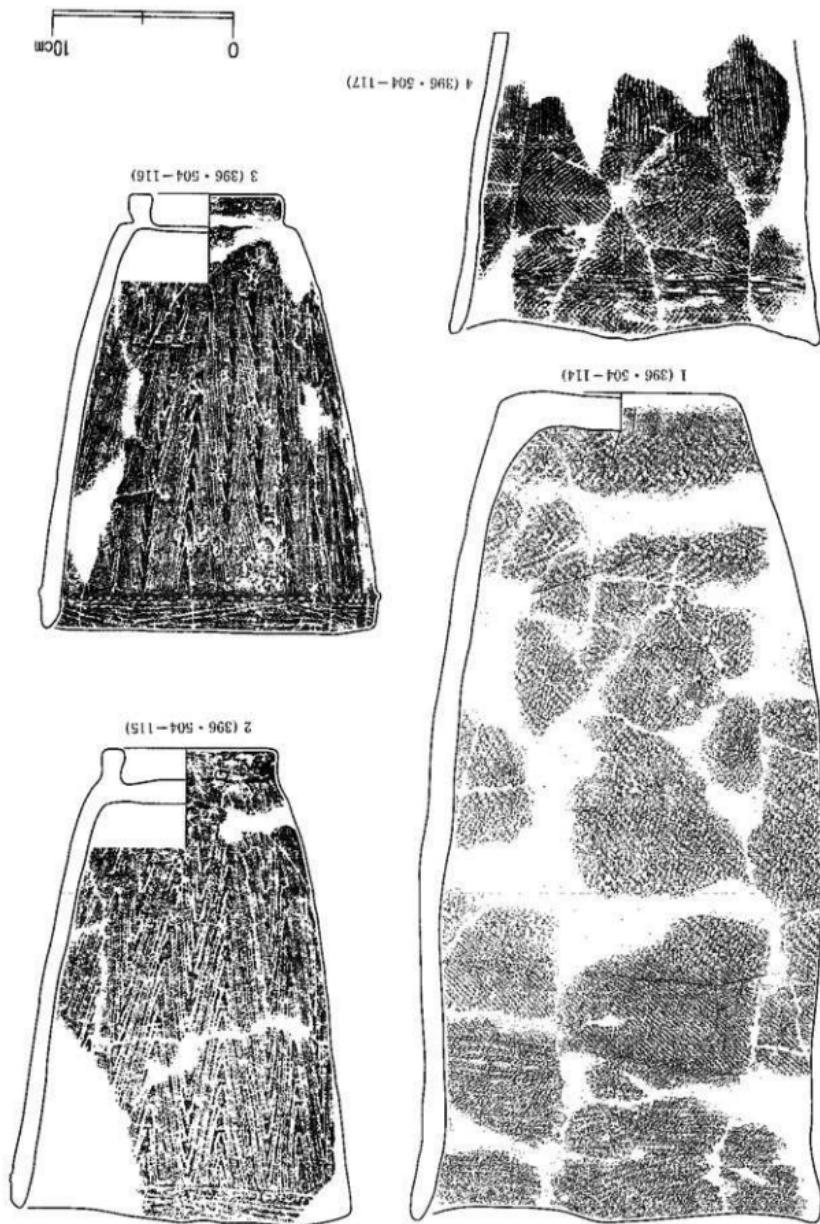
圖584 S T396・504合瓦圓鼎出土土器 (19)

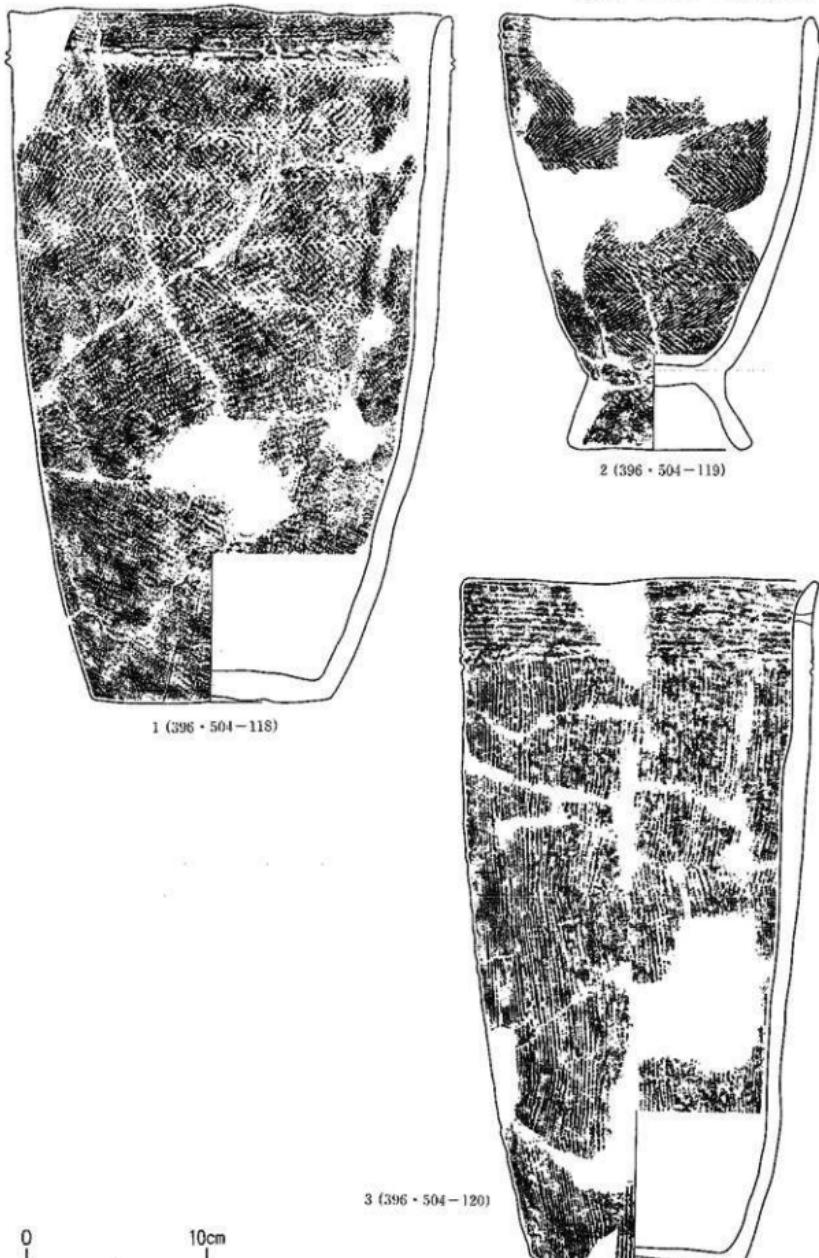




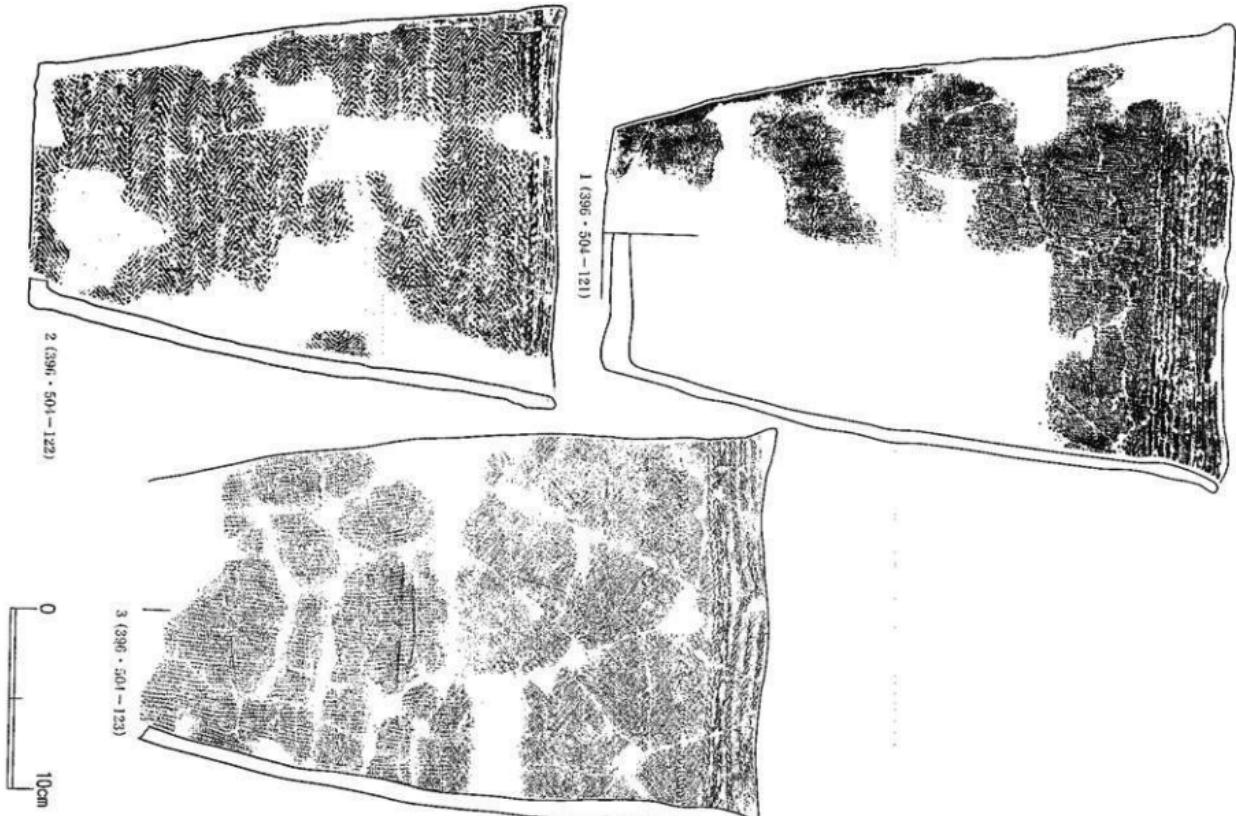
第585図 ST396・504谷Ⅲ層出土土器 (20)

第596圖 S T396・504号Ⅲ層出土土器 (21)



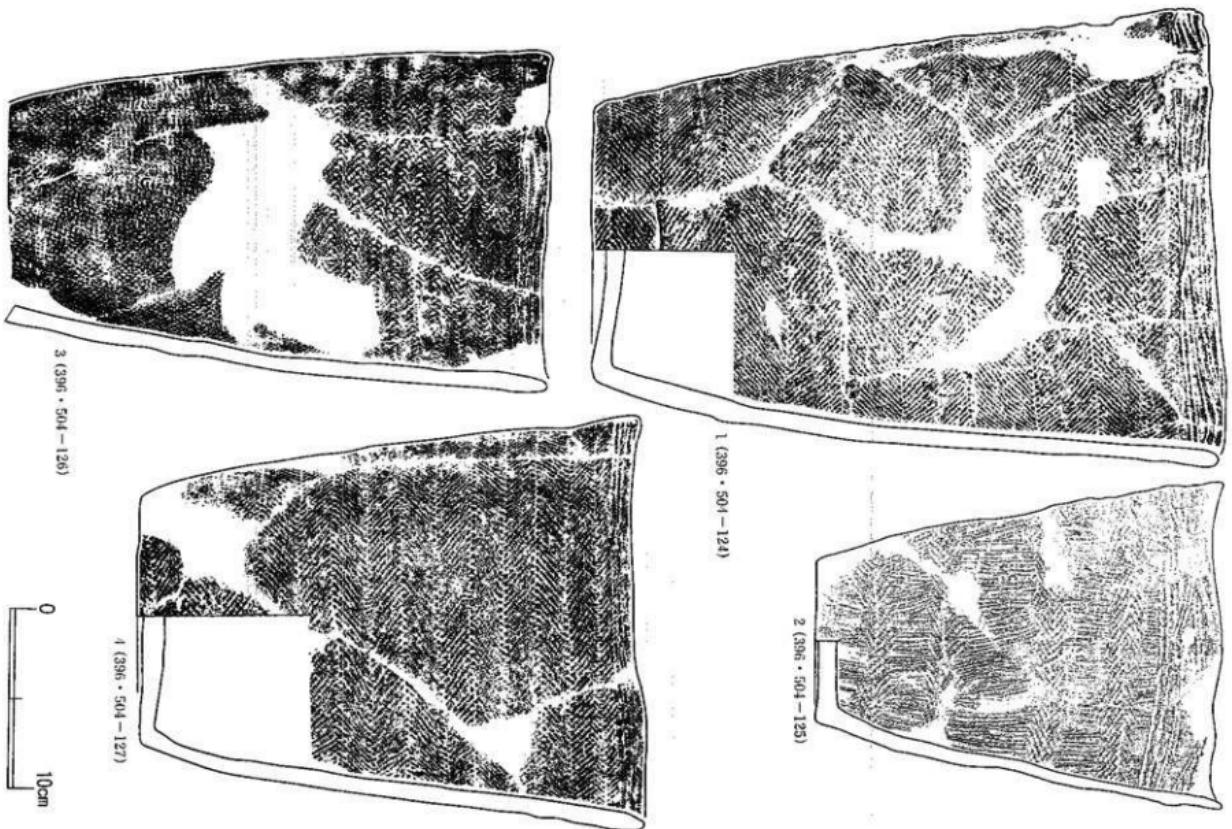


第587図 S T396・504谷Ⅲ層出土土器 (22)

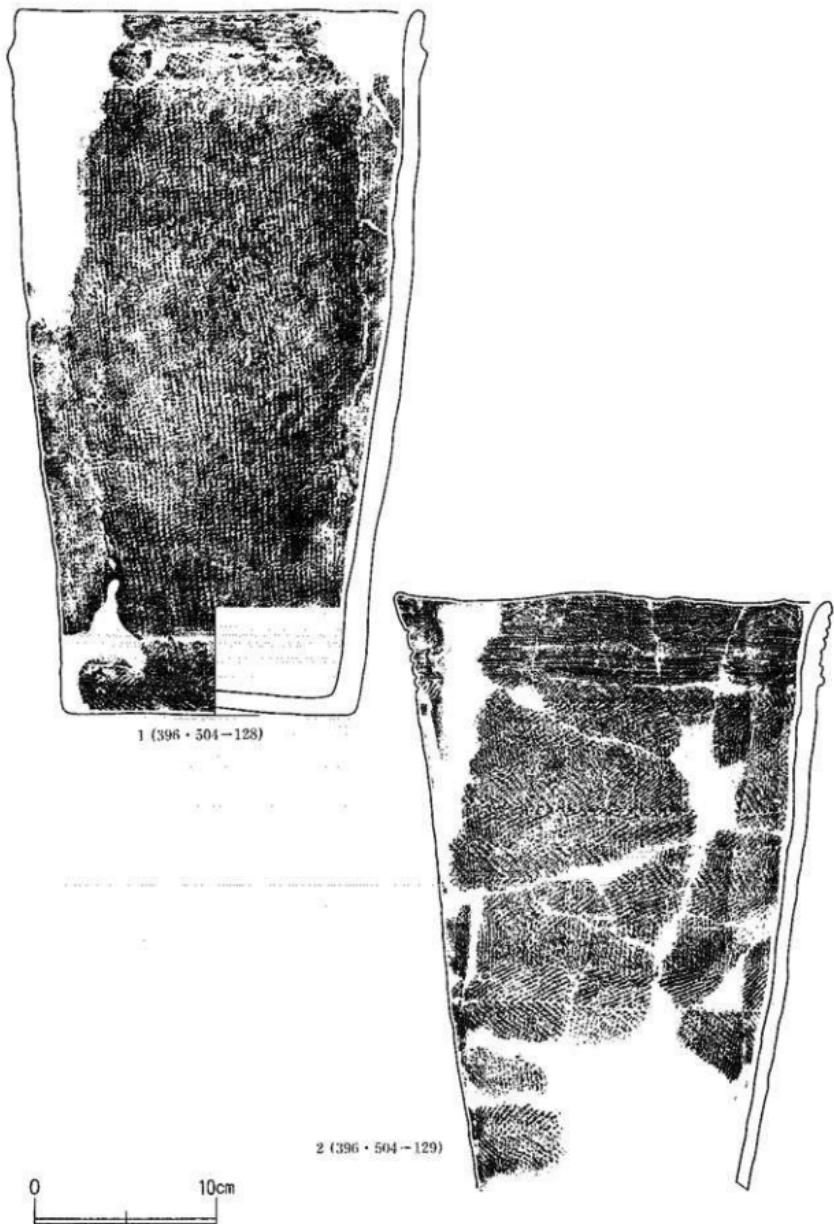


第88図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (23)

第5節 ST396・504谷の焼て場

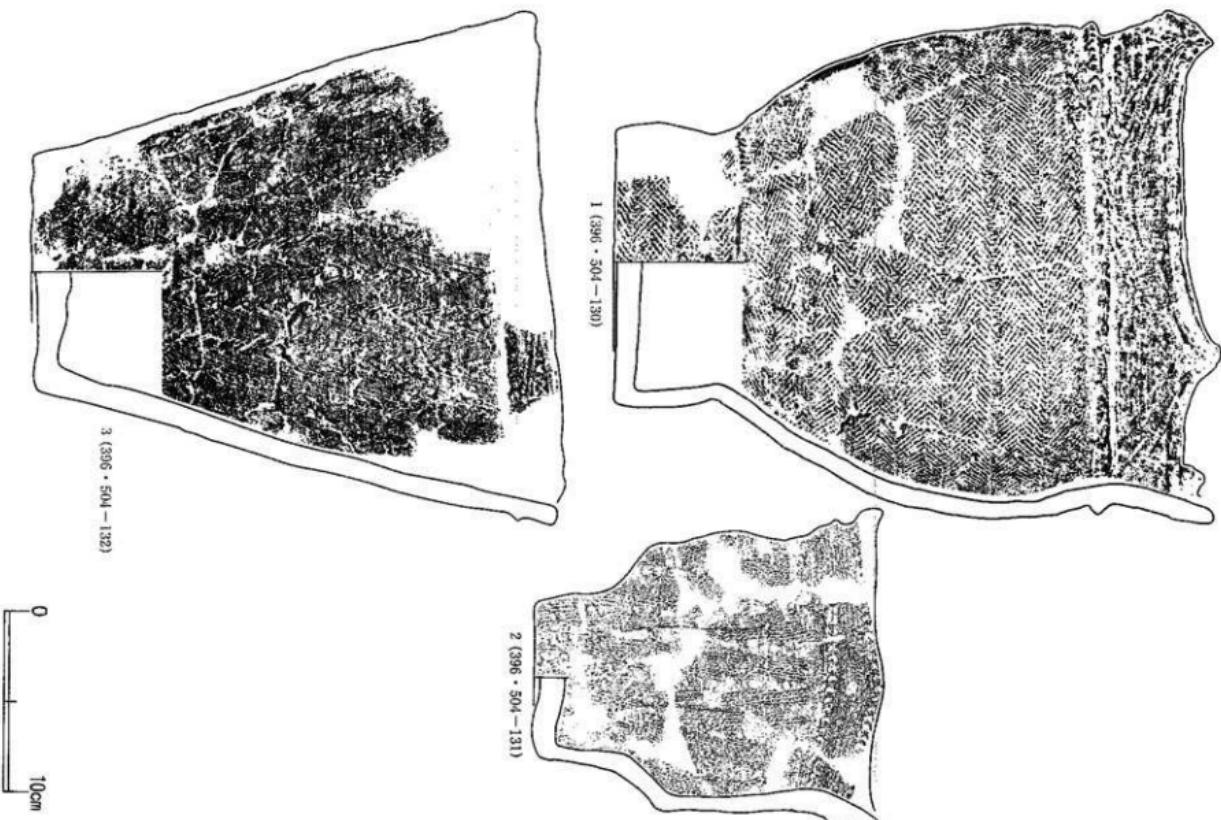


第599図 ST396・504谷Ⅲ層出土土器 (24)



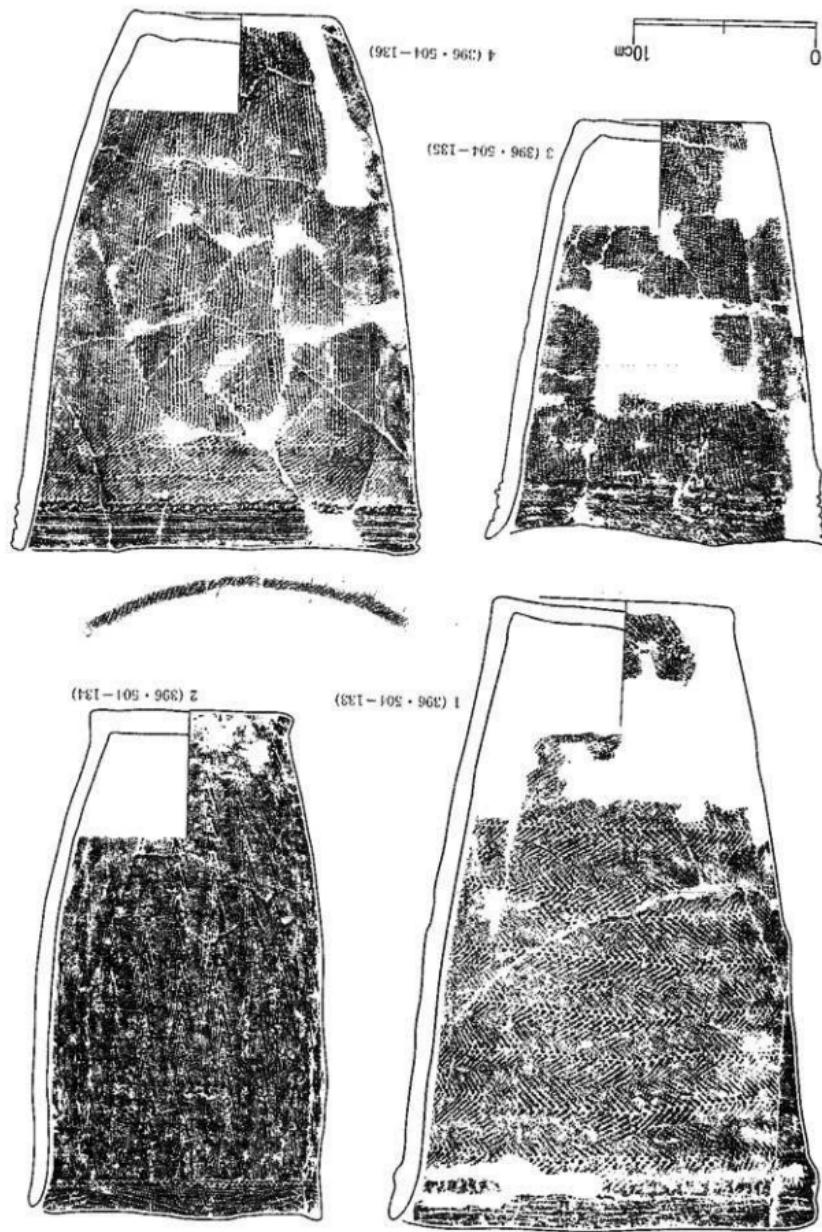
第590図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (25)

第5節 ST 396・504谷の出土場

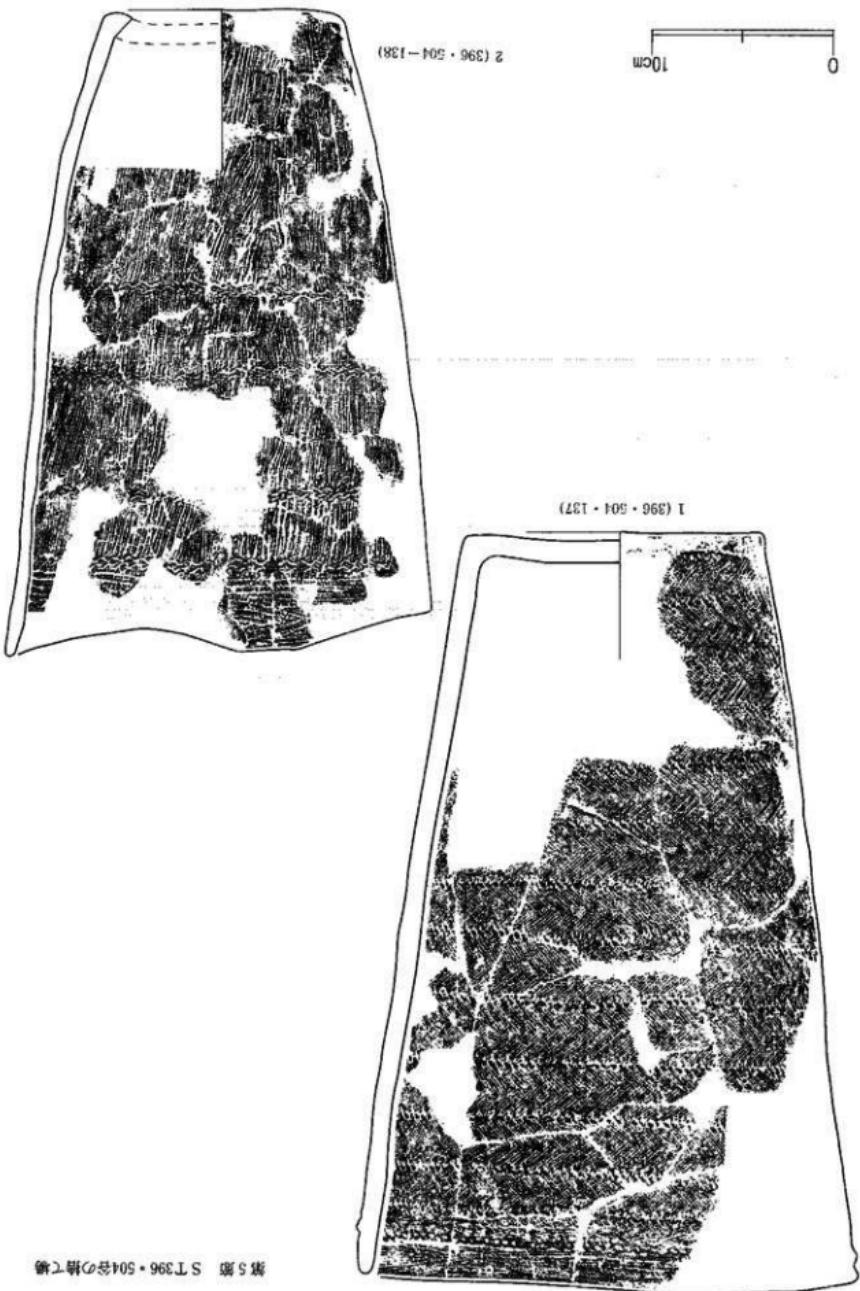


第51図 ST 396・504谷Ⅲ層出土土器 (26)

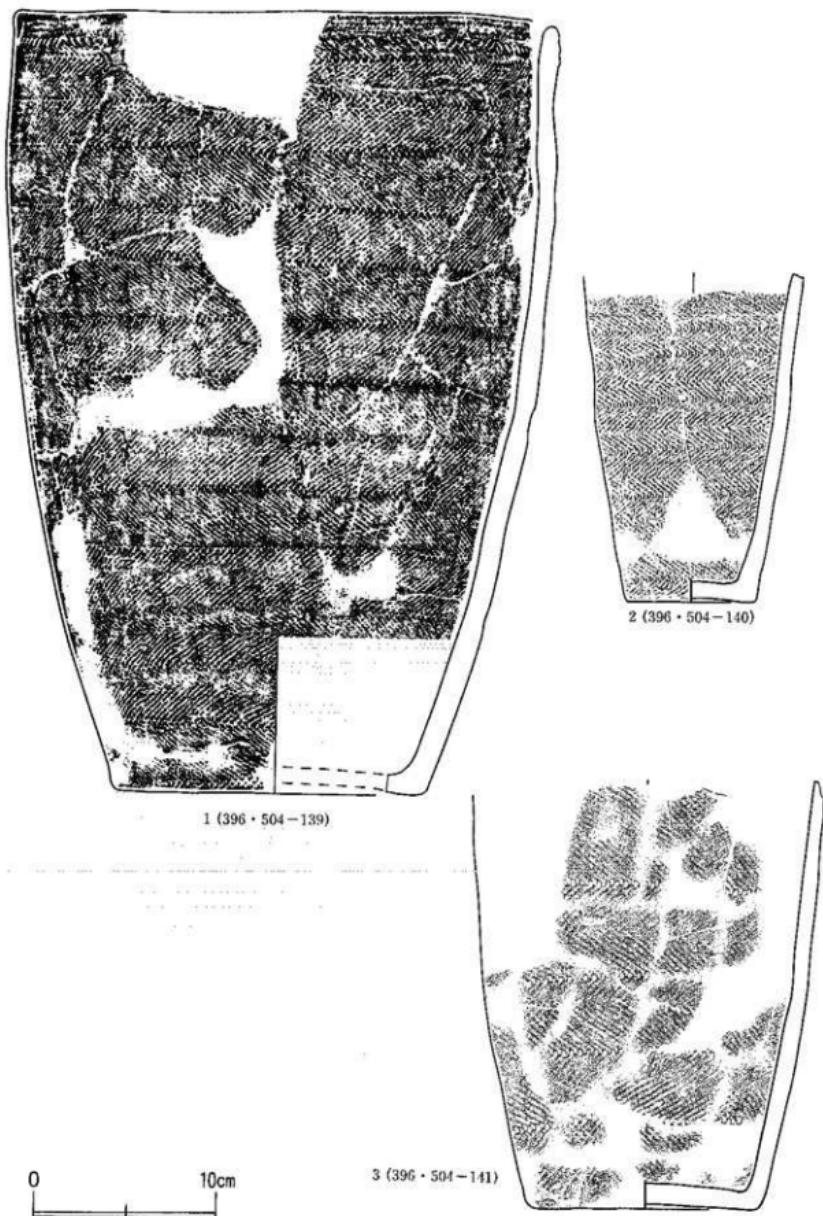
第592圖 S T396・504号墓出土土器 (27)



第598圖 ST396・504合皿圓出土土器 (28)

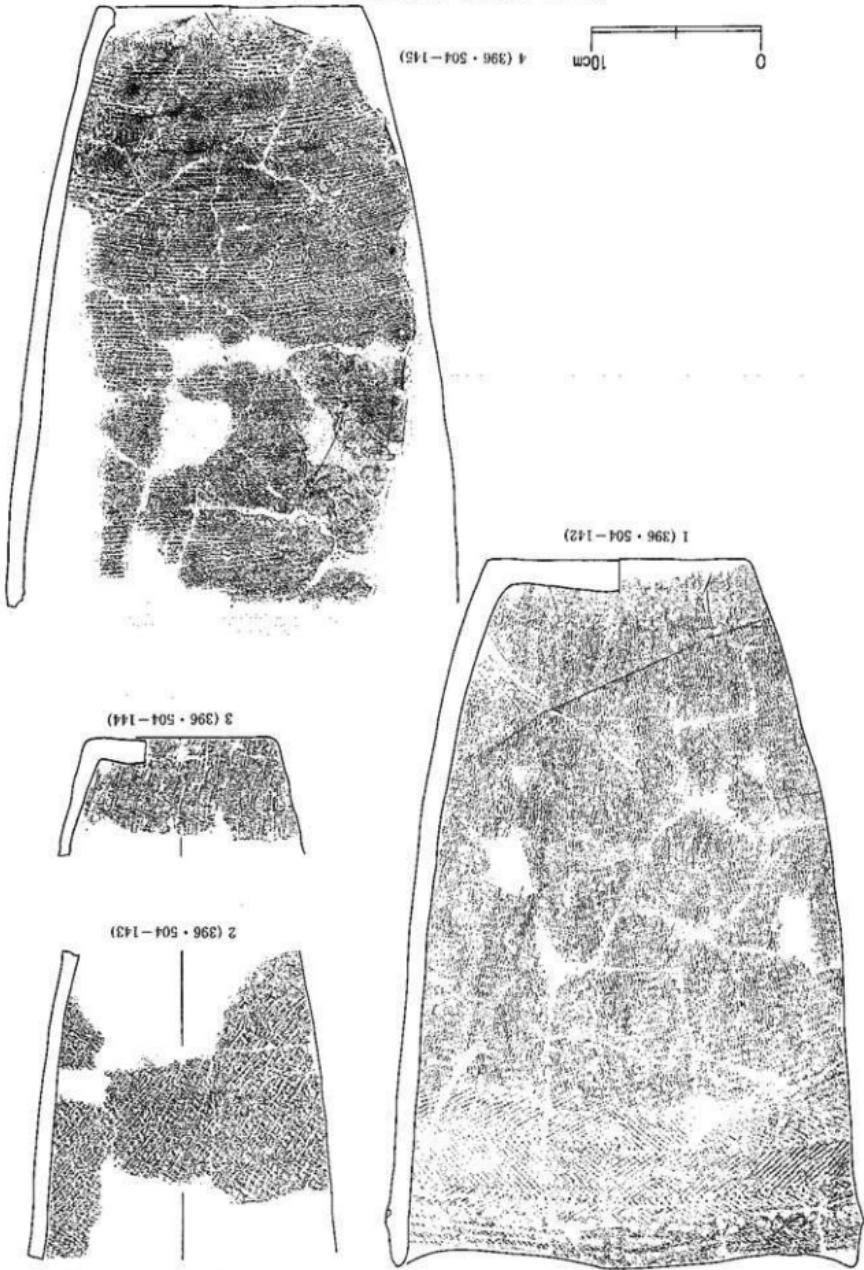


第599圖 ST396・504合皿圓出土土器



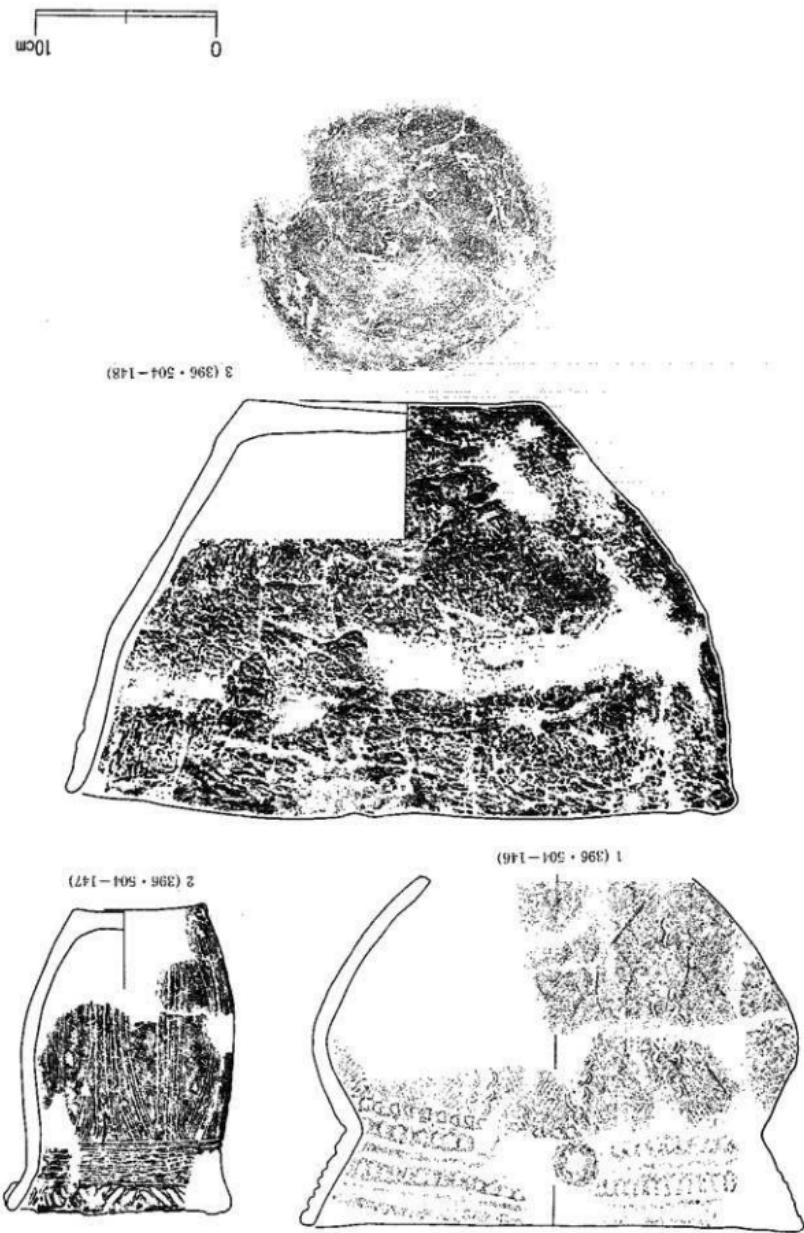
第594図 S T 396・504谷Ⅲ層出土土器 (29)

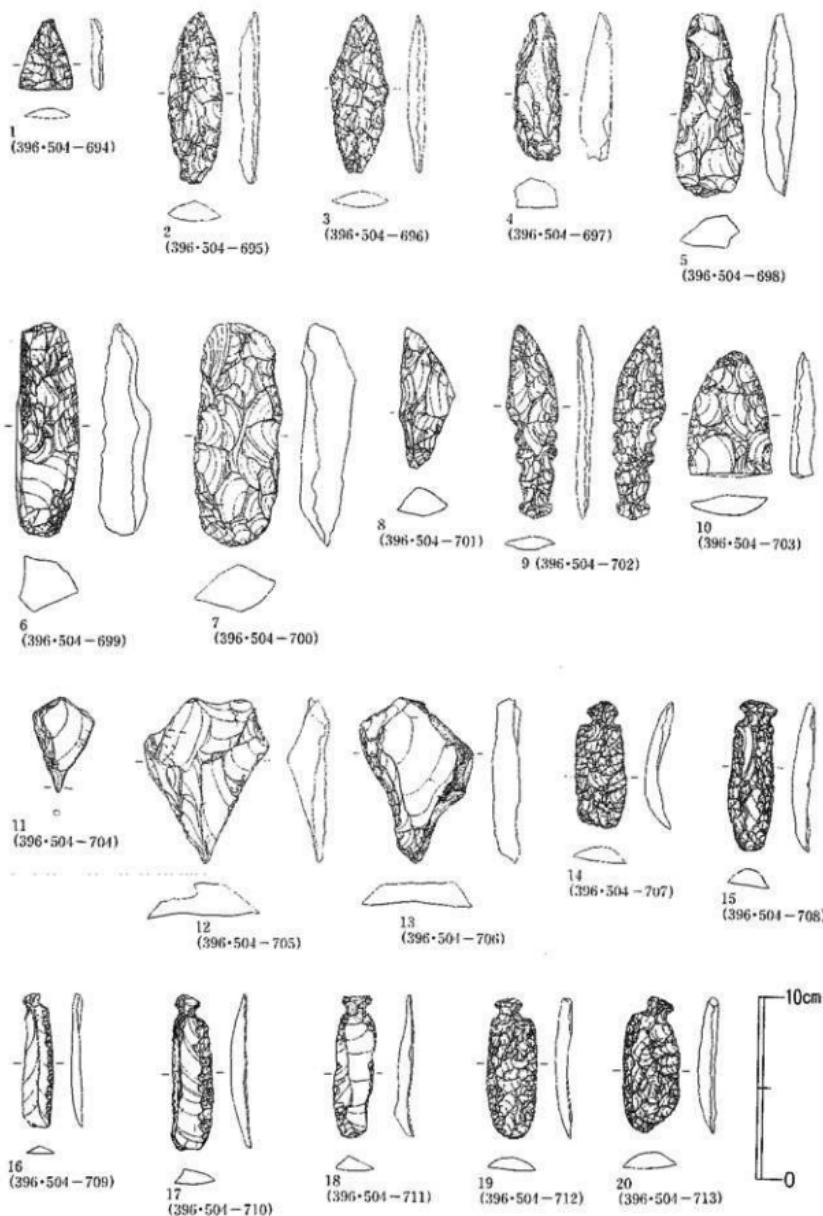
第599圖 S T396・504瓮III層出土土器 (30)



第599圖 S T396・504瓮III層出土土器 (30)

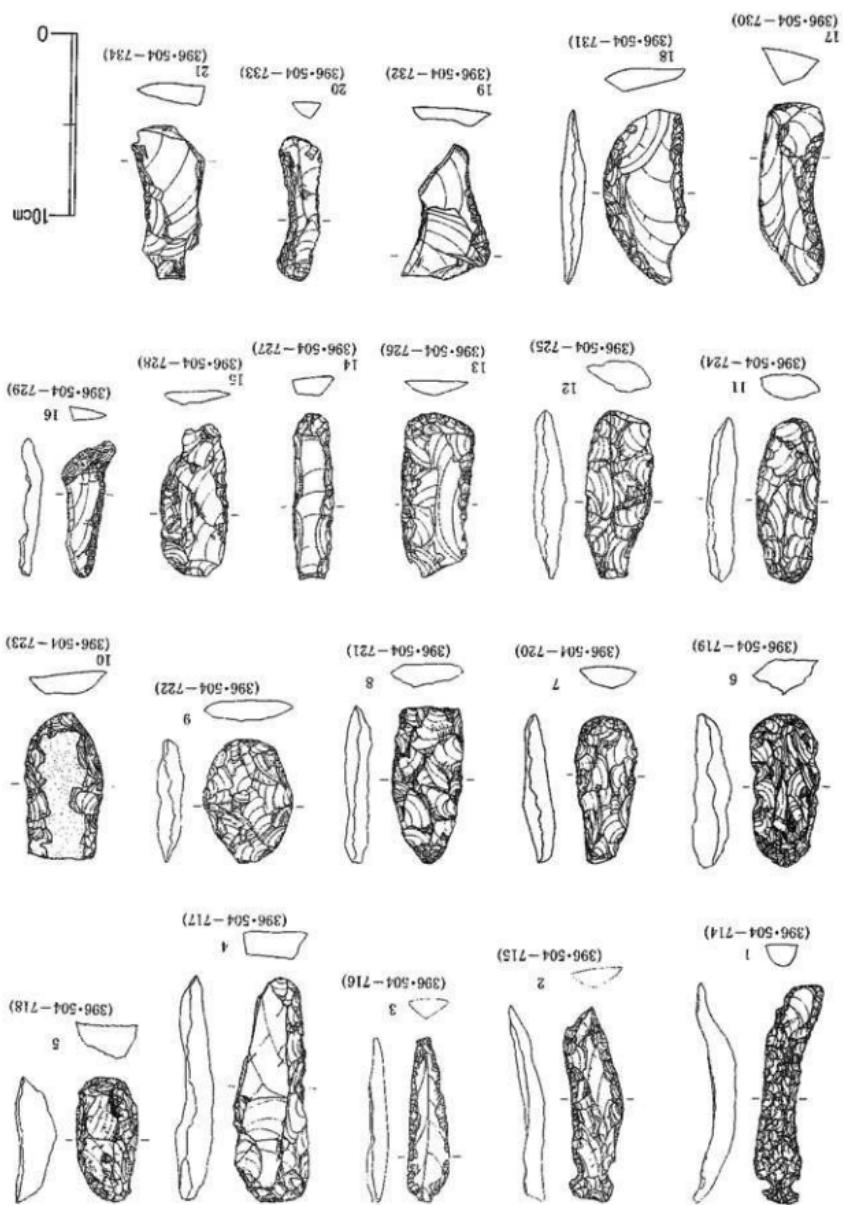
第596圖 S T396・504号Ⅲ層出土土器 (31)

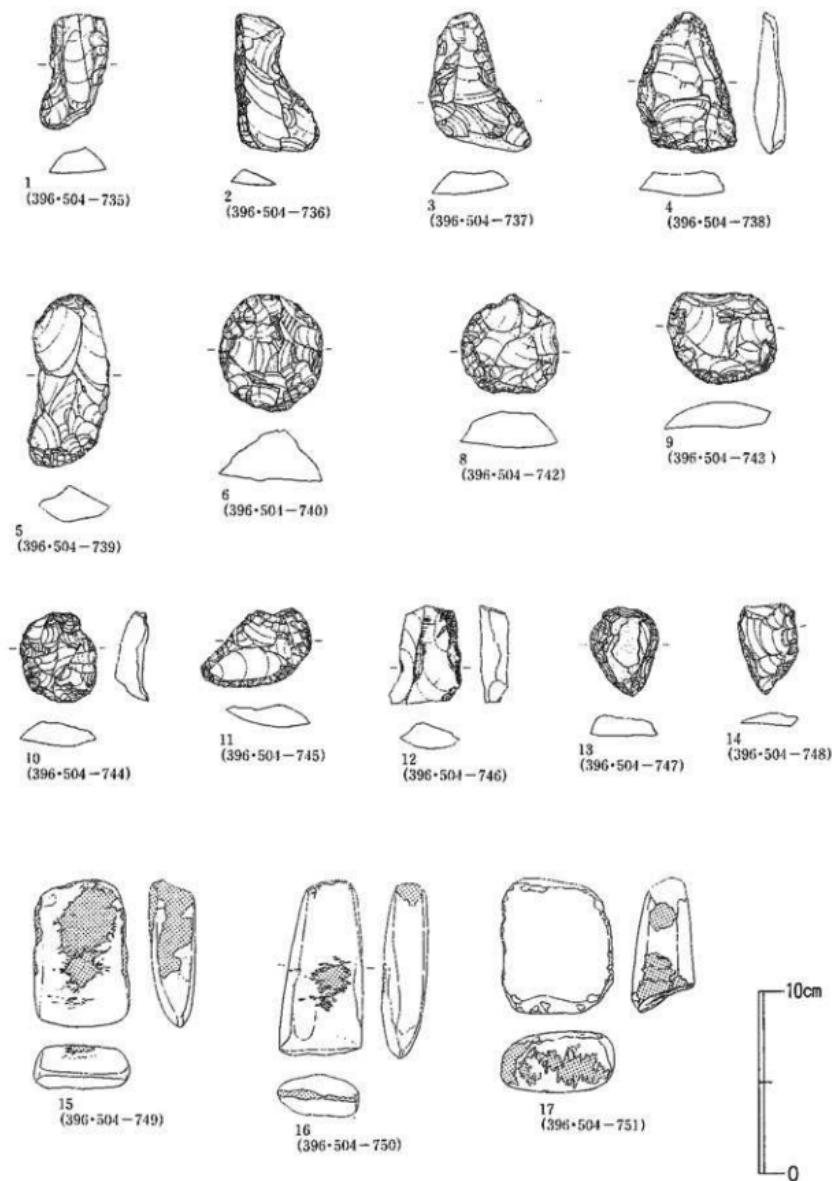




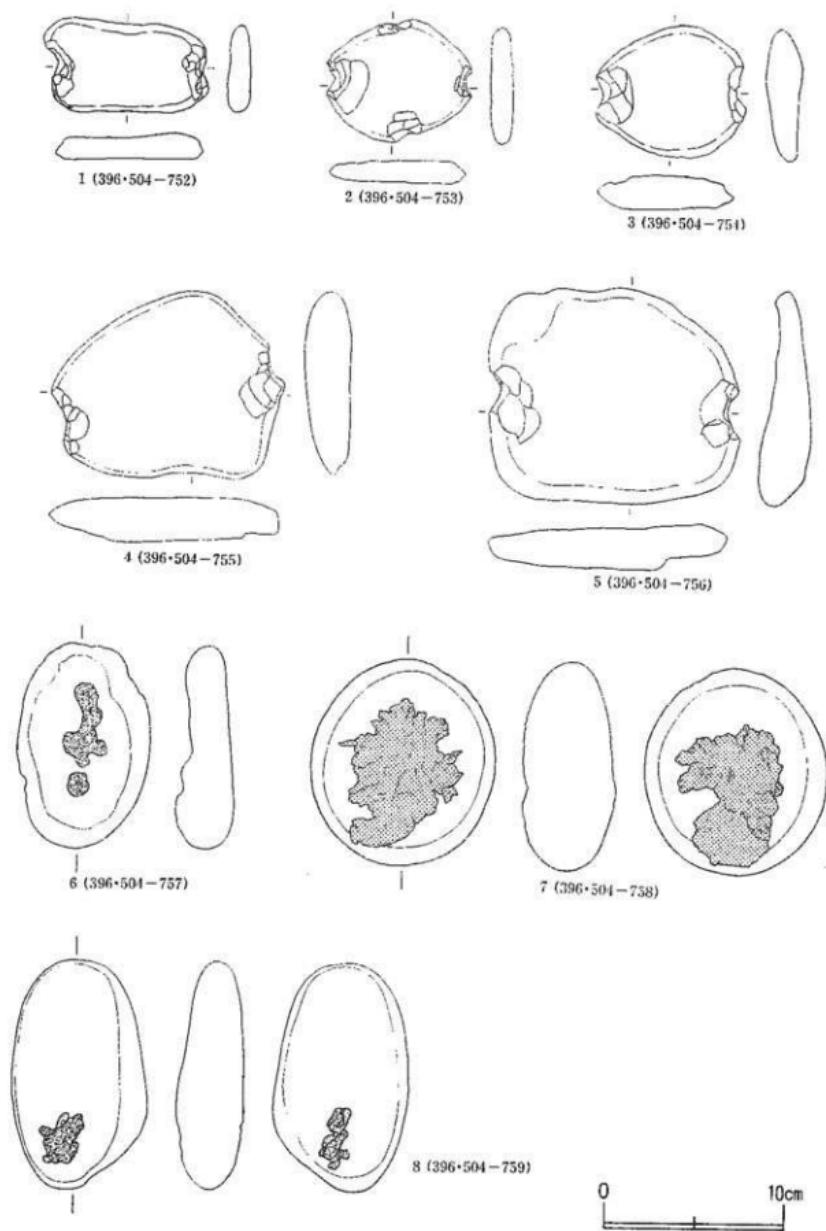
第597図 ST396・504谷Ⅲ層出土石器（1）

第598圖 S T396・S04各三層出土石器 (2)

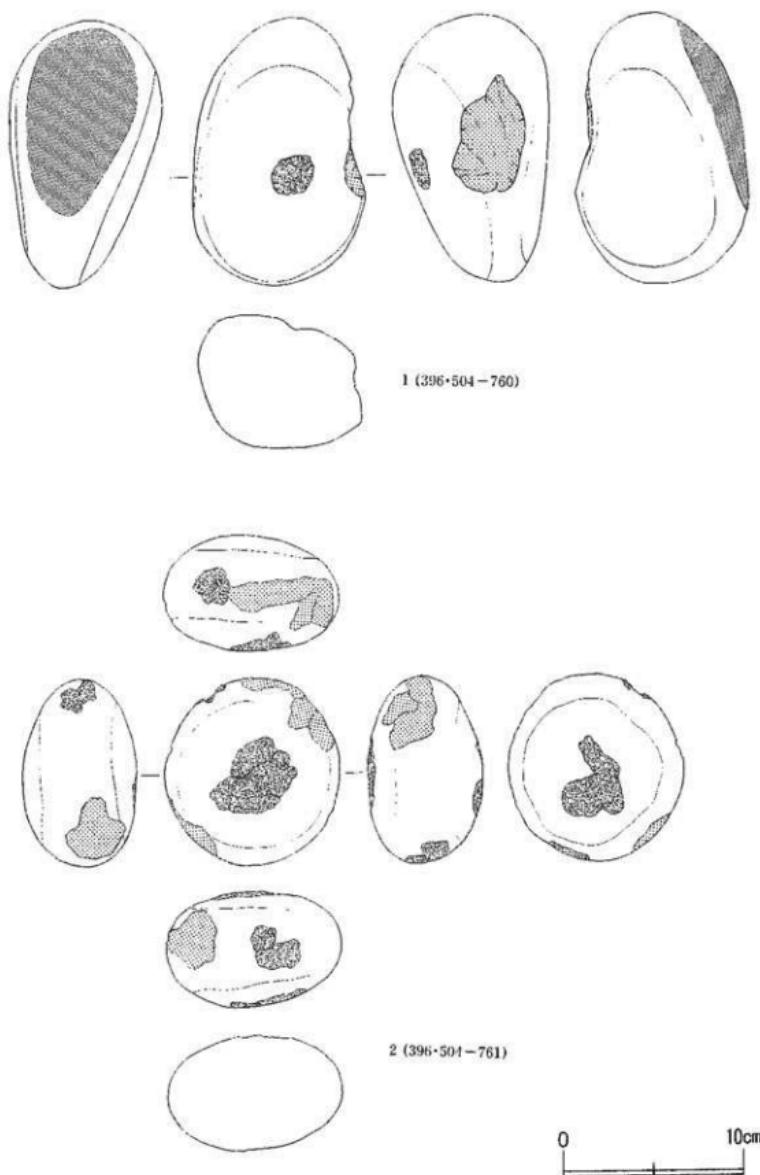




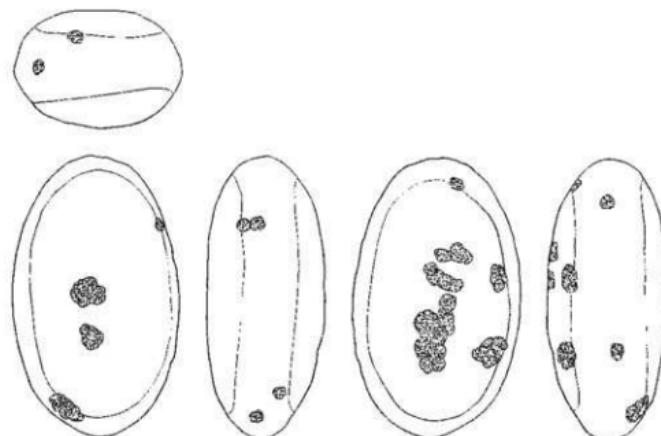
第599図 S T396・504谷Ⅲ層出土石器（3）



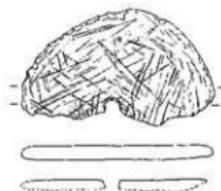
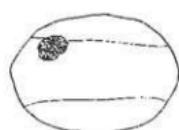
第600図 S T 396・504谷Ⅲ層出土石器 (4)



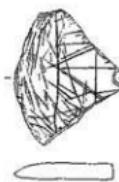
第601図 ST 396・504谷Ⅲ層出土石器（5）



1 (396・504-762)



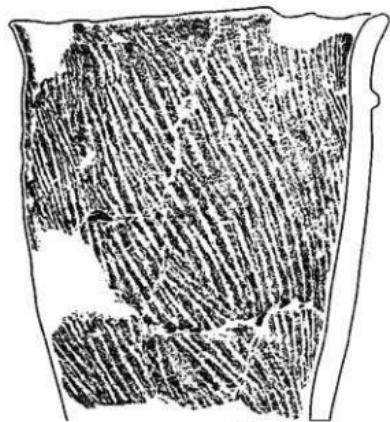
2 (396・504-763)



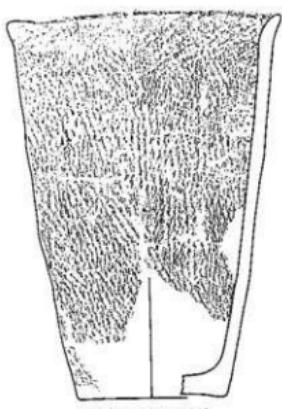
3 (396・504-764)



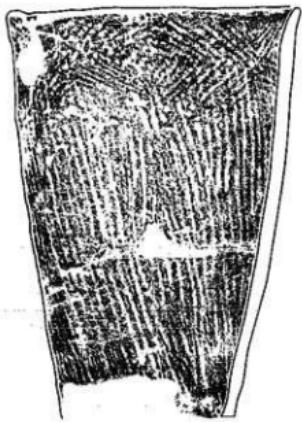
第602図 S T 396・504谷Ⅲ層出土石器 (6)



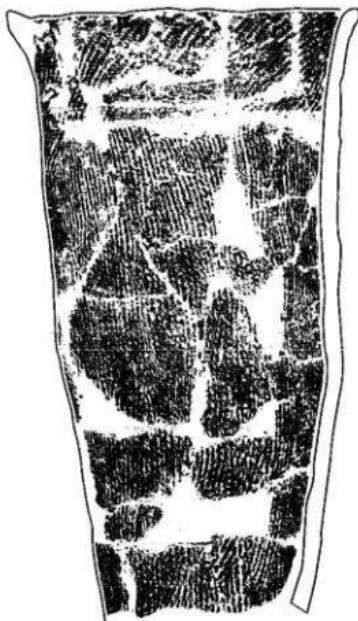
1 (396・504-149)



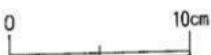
2 (396・504-150)



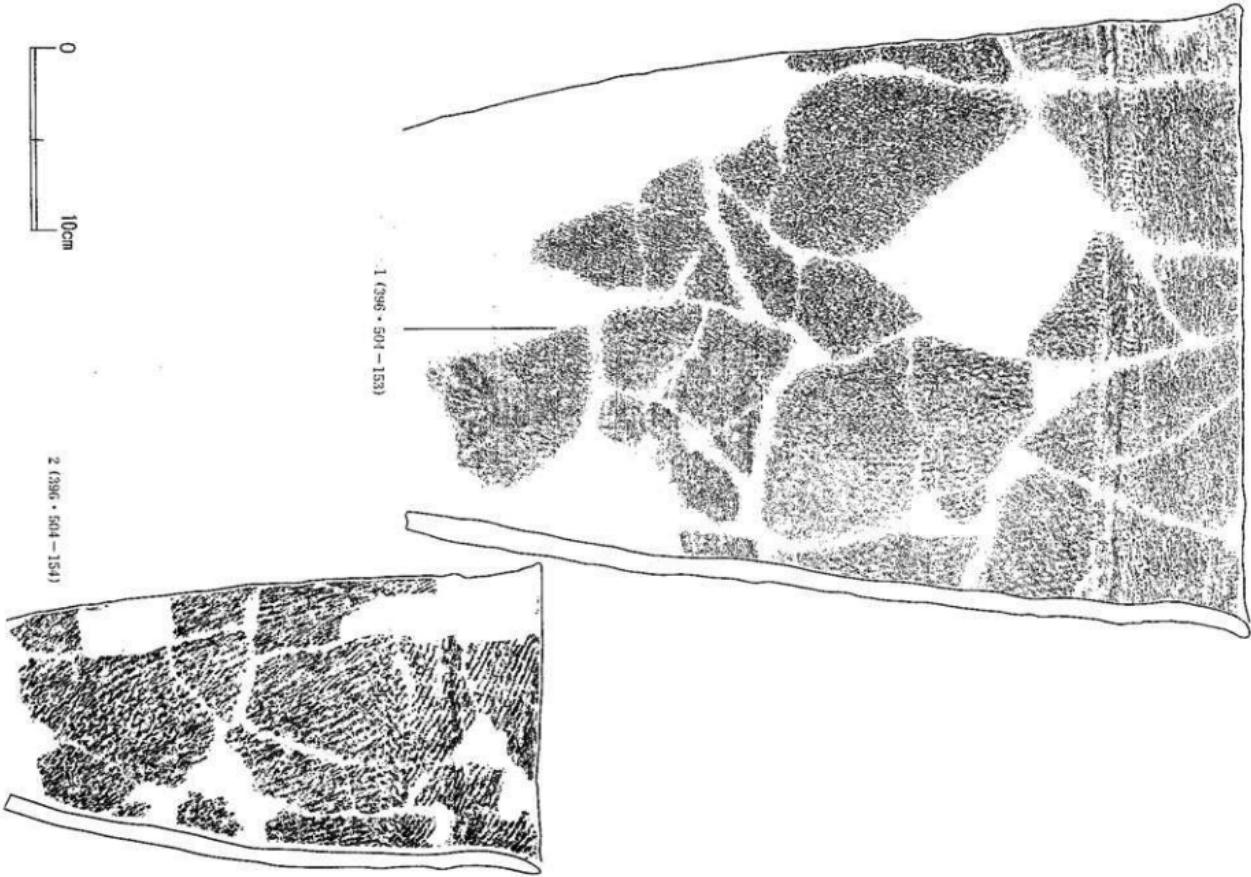
3 (396・504-151)



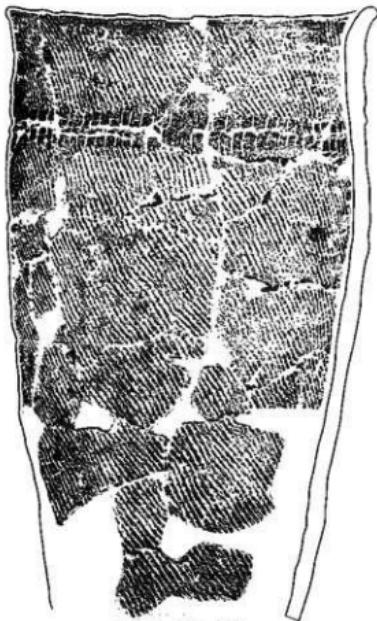
4 (396・504-152)



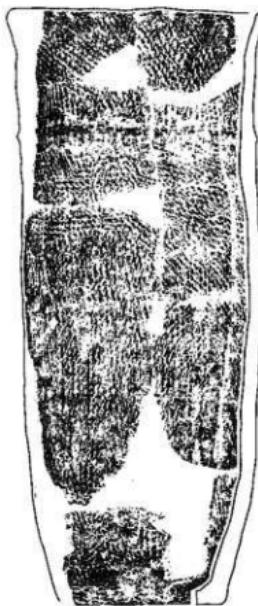
第603図 S T396・504谷N層出土土器 (1)



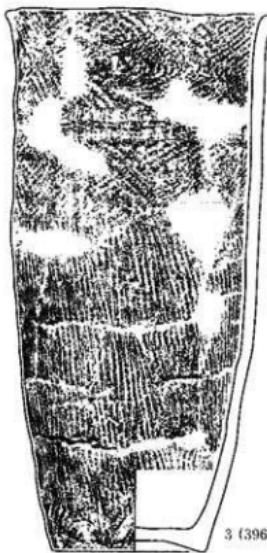
第604図 S.T.396・504層出土土器(2)



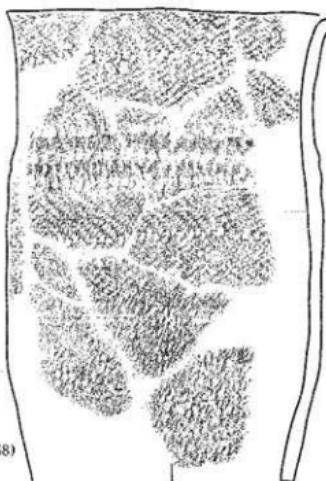
1 (396・504-155)



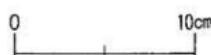
2 (396・504-156)



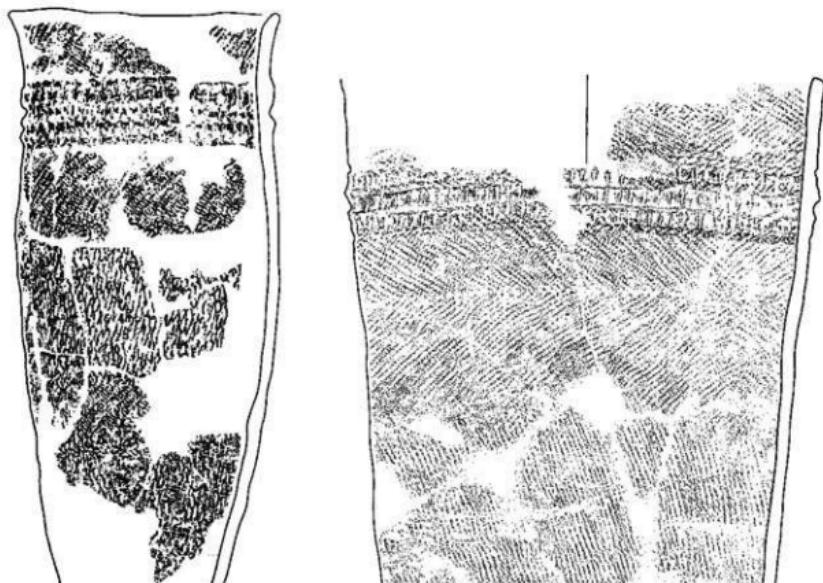
3 (396・504-157)



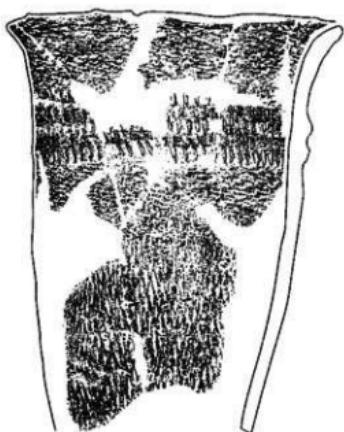
4 (396・504-158)



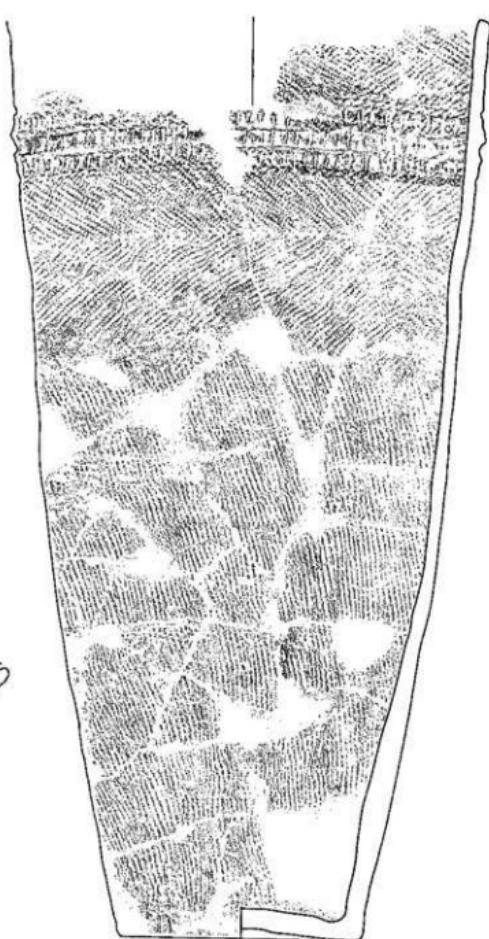
第605図 ST396・504谷IV層出土土器 (3)



1 (396・504-159)



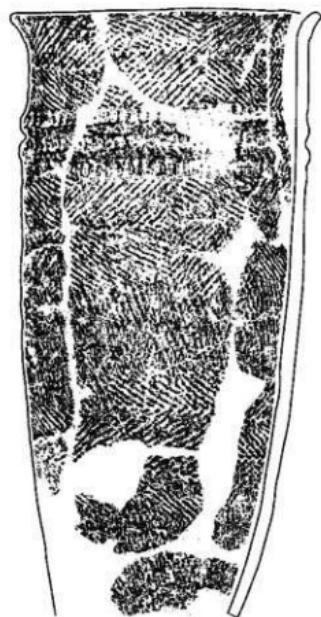
3 (396・504-161)



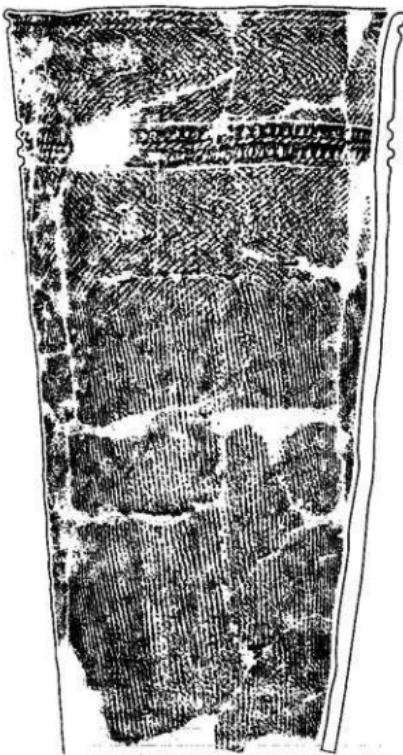
2 (396・504-160)



第606図 S T396・504谷Ⅳ層出土土器 (4)



1 (396・504-162)



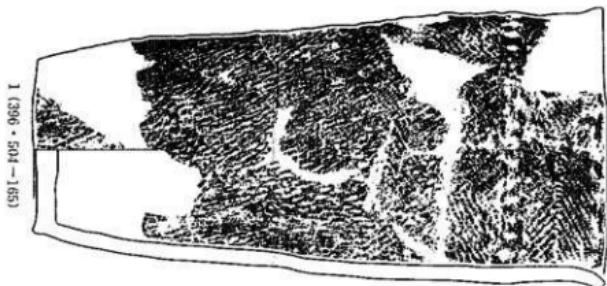
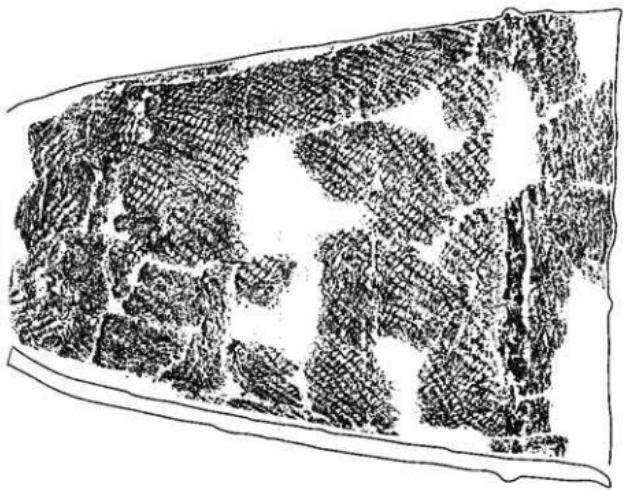
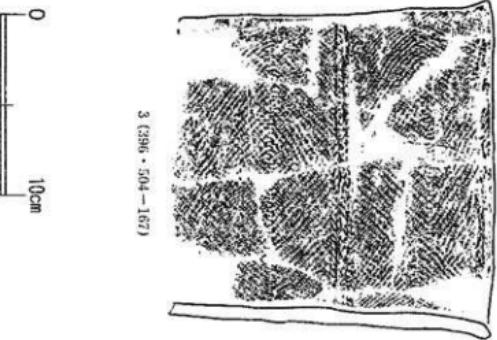
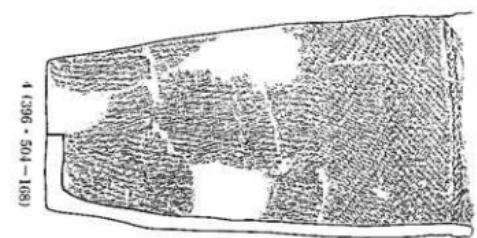
2 (396・504-163)

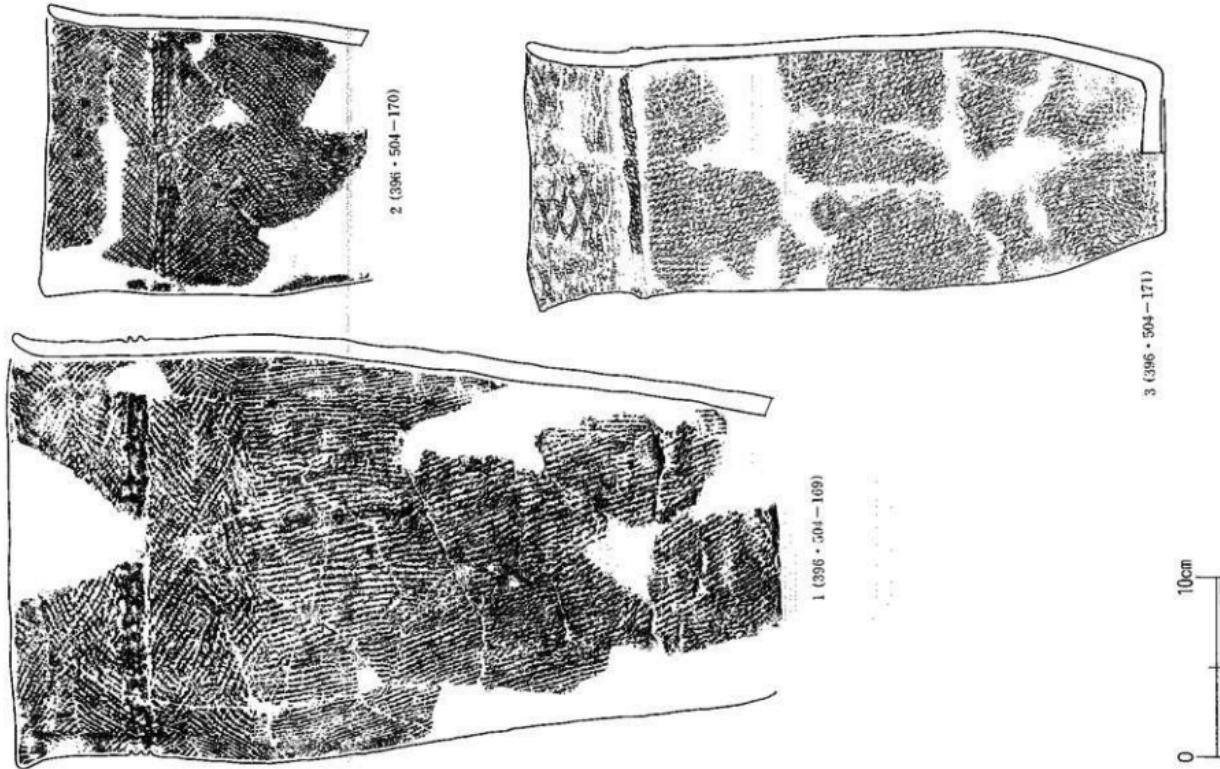


3 (396・504-164)

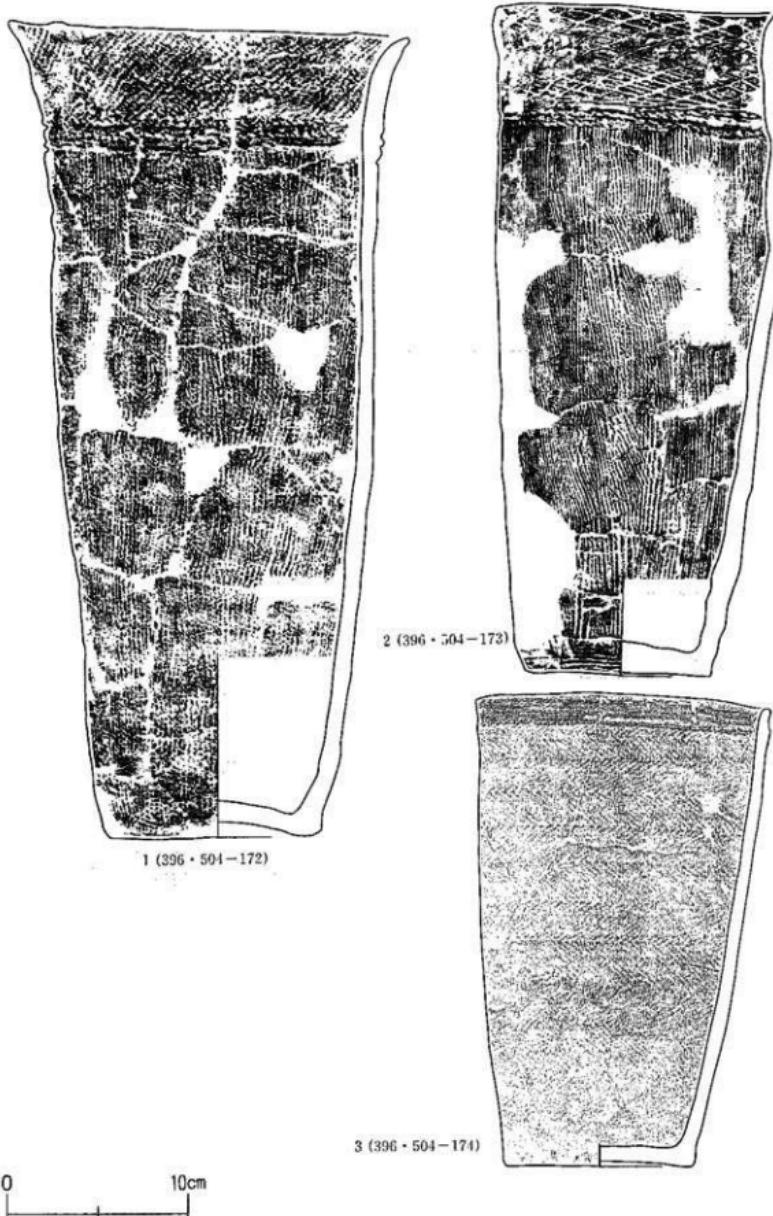


第607図 ST396・504谷Ⅳ層出土土器 (5)

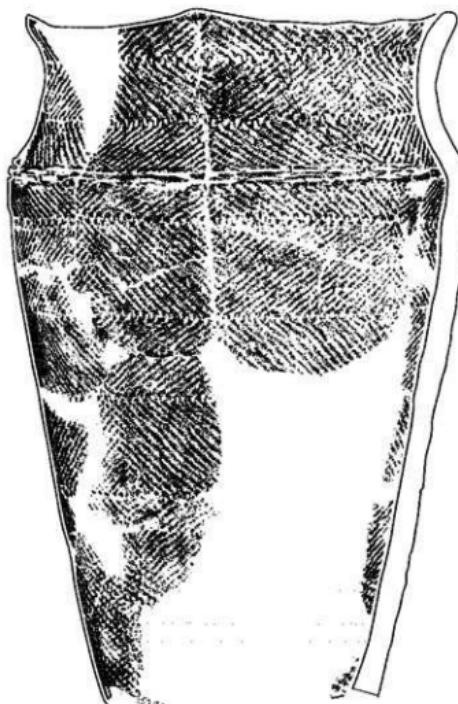




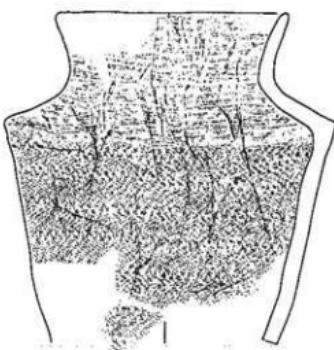
第609図 ST396・504谷N層出土土器 (7)



第610図 S T 396・504谷N層出土土器 (8)



1 (396・504-175)



2 (396・504-176)



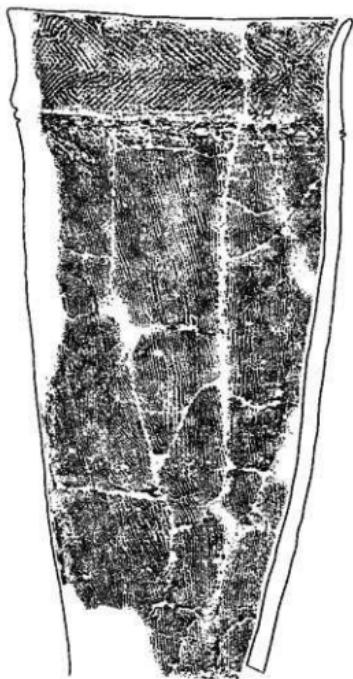
3 (396・504-177)



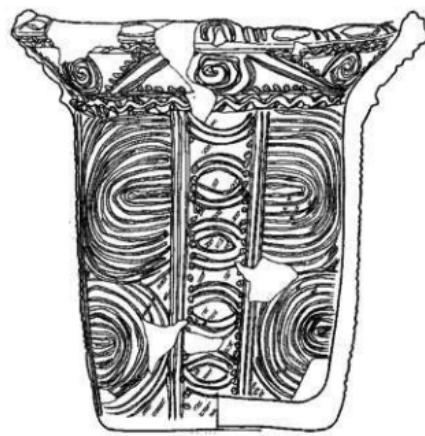
4 (396・504-178)



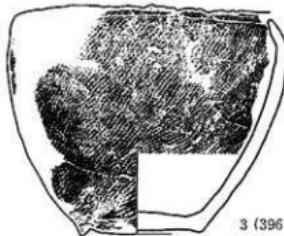
第611図 S T396・504谷IV層出土土器 (9)



1 (396・504-179)



2 (396・504-180)



3 (396・504-181)



第612図 S T396・504谷IV層出土土器 (10)

圖613圖 S T396・504斧形磨出土石器 (1)

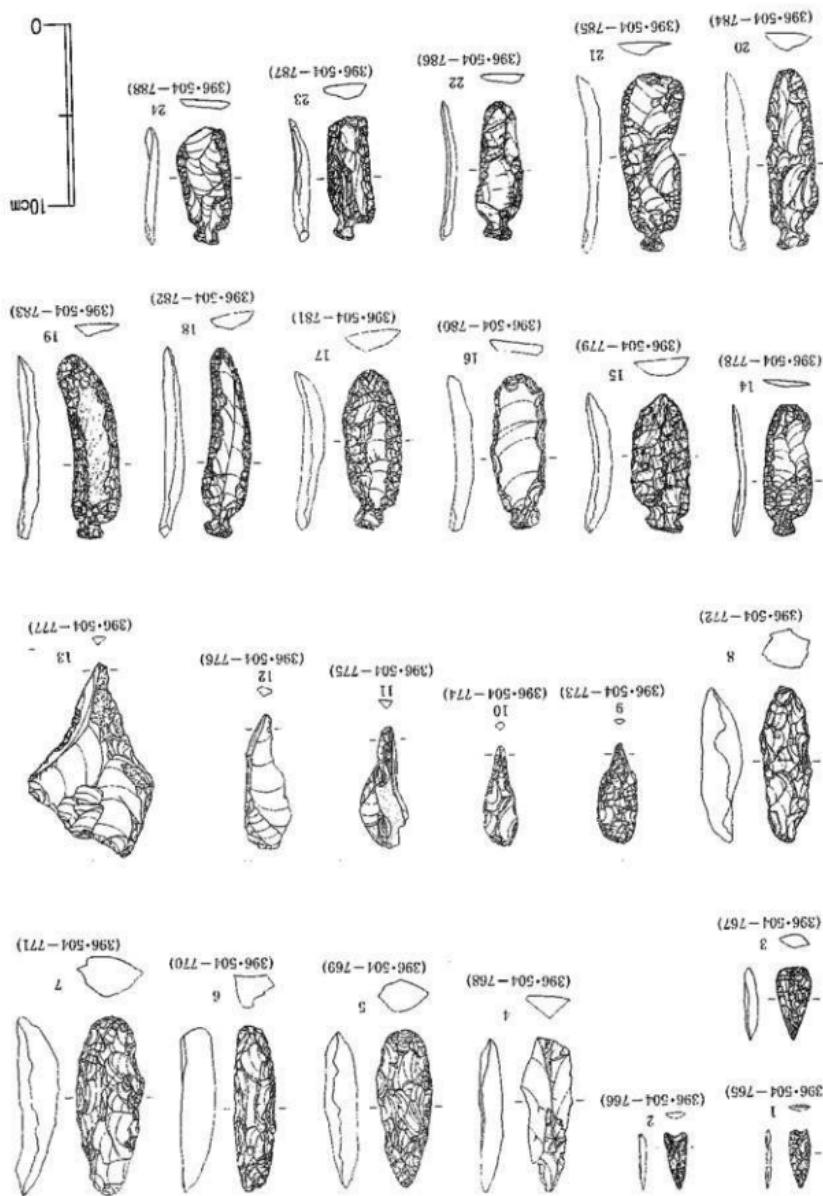
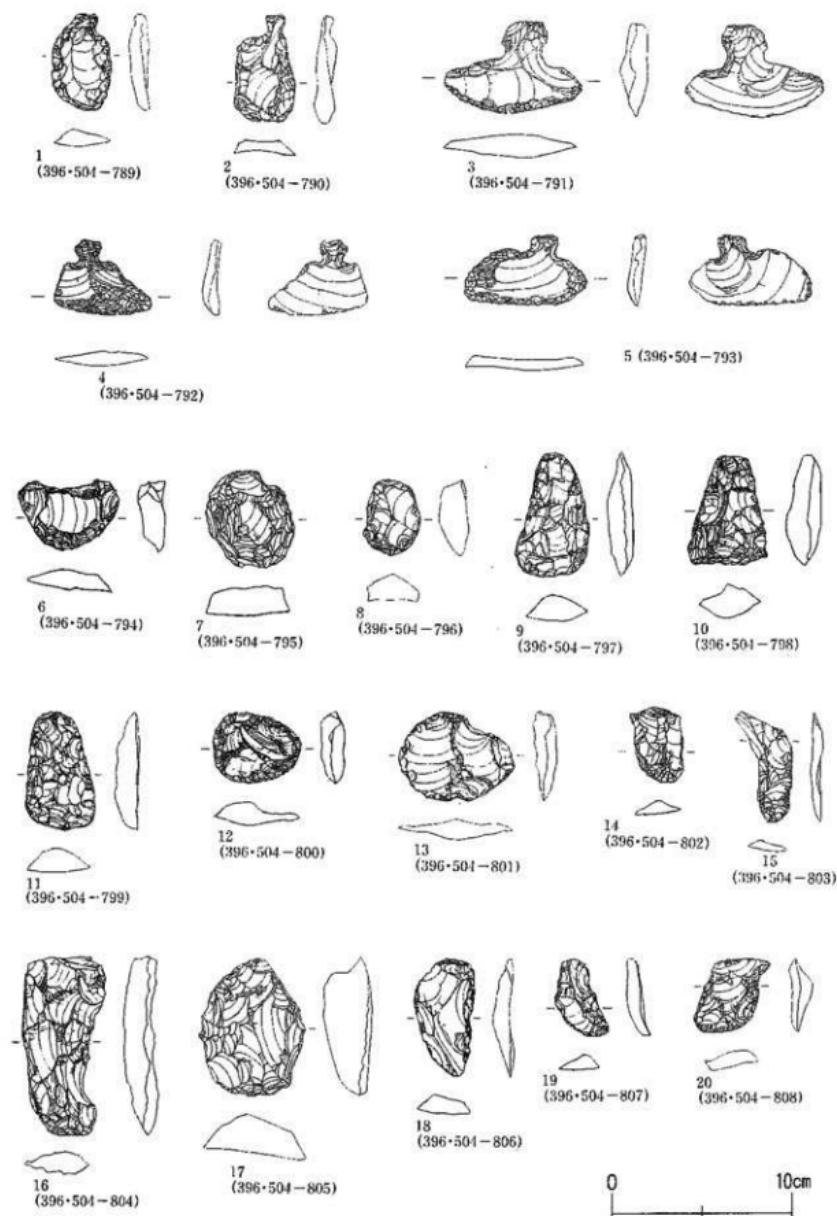
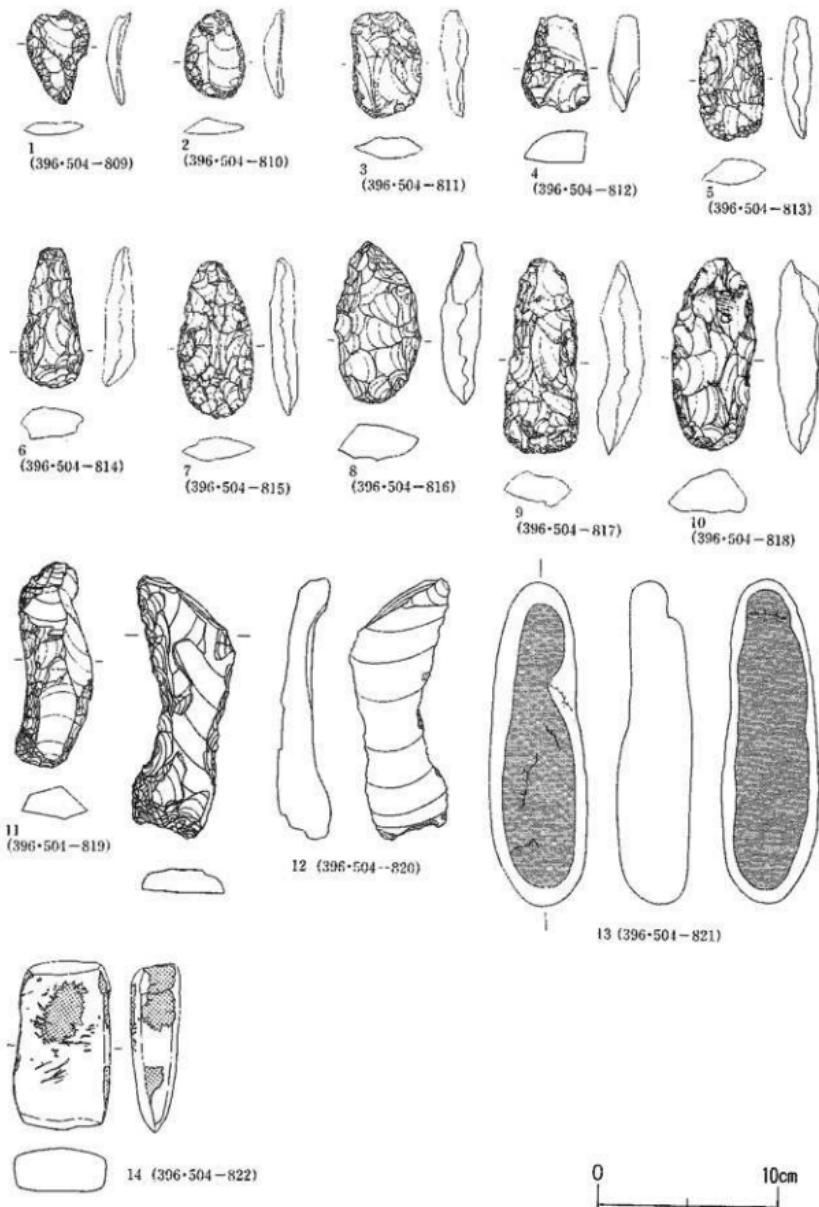


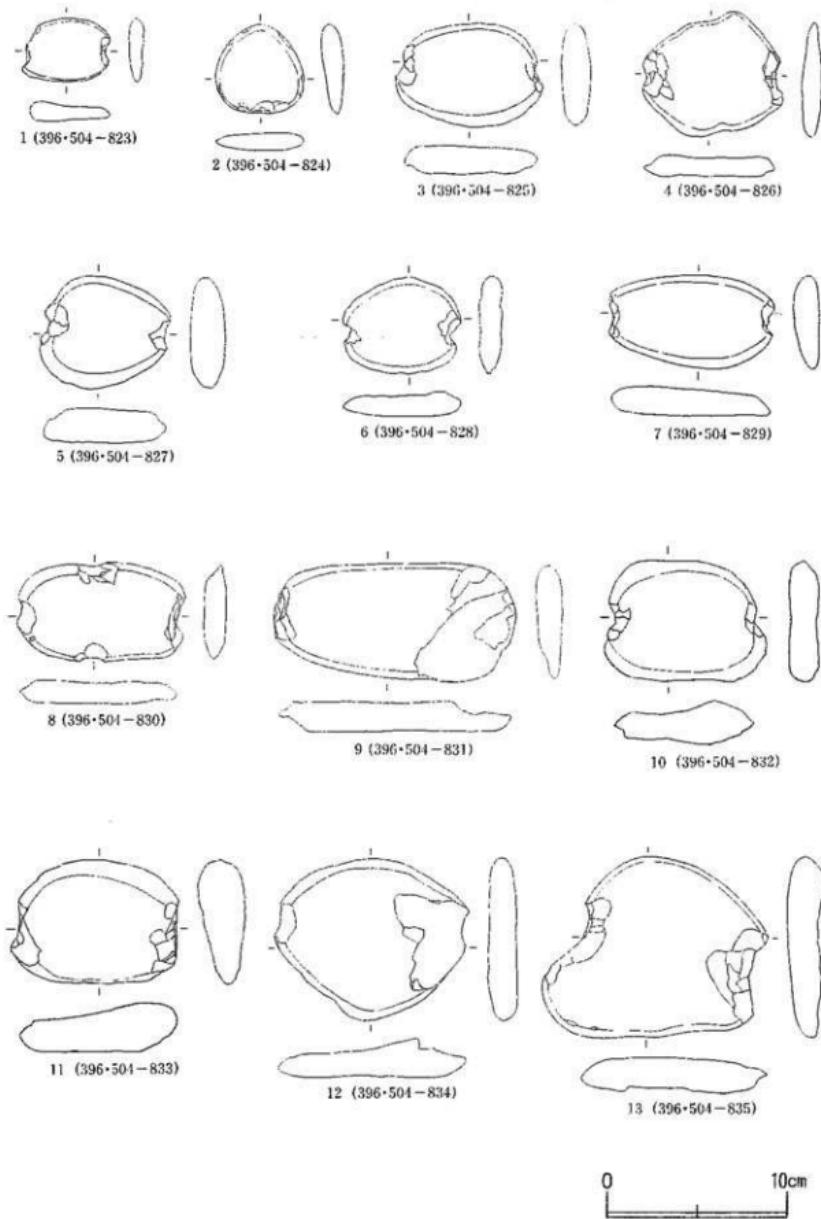
圖5圖 S T396・504斧形磨出土石器



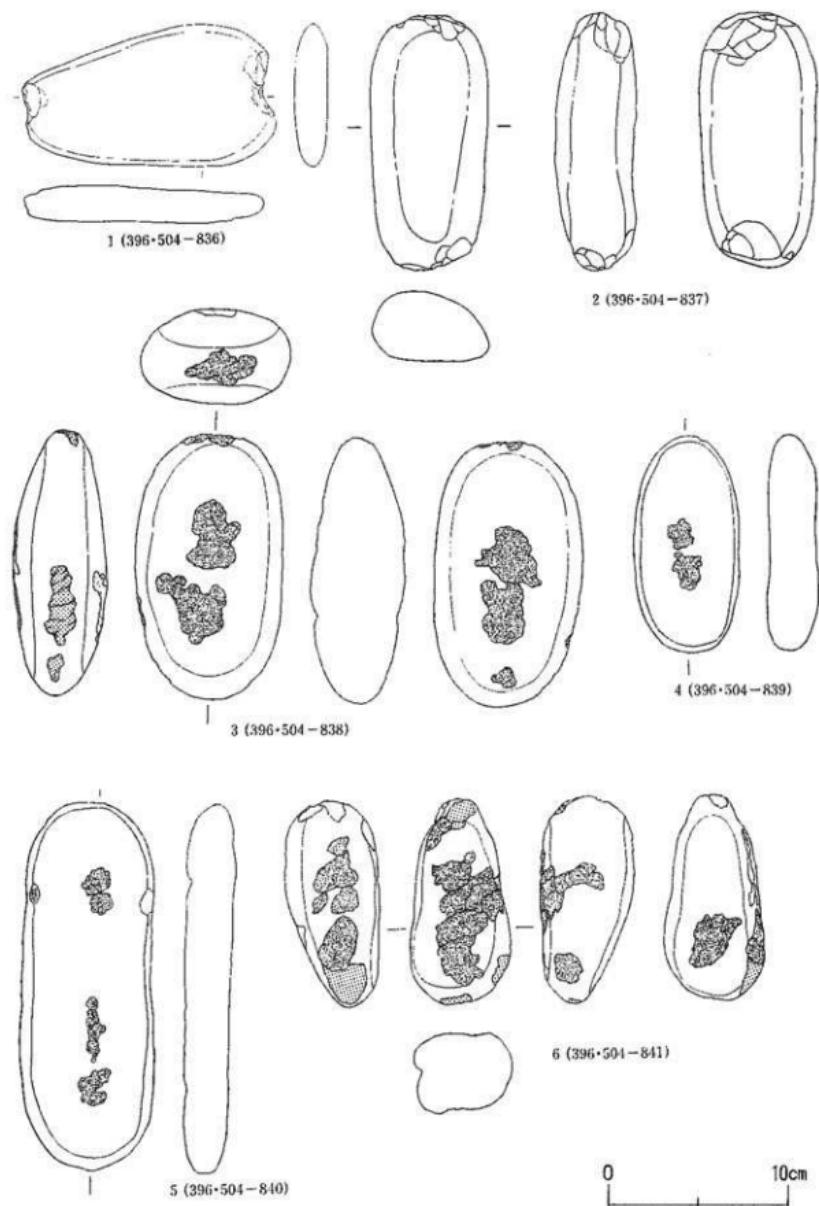
第614図 S T396・504谷N層出土石器 (2)



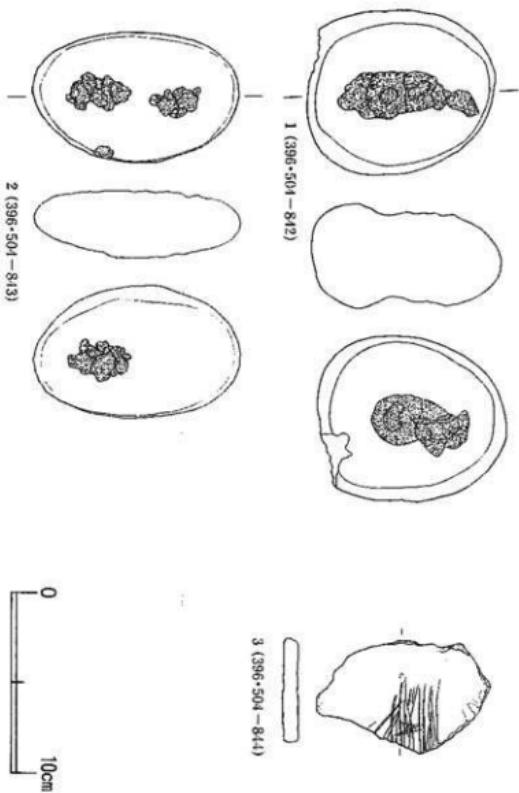
第615図 S T396・504谷N層出土石器（3）



第616図 S T396・504谷N層出土石器 (4)



第617図 ST396・504谷N層出土石器（5）



第619図 S T 396・504谷 N層出土石器（6）

0  
10cm

圖 619 圖 S T396 · 504 号 V 頭出土玉器 (1)

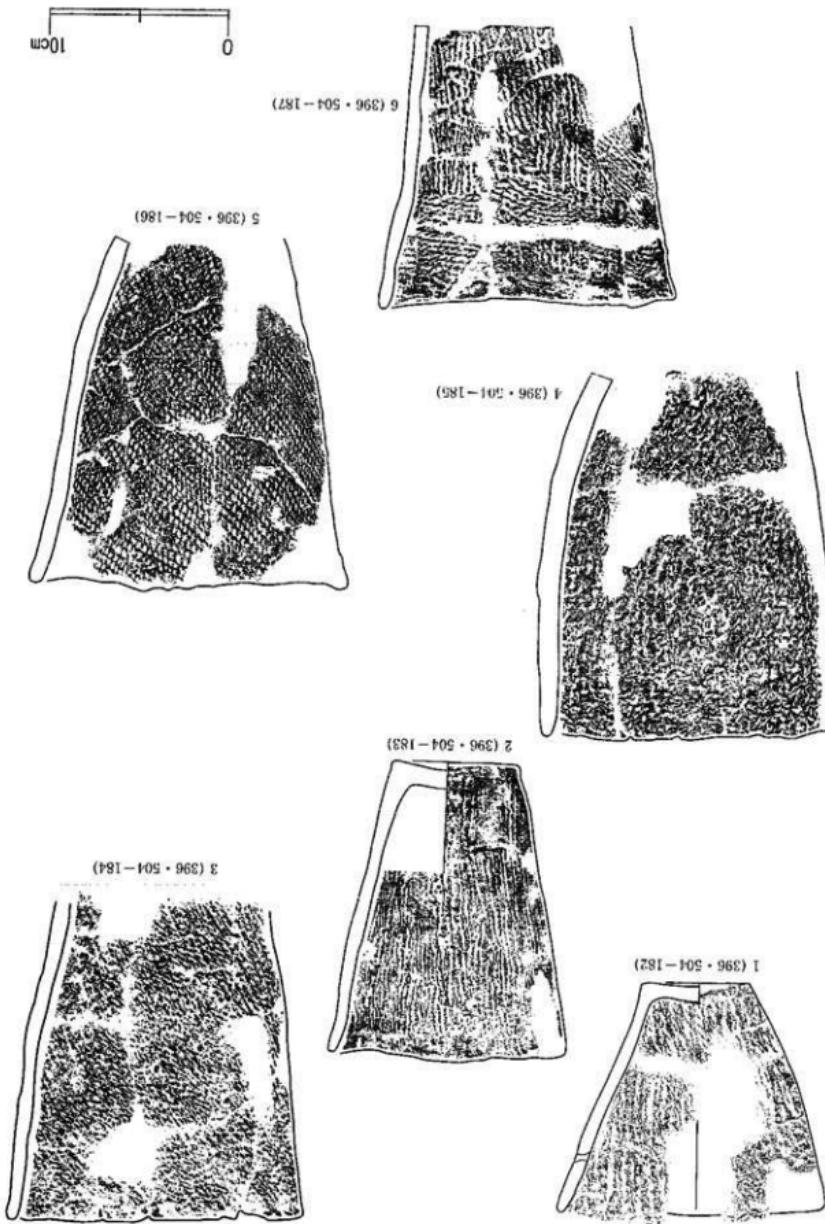
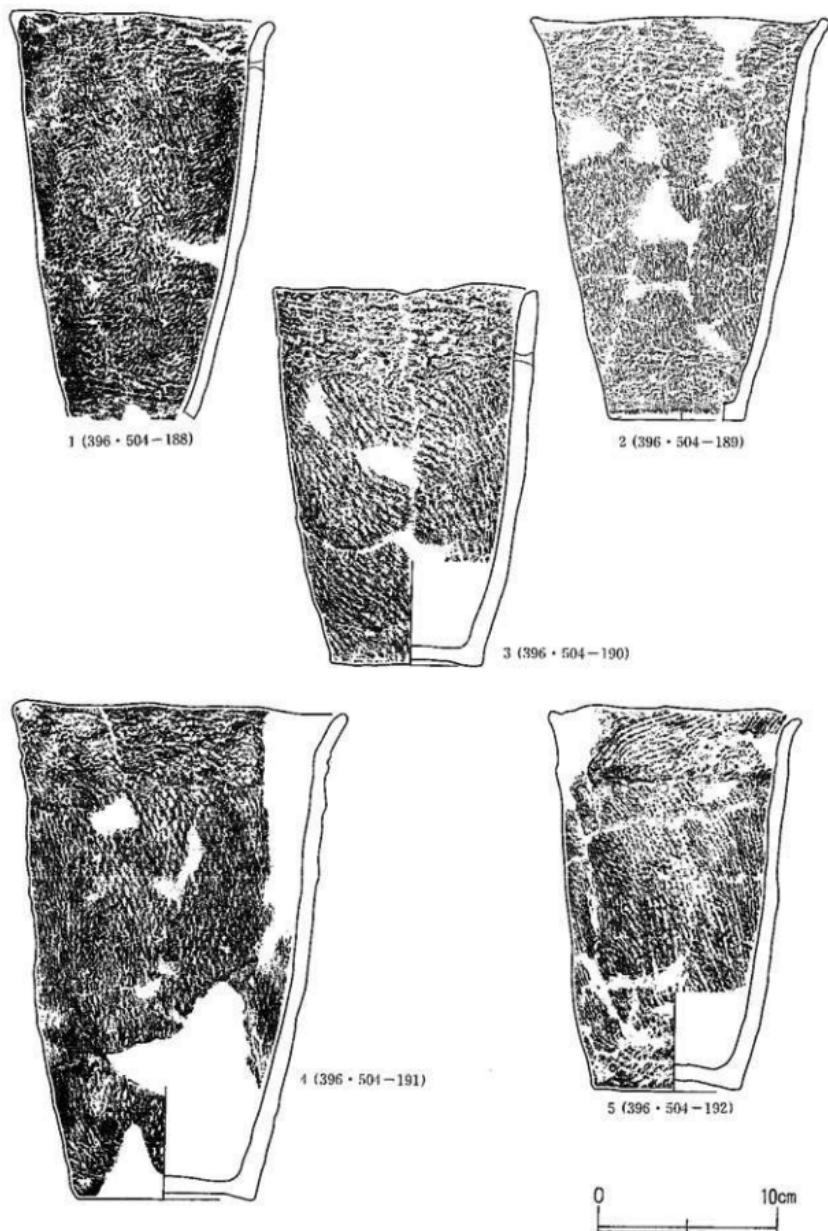
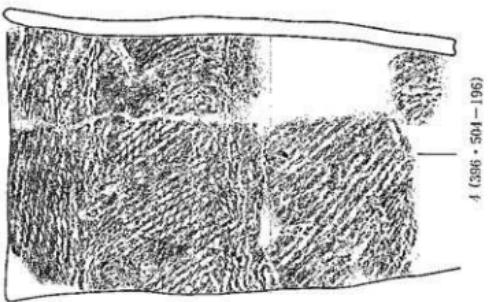
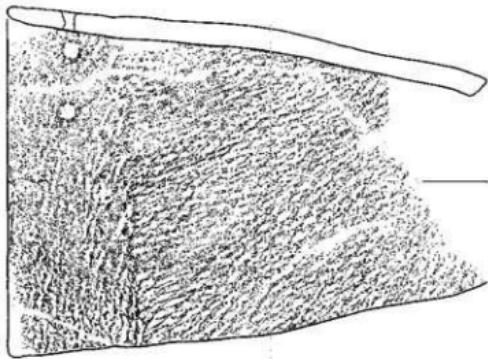
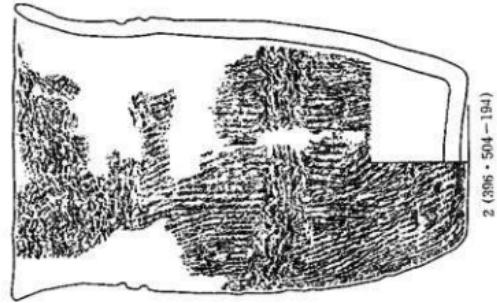
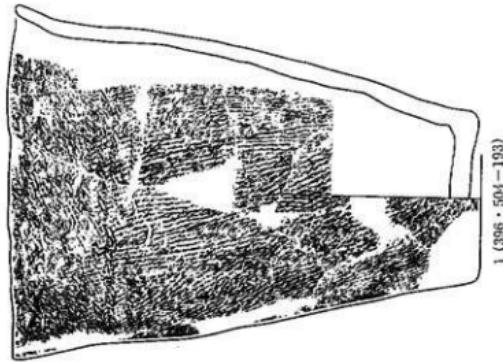


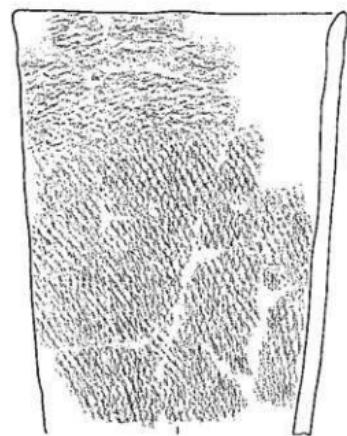
圖 619 圖 S T396 · 504 号 V 頭出土玉器 (2)



第620図 S T396・504谷V層出土土器（2）



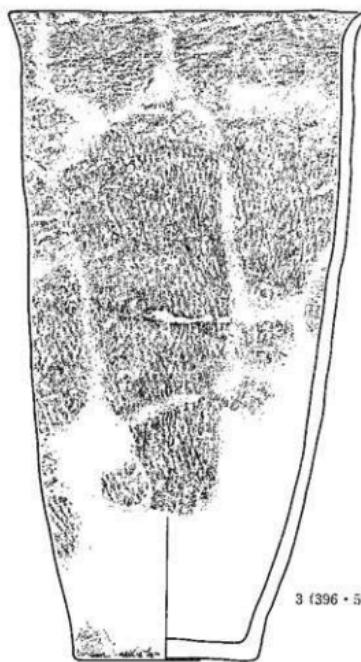
第621図 ST396・504谷V層出土土器（3）



1 (396・504-197)



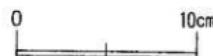
2 (396・504-198)



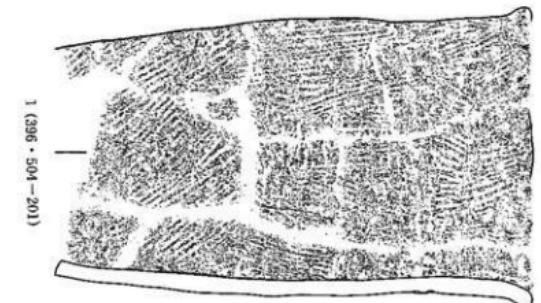
3 (396・504-199)



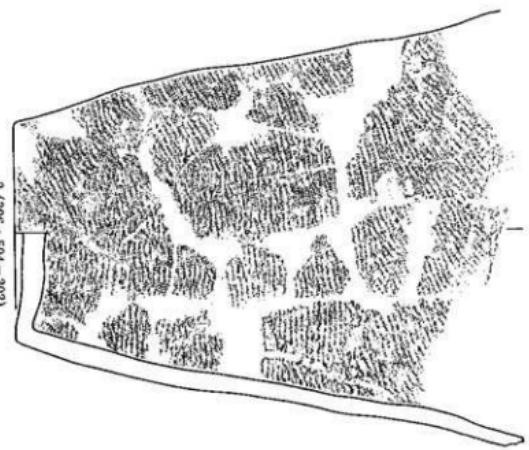
4 (396・504-200)



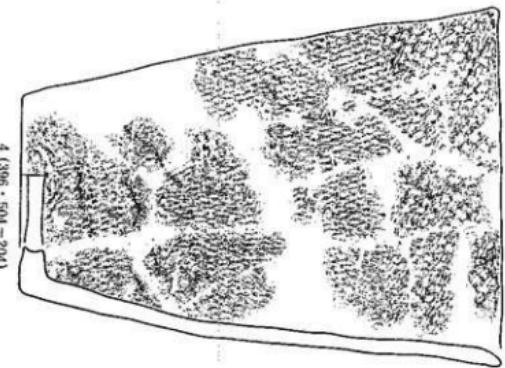
第622図 S T396・504谷V層出土土器 (4)



1 (396・504-201)



2 (396・504-202)

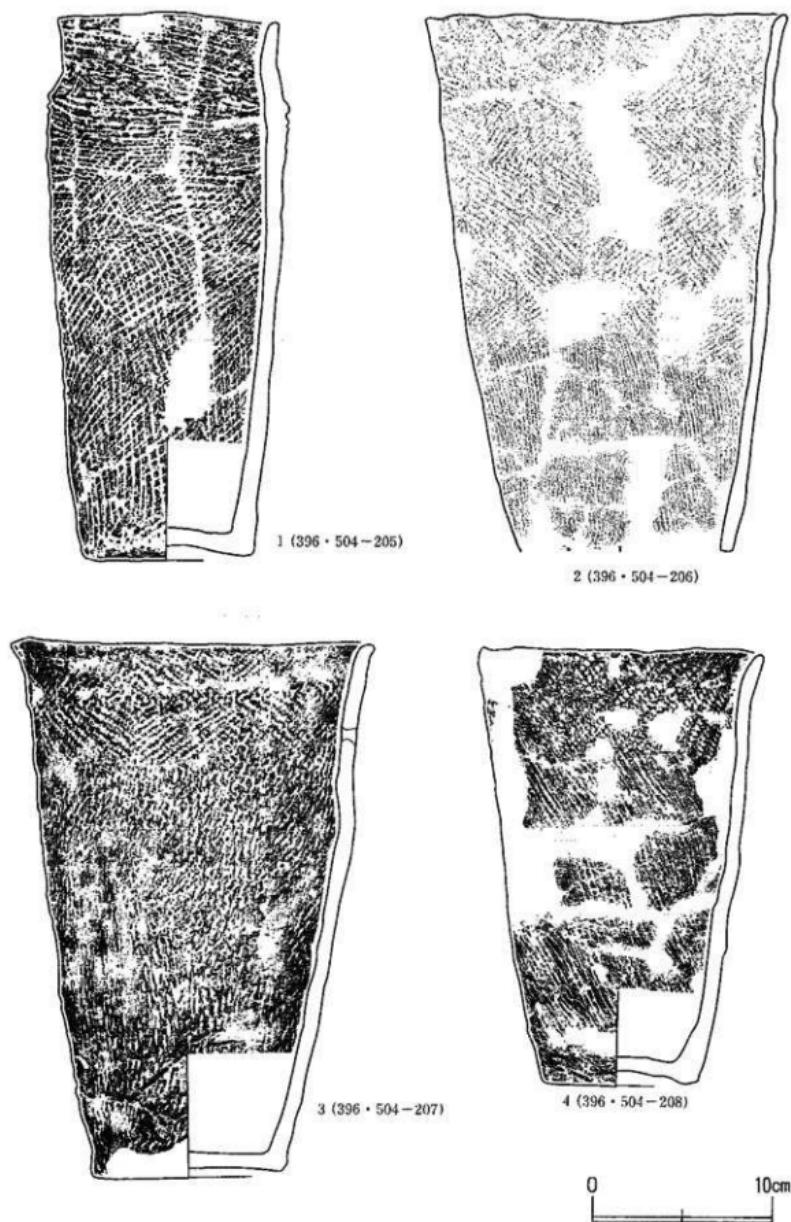


4 (396・504-204)

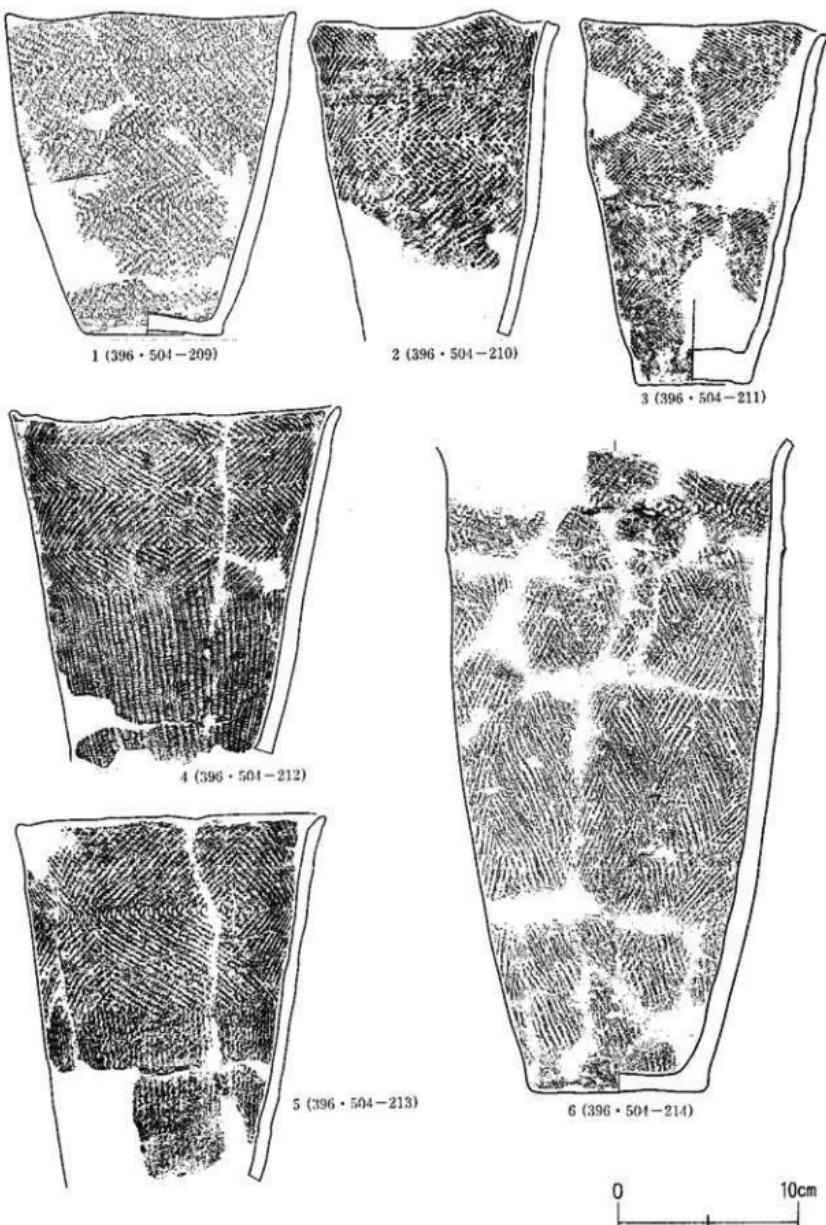


10cm

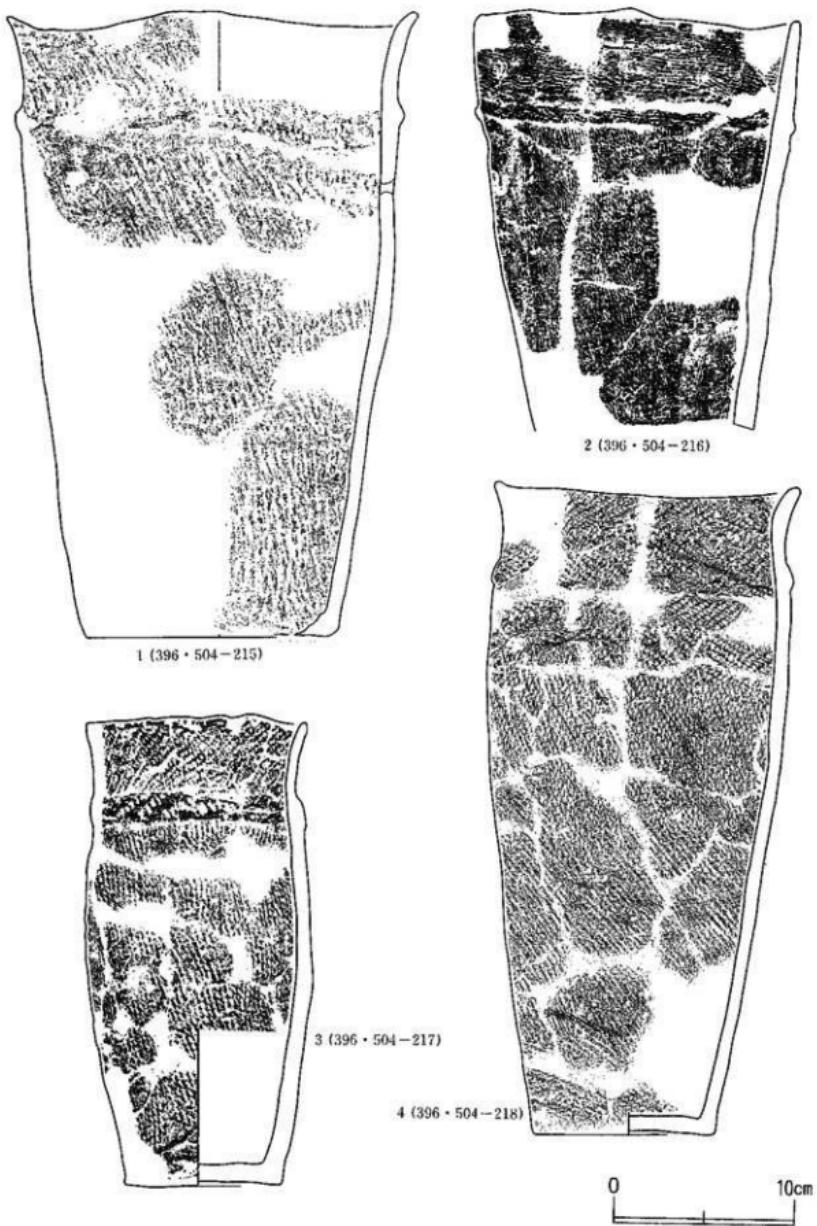
図623 S T 396・504谷V層出土土器 (5)



第624図 S T396・504谷V層出土土器（6）



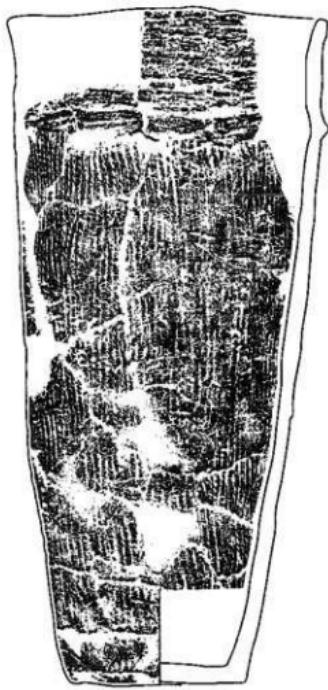
第625図 S T396・504谷V層出土土器（7）



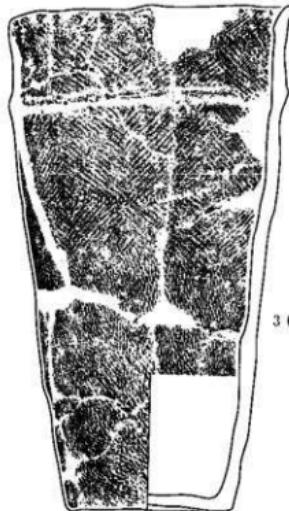
第626図 S T 396・504谷V層出土土器 (8)



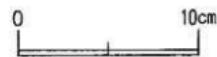
1 (396・504-219)



2 (396・504-220)

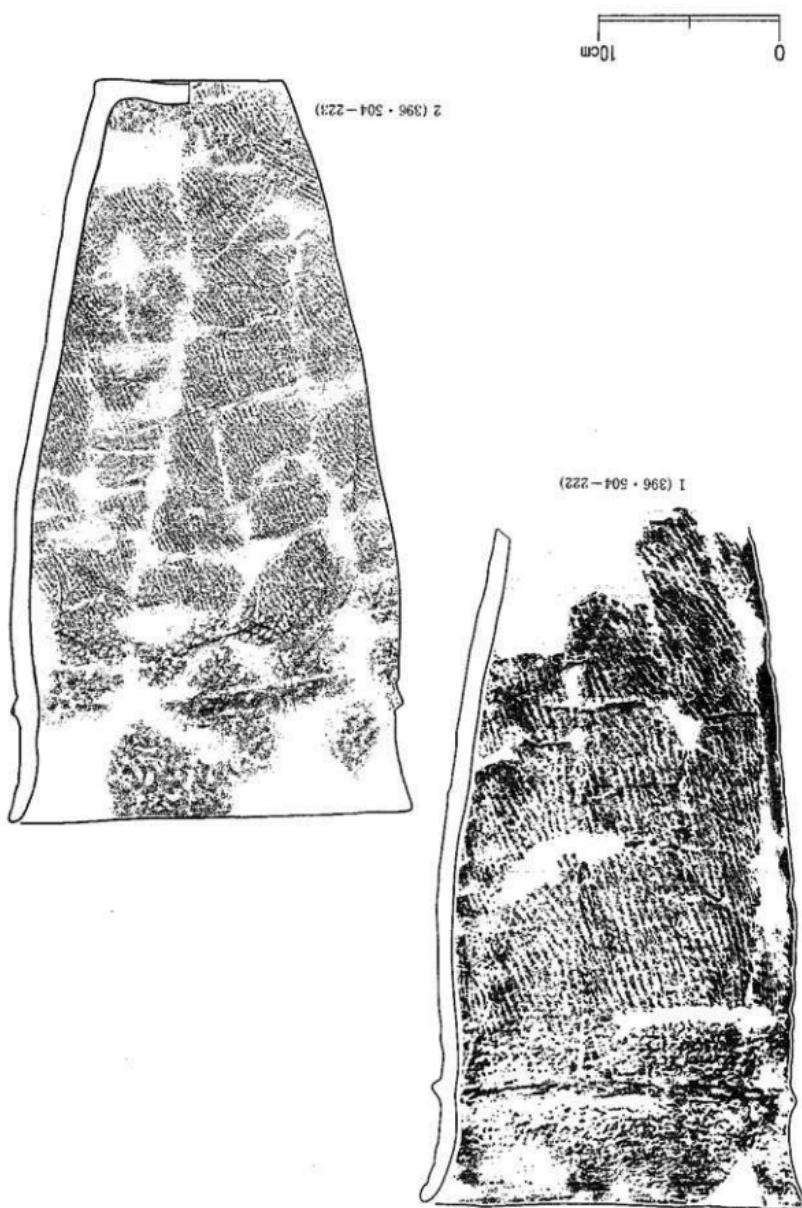


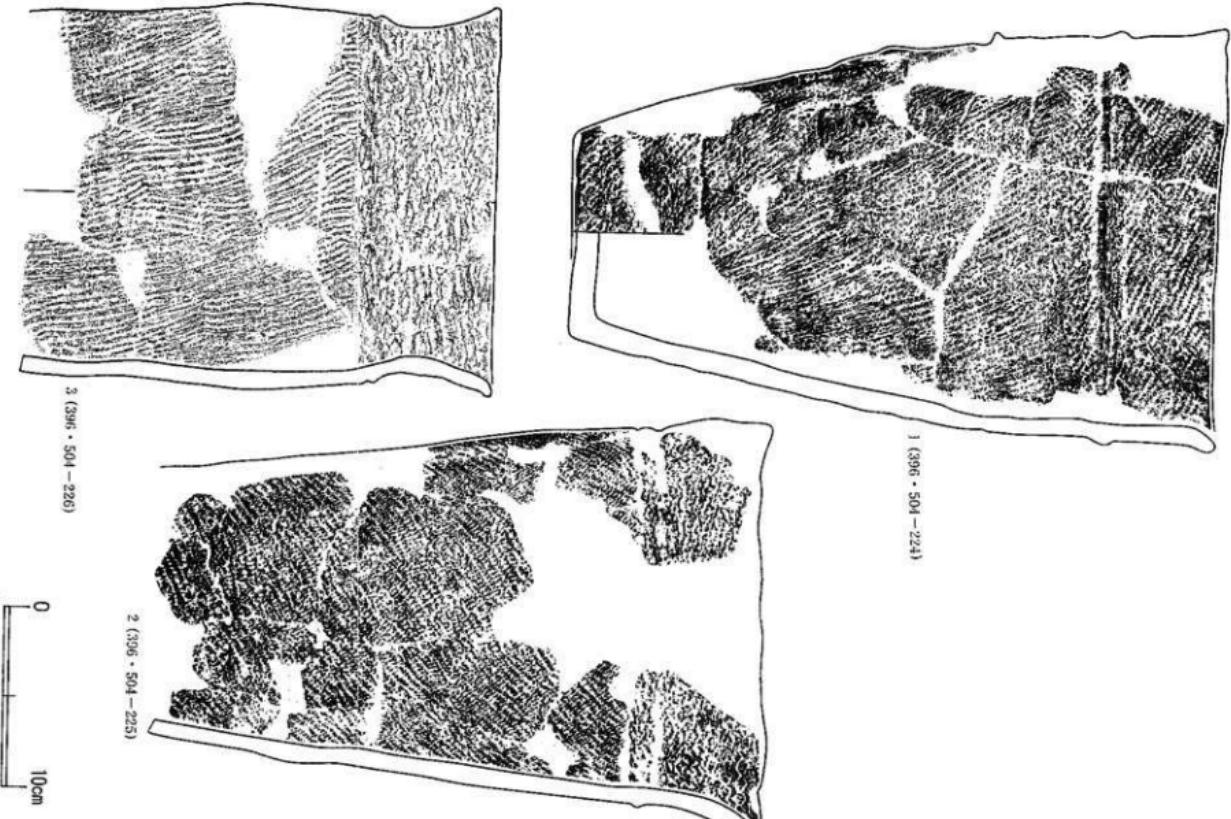
3 (396・504-221)



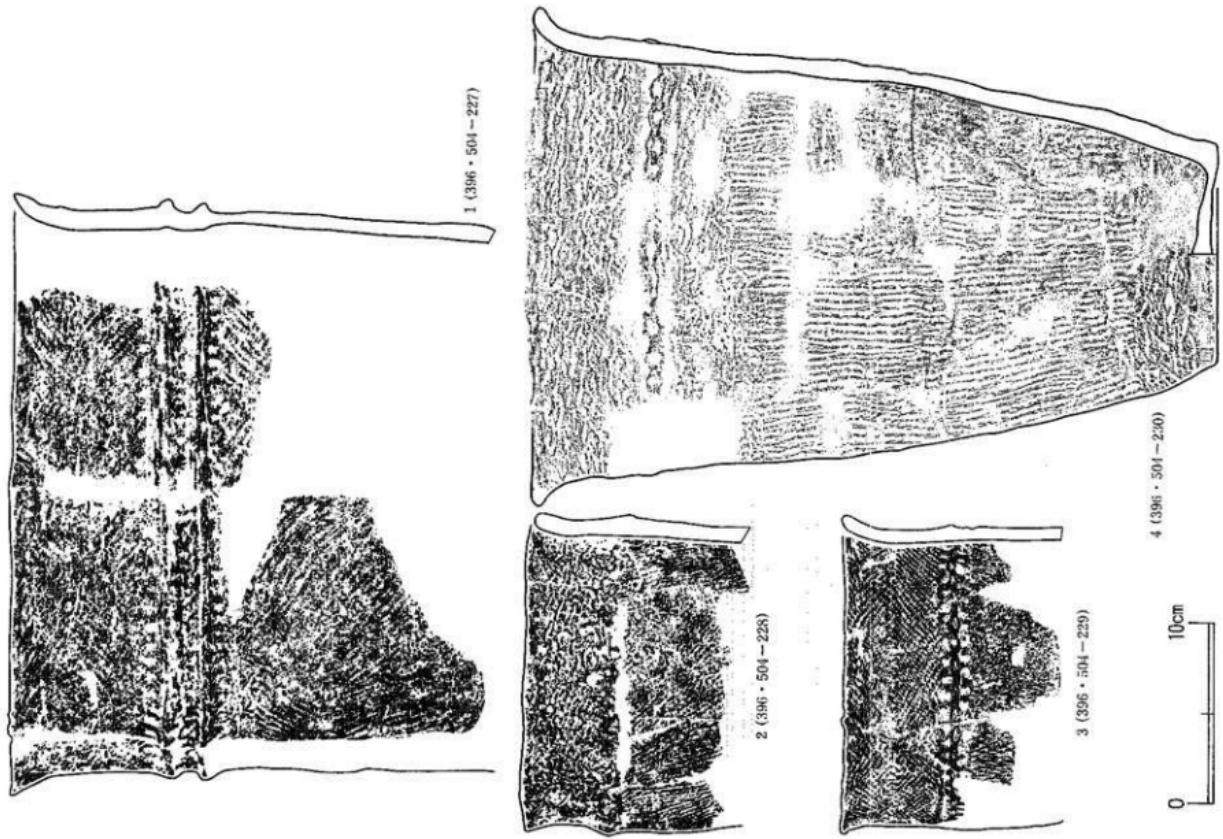
第627図 S T396・504谷V層出土土器 (9)

圖628 S T396・504号V型出土土器 (10)





第5節 S.T.396・504谷V層出土土器 (1)



第630図 S T 396・504谷V型出土土器 (12)

圖631 圖 ST396・504各V器出土土器 (13)

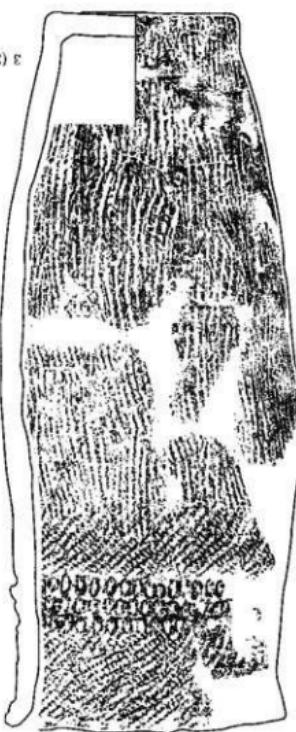
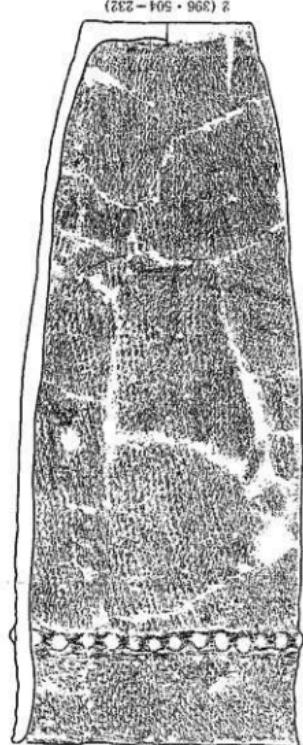


圖5 圖 ST396・504各V器出土土器

圖622 圖 S T396 • 504各V層出土土器 (14)

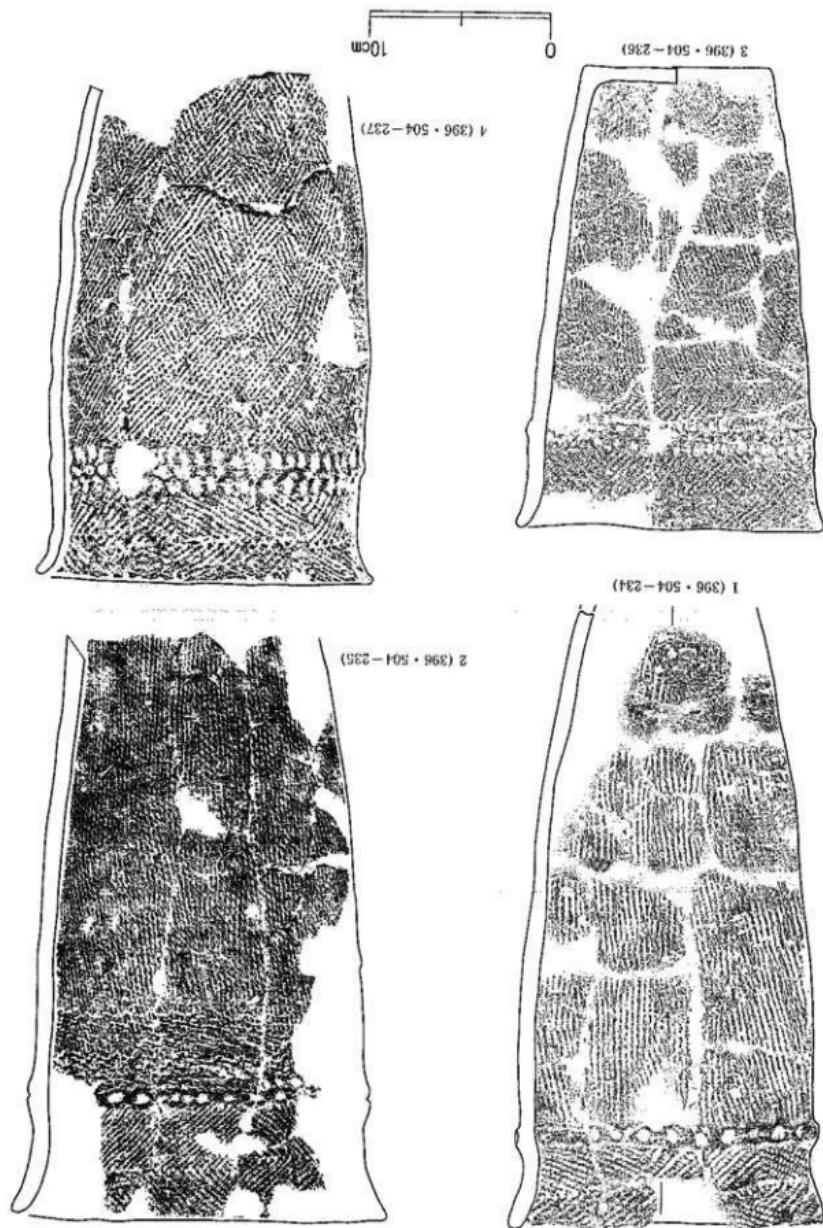


圖533 圖 S T396 • 504号 V層出土土器 (15)

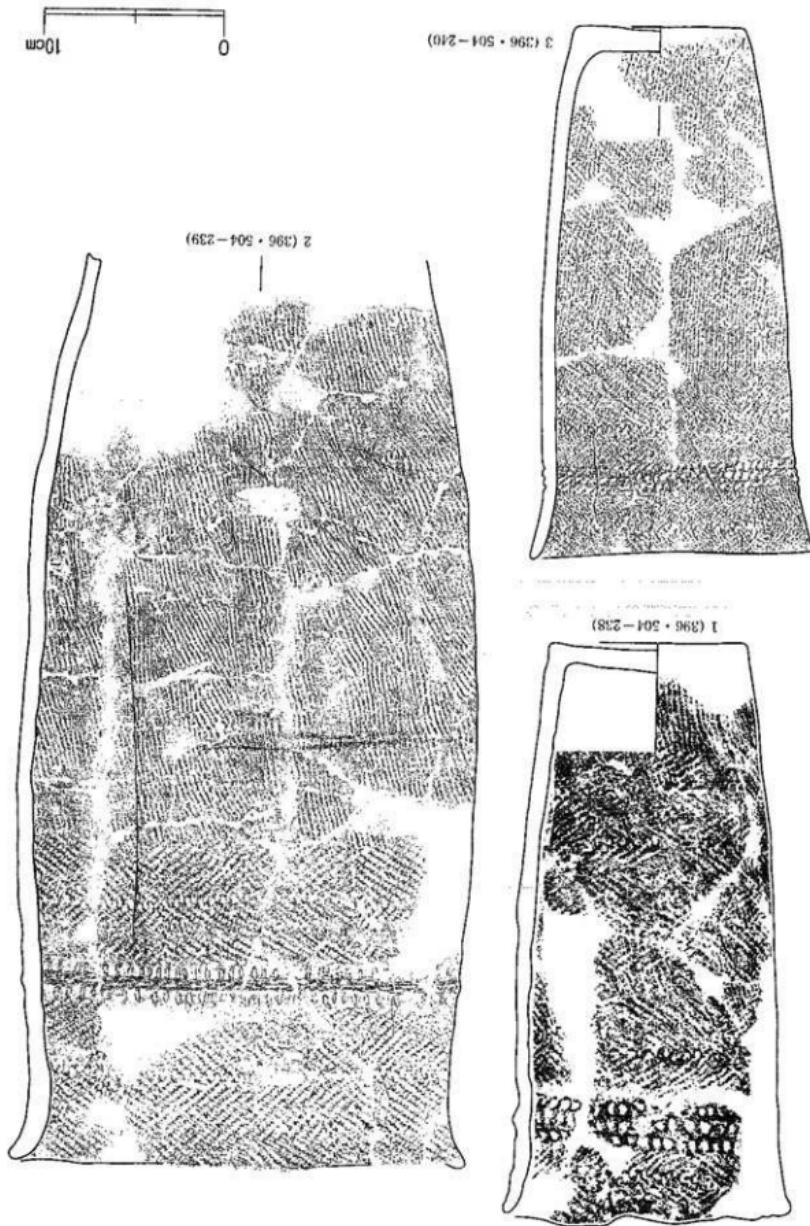
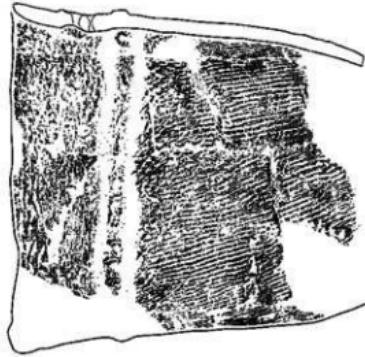
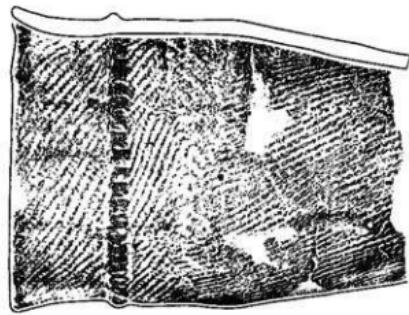


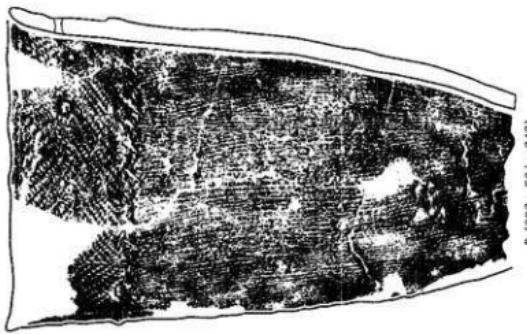
圖533 圖 S T396 • 504号 V層出土土器 (15)



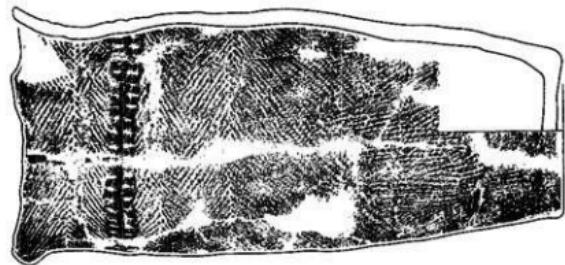
1 (396・504-241)



2 (396・504-242)



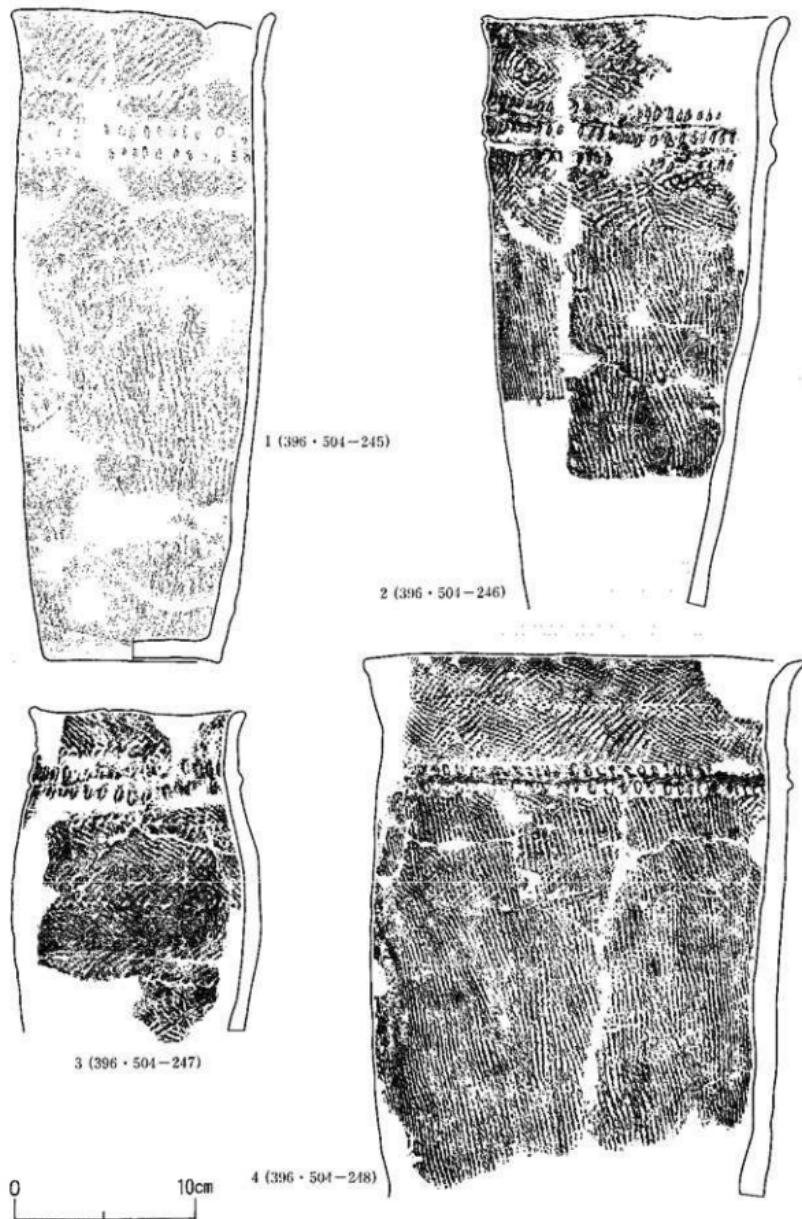
3 (396・504-243)



4 (396・504-244)

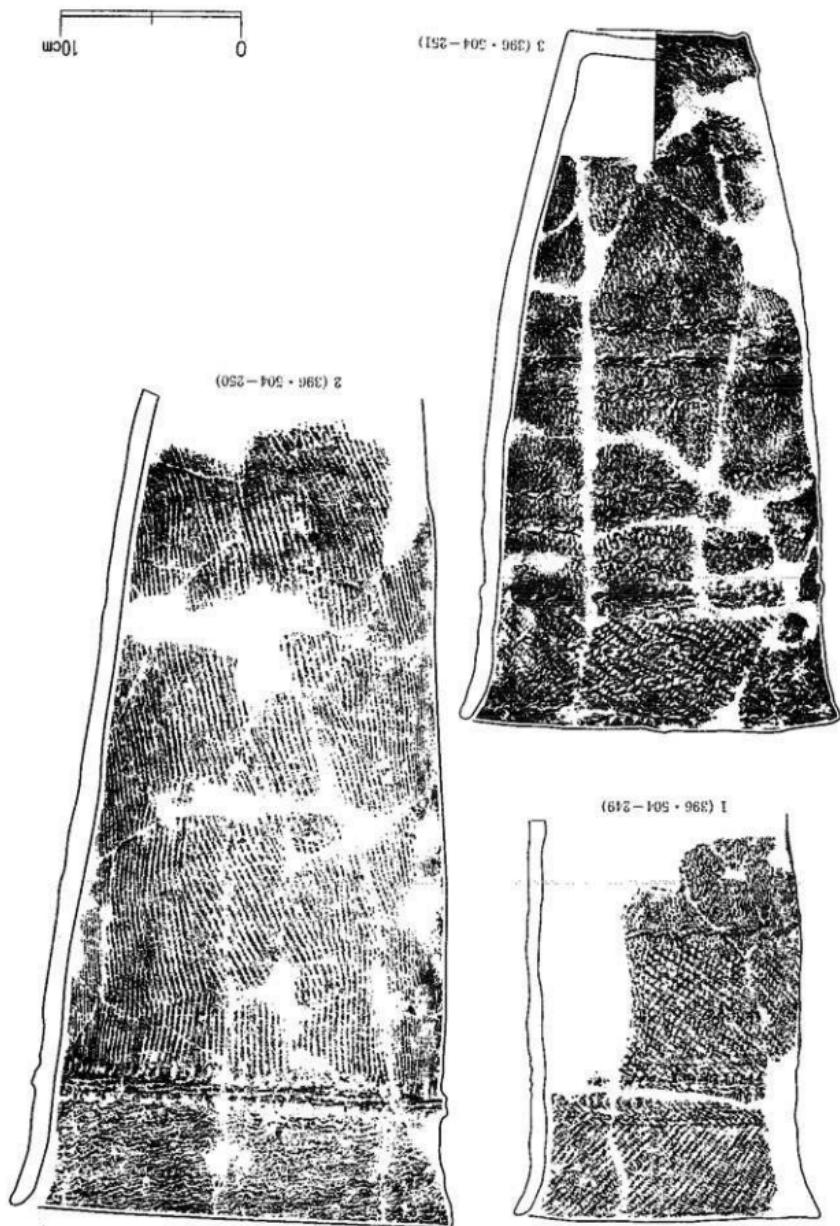
0 10cm

第634図 S T396・504谷V層出土土器 (16)



第635図 S T396・504谷V層出土土器 (17)

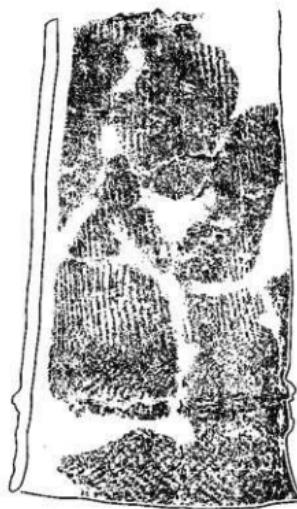
第636圖 S T396・504号V型出土土器 (18)



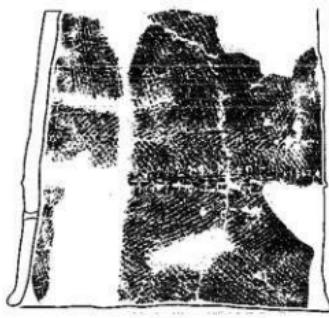
第637圖 ST396・504含V層出土土器 (19)



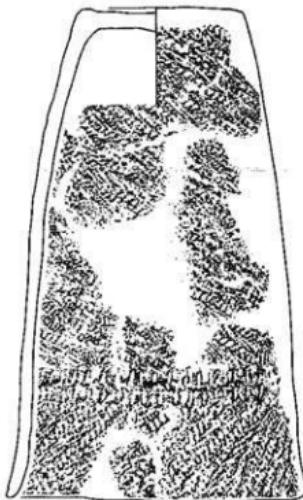
3 (396・504-254)



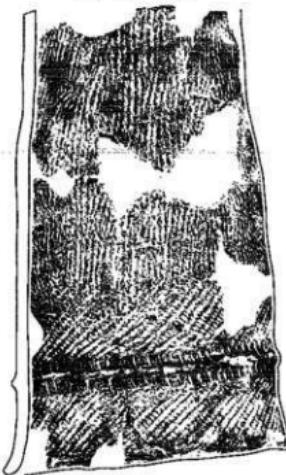
4 (396・504-255)

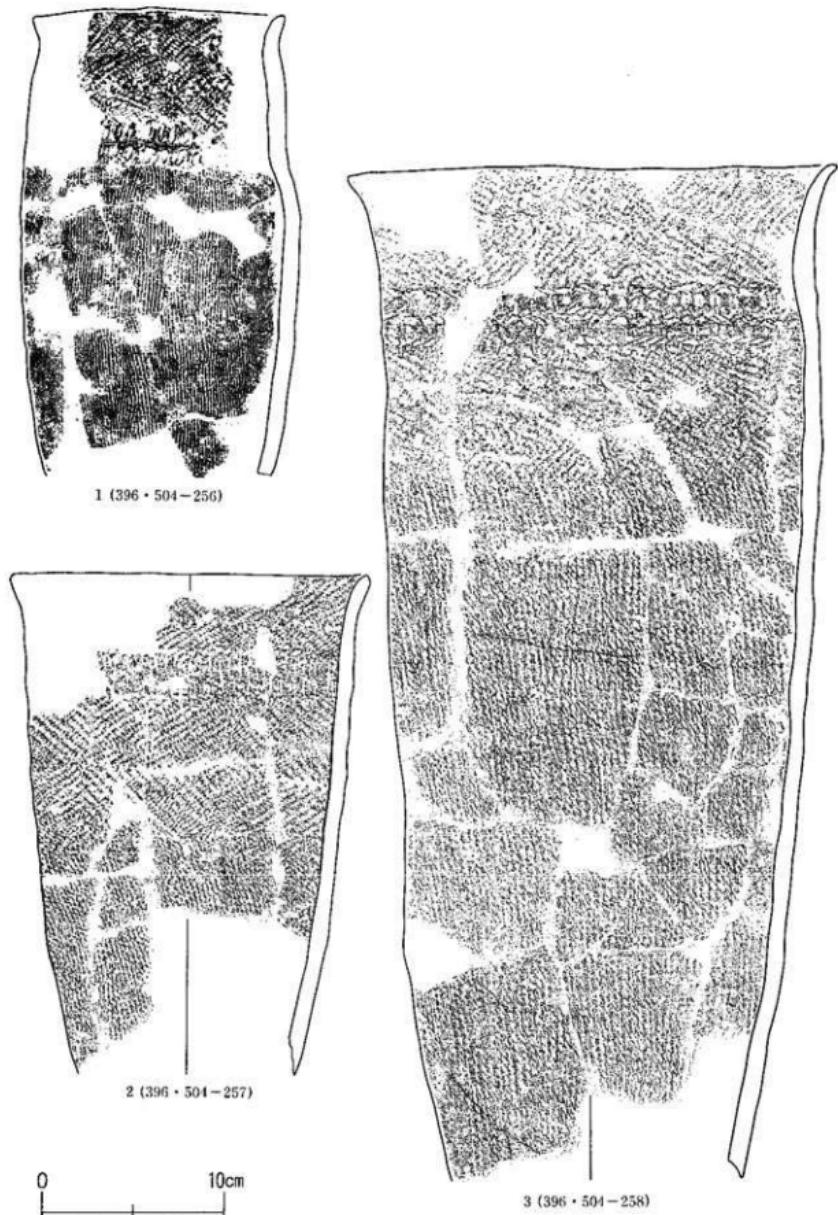


1 (396・504-252)



2 (396・504-253)





第638図 S T 396・504谷 V層出土土器 (20)

圖639  
S T396・504各V層出土玉器 (21)

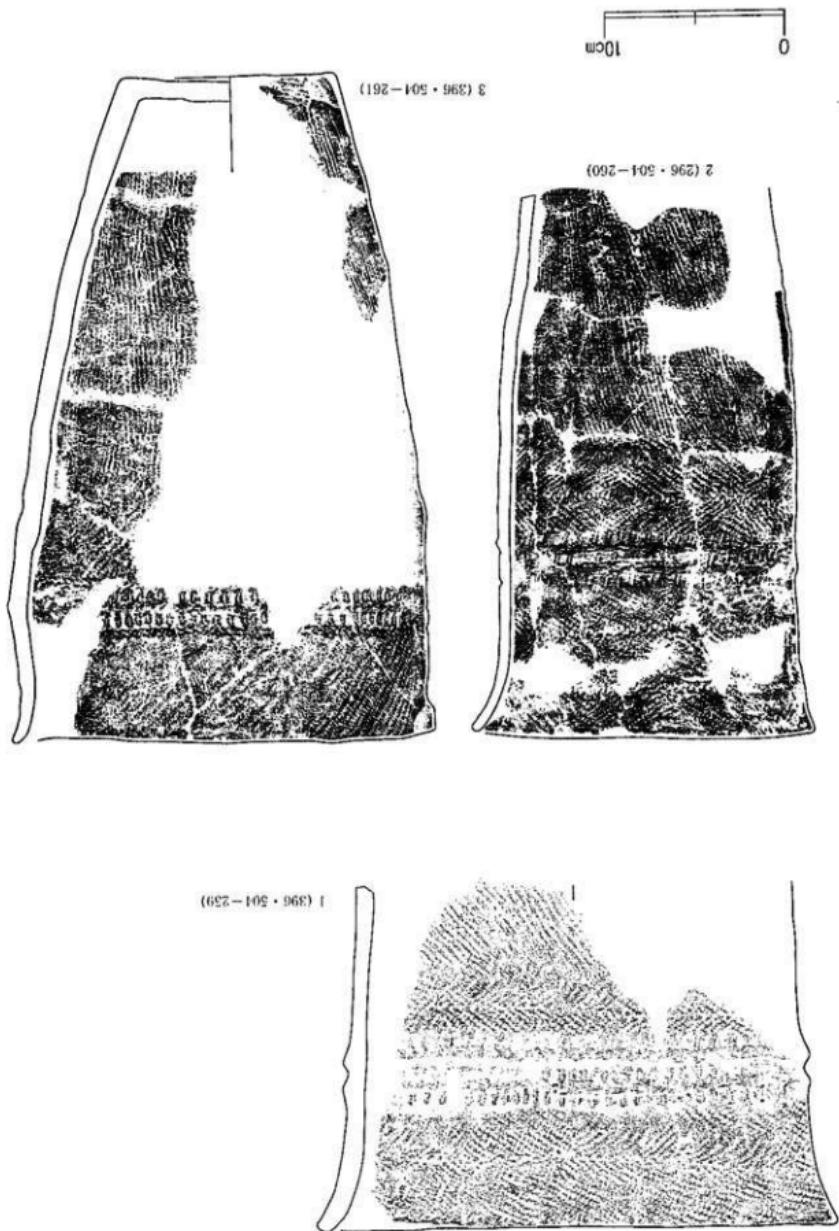
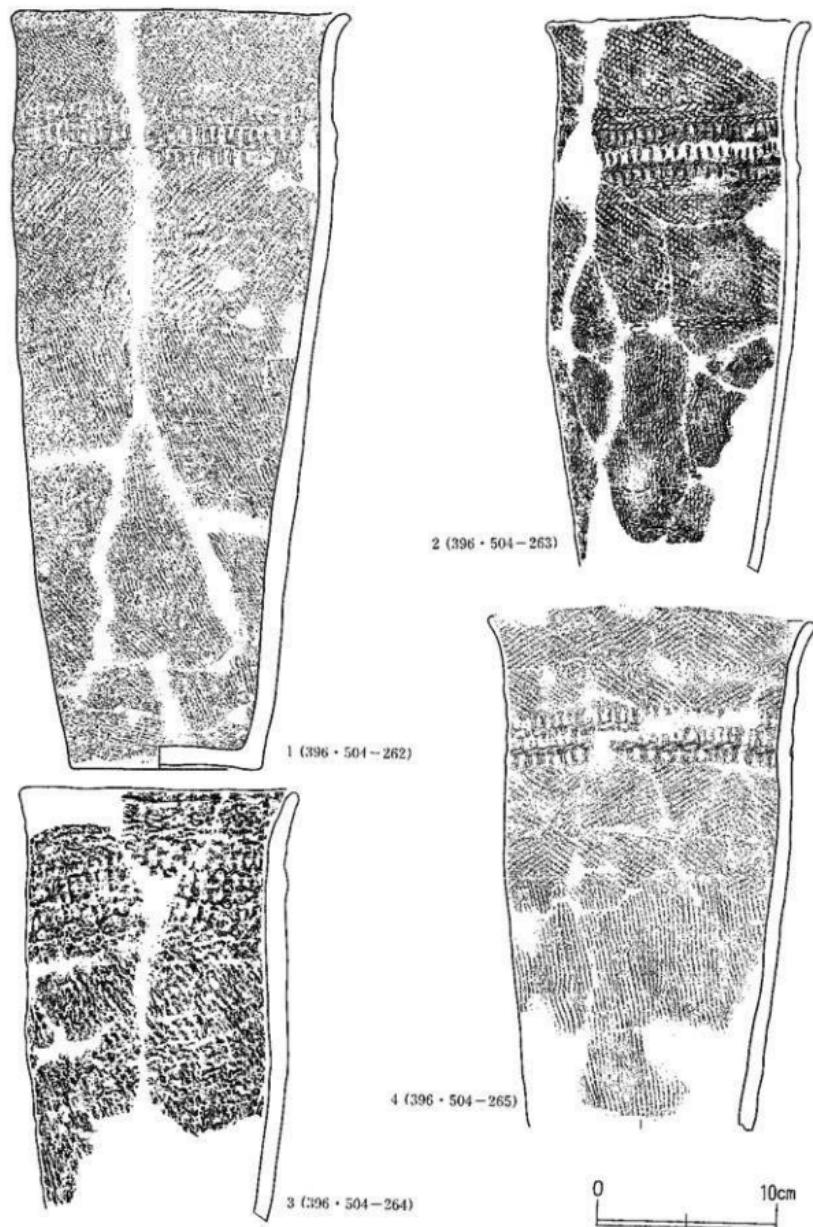


圖5  
S T396・504各V層出土玉器



第640図 S T 396・504谷V層出土土器 (22)